

bizhub C200

ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub C200 のネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスの操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機のパフォーマンスを十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

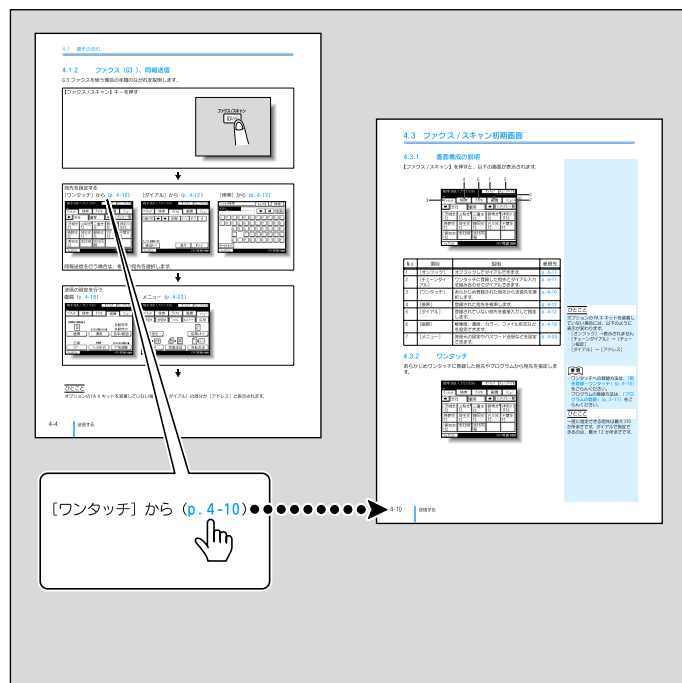
使いたい機能を調べるには

本書では、機能の設定方法や詳細について、以下のように紹介しています。

「操作の流れ」を理解する

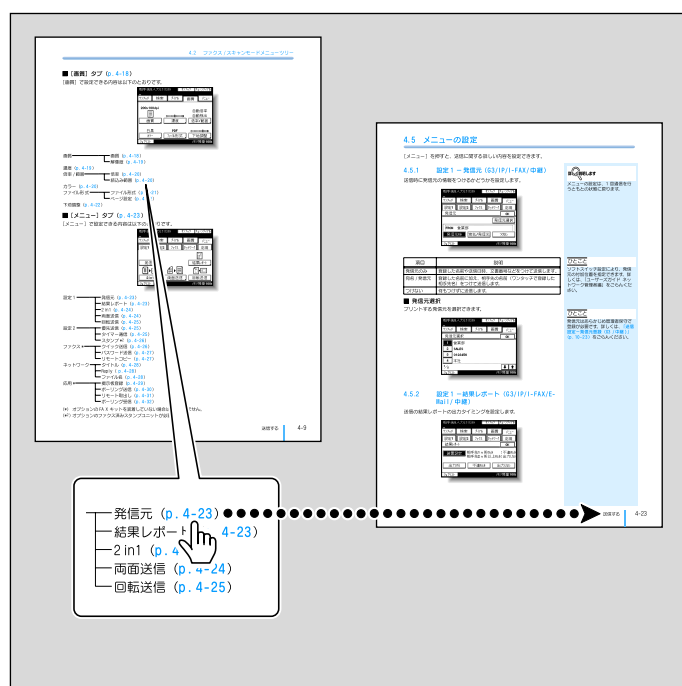
本書で説明するおもな機能の使いかたについて、「操作の流れ」という章を設けています。このページでスキャンやファクス送信のしかたなど、大まかな操作の流れをフロー図で理解してください。

フロー図のリンクをクリックすると、該当する機能設定のページへジャンプして詳細を調べることができます。



「メニューツリー」からさらに詳しく知る

本機では多くの機能を設定できます。設定したい項目がどのボタンの下にあるのかを知りたいときや設定できる項目の一覧を確認したいときは、「メニューツリー」のページをぜひご覧ください。メニューツリーのページは、ひとつのボタンの下が階層に分かれていて、メニューツリーのリンクをクリックすると、該当する機能設定のページへジャンプして詳細を調べることができます。



はじめに	1
使いたい機能を調べるには	2
「操作の流れ」を理解する	2
「メニューツリー」からさらに詳しく知る	2
もくじ	3
本書について	9
本書の構成	9
本書で説明している機能	10
表記について	10
画面表示について	10
ページの見かた	11
マニュアル体系について	12
印刷物のユーザーズガイド	12
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	12

第 1 章 ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に

1.1 知っておいていただきたいこと	1-2
1.1.1 送信機能について	1-2
1.1.2 部門の認証	1-4
1.2 概要	1-5
1.2.1 ネットワークスキャン機能でできること	1-5
1.2.2 ファクス機能でできること	1-6
1.2.3 ネットワークファクス機能でできること	1-7

第 2 章 操作パネル / 液晶画面

2.1 操作パネル	2-2
2.2 タッチパネル	2-4
2.2.1 全体の画面構成	2-4
2.2.2 ジョブリストの表示と操作	2-5
2.3 設定内容の確認 / 登録	2-10
2.3.1 設定内容を確認する	2-10
2.3.2 現在の設定内容を初期設定値にする	2-11
2.3.3 現在の設定内容をプログラム登録する	2-11

第 3 章 基本情報の登録

3.1 はじめて使用する場合	3-2
3.1.1 必要な環境と設備	3-2
3.1.2 ネットワークの接続と設定	3-2
3.1.3 モジュラーケーブルの接続	3-3
3.2 宛先登録	3-4
3.2.1 ワンタッチ	3-4
3.2.2 プログラム宛先	3-4
3.3 その他必要に応じて行う設定	3-5

第 4 章 送信する

4.1 操作の流れ	4-2
4.1.1 スキャン / ネットワークファクス	4-2
4.1.2 ファクス (G3)、同報送信	4-4
4.1.3 プログラムの呼び出し	4-6

4.2	ファクス / スキャンモードメニューツリー	4-8
4.3	ファクス / スキャン初期画面	4-10
4.3.1	画面構成の説明	4-10
4.3.2	ワンタッチ	4-10
4.3.3	ワンタッチ検索	4-12
4.3.4	LDAP 検索	4-12
4.3.5	ダイアル	4-14
4.3.6	ダイアルー G3 ファクス	4-15
4.3.7	ダイアルーインターネットファクス	4-16
4.3.8	ダイアルー IP アドレスファクス	4-17
4.3.9	ダイアルー IP 中継	4-17
4.3.10	ダイアルー E-Mail	4-18
4.3.11	オンフック (G3)	4-19
4.3.12	チェーンダイアル (G3/I-FAX/IP/E-Mail/ 中継)	4-19
4.4	画質の設定	4-20
4.4.1	画質 (G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/ 中継)	4-20
4.4.2	画質ー濃度 (G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/ 中継)	4-21
4.4.3	倍率 / 範囲 (G3)	4-21
4.4.4	カラー (E-Mail/FTP/SMB)	4-22
4.4.5	ファイル形式 (E-Mail/FTP/SMB)	4-23
4.4.6	下地調整 (G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/ 中継)	4-24
4.5	メニューの設定	4-25
4.5.1	設定 1ー発信元 (G3/IP/I-FAX/ 中継)	4-25
4.5.2	設定 1ー結果レポート (G3/IP/I-FAX/E-Mail/FTP/SMB/ 中継)	4-25
4.5.3	設定 1ー2in1 (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	4-26
4.5.4	設定 1ー両面送信 (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	4-26
4.5.5	設定 1ー回転送信 (G3/I-FAX/ 中継)	4-27
4.5.6	設定 2ー優先送信 (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	4-27
4.5.7	設定 2ータイマー通信 (G3/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	4-27
4.5.8	設定 2ースタンプ (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	4-28
4.5.9	ファクスークイック送信 (G3)	4-28
4.5.10	ファクスーパスワード送信 (G3)	4-29
4.5.11	ファクスーリモートコピー (G3)	4-29
4.5.12	ネットワークータイトル (E-Mail/I-FAX)	4-30
4.5.13	ネットワークー Reply (E-Mail/I-FAX)	4-30
4.5.14	ネットワークーファイル名 (E-Mail/I-FAX)	4-30
4.5.15	URL 通知先設定 (FTP/SMB)	4-31
4.5.16	応用ー掲示板登録 (G3)	4-31
4.5.17	応用ーポーリング送信 (G3)	4-32
4.5.18	応用ーリモート取出し (G3)	4-33
4.5.19	応用ーポーリング受信 (G3)	4-34
4.6	リダイアルについて	4-36
4.6.1	オートリダイアル	4-36
4.6.2	手動リダイアル	4-36

第 5 章 受信する (G3/IP/I-FAX)

5.1	受信する (G3: 外部電話を接続しない)	5-2
5.1.1	自動受信 (ファクス優先)	5-2
5.2	受信する (G3: 外部電話を接続する)	5-3
5.2.1	自動受信 (電話優先)	5-3

5.2.2	外部電話機の留守番電話機能を設定するときは	5-4
5.2.3	手動受信（電話専用）	5-5
5.3	受信する（I-FAX）	5-6
5.3.1	自動取得	5-6
5.3.2	手動取得	5-6
5.3.3	結果通知	5-7
5.3.4	受信文書ヘッダ印刷	5-7
5.4	受信する（IP）	5-8
5.5	メモリ代行受信	5-9
5.5.1	メモリ代行受信とは	5-9
5.5.2	メモリ代行受信したジョブの転送（G3）	5-9
5.6	受信時の記録	5-10
5.6.1	縮小禁止を設定して記録するとき	5-10
5.6.2	用紙におさまるように縮小して記録するとき	5-11
5.6.3	長い原稿を受信したとき	5-11
5.7	受信情報	5-12

第6章 電話をかける / 受ける（G3）

6.1	電話をかける	6-2
6.2	電話を受ける	6-3

第7章 便利な機能（G3/IP/I-FAX）

7.1	強制メモリ受信（G3/IP/I-FAX）	7-2
7.2	親展通信（G3）	7-3
7.3	ポーリング送信 / 受信（G3）	7-4
7.3.1	ポーリング送信	7-4
7.3.2	ポーリング受信	7-4
7.4	掲示板（G3）	7-5
7.5	増設回線を使用した送受信（G3）	7-6
7.6	ファクス転送（G3）	7-7

第8章 レポート / リストの見かた

8.1	レポート / リストの種類	8-2
8.2	リストプリントのメニューツリー	8-3
8.3	共通のリスト	8-4
8.3.1	送信管理レポート	8-4
8.3.2	受信管理レポート	8-5
8.3.3	掲示板リスト	8-6
8.3.4	ワンタッチリスト	8-6
8.3.5	プログラム一覧	8-7
8.4	G3/IP/I-FAX 共通のレポート / リスト	8-8
8.4.1	通信管理レポート	8-8
8.4.2	結果レポート	8-8
8.4.3	順次同報送信結果レポート	8-8
8.4.4	設定リスト	8-9
8.5	G3 ファクスで出力されるレポート	8-10
8.5.1	メモリクリアレポート	8-10

第 9 章 ユーザ設定 / ユーザ保守 / 宛先登録

9.1	ユーザ設定 / ユーザ保守 / 宛先登録のメニューツリー	9-2
9.1.1	ユーザ設定	9-2
9.1.2	ユーザ保守	9-2
9.1.3	宛先登録	9-3
9.2	ユーザ設定	9-4
9.2.1	ユーザ設定画面を表示させる	9-4
9.2.2	環境設定一言語選択（表示用）	9-4
9.2.3	画面設定－優先画面	9-4
9.2.4	画面設定－優先ファクス画面	9-5
9.2.5	初期設定－ファクス / スキャン－ファクス / スキャナ初期設定	9-5
9.2.6	初期設定－ファクス / スキャン－ IP 中継 / 中継先選択	9-6
9.2.7	初期設定－ファクス / スキャン－ファイル形式	9-6
9.3	ユーザ保守	9-8
9.3.1	ユーザ保守画面を表示させる	9-8
9.3.2	回線モニタ音	9-8
9.3.3	POP3 受信	9-8
9.3.4	プリント処理	9-9
9.4	宛先登録－ワンタッチ	9-10
9.4.1	ワンタッチ登録のながれ	9-10
9.4.2	サブ相手先の設定（I-FAX/G3/IP/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB）	9-13
9.4.3	ワンタッチのコピー	9-13
9.4.4	ワンタッチの変更 / 削除	9-14
9.4.5	G3 ファクスの登録	9-15
9.4.6	インターネットファクスの登録	9-16
9.4.7	IP アドレスファクスの登録	9-17
9.4.8	IP 中継の登録	9-18
9.4.9	E-Mail の登録	9-18
9.4.10	SMB の登録	9-19
9.4.11	FTP の登録	9-20
9.5	宛先登録－インデックス	9-22
9.6	宛先登録－登録文字列	9-23
9.7	宛先登録－掲示板	9-24

第 10 章 管理者保守設定

10.1	はじめに設定してください	10-2
10.1.1	G3 ファクス	10-2
10.1.2	インターネットファクス	10-2
10.1.3	IP アドレスファクス	10-2
10.1.4	IP 中継	10-2
10.1.5	E-Mail	10-2
10.1.6	SMB 送信	10-3
10.1.7	FTP 送信	10-3
10.2	管理者保守のメニューツリー	10-4
10.2.1	環境設定	10-4
10.2.2	管理者設定	10-4
10.2.3	文書管理	10-4
10.2.4	ファクス設定 *	10-5
10.2.5	送信設定	10-5
10.2.6	受信設定	10-5

10.2.7	レポート設定	10-5
10.3	環境設定 (G3/I-FAX/IP/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	10-6
10.3.1	管理者保守画面を表示させる	10-6
10.3.2	環境設定一言語選択 (入出力)	10-6
10.3.3	環境設定ー出力設定ー受信プリント出力設定ーファクス / メール	10-6
10.3.4	環境設定ー出力設定ー排紙トレイ設定	10-7
10.4	管理者設定	10-8
10.4.1	管理者設定ー管理データメール送信	10-8
10.5	文書管理	10-9
10.5.1	文書管理ー管理者転送ー通信モード (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	10-9
10.5.2	文書管理とは	10-10
10.5.3	文書管理ー受信文書ー一般文書 (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail)	10-10
10.5.4	文書管理ー受信文書ーネットワーク (IP/I-FAX)	10-12
10.5.5	文書管理ー受信文書ー G3-1/G3-2 (G3)	10-13
10.5.6	文書管理ー受信文書ーボックス (G3)	10-14
10.6	ファクス設定	10-17
10.6.1	ファクス設定ー自局 ID (G3/ 中継)	10-17
10.6.2	ファクス設定ー受信機能 (G3)	10-17
10.6.3	ファクス設定ーパスワード通信 (G3)	10-18
10.6.4	ファクス設定ー自局電話番号情報 (G3/ 中継)	10-18
10.6.5	ファクス設定ーナンバーディスプレイ (G3)	10-20
10.6.6	ファクス設定ーダイアルイン (G3/ 中継)	10-22
10.7	送信設定	10-24
10.7.1	送信設定ー発信元登録 (G3/ 中継)	10-24
10.7.2	送信設定ーリダイヤル (G3/ 中継)	10-24
10.8	受信設定	10-26
10.8.1	オフモード時の出力設定 (G3)	10-26
10.8.2	受信文書ボックス削除 (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail)	10-27
10.9	レポート設定	10-28
10.9.1	結果レポート (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	10-28
10.9.2	通信管理レポート (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)	10-28

第 11 章 ファクス / スキャン機能で困ったとき

11.1	送信できない	11-2
11.1.1	G3 ファクス	11-2
11.1.2	インターネットファクス / IP アドレスファクス / ネットワークスキャン送信 (E-Mail/FTP/SMB)	11-2
11.2	受信できない	11-3
11.2.1	G3 ファクス	11-3
11.2.2	インターネットファクス / IP アドレスファクス	11-4
11.3	エラーメッセージが表示された	11-5
11.3.1	G3 ファクス	11-5
11.4	エラーコード表	11-6
11.4.1	E-Mail 送信 / インターネットファクス送信	11-6
11.4.2	インターネットファクス受信	11-6
11.4.3	ファイル送信 (FTP)	11-7
11.4.4	ファイル送信 (SMB)	11-7
11.4.5	IP アドレスファクス送信	11-8
11.4.6	IP 中継送信	11-8

11.4.7	インターネットファクス フルモード通信	11-8
11.5	「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）	11-9

第 12 章 付録

12.1	製品仕様	12-2
12.1.1	インターネット FAX 仕様	12-2
12.1.2	IP アドレス FAX 仕様	12-2
12.1.3	ファイル送信 (FTP) 仕様	12-2
12.1.4	ファイル送信 (SMB) 仕様	12-2
12.1.5	受信文書の転送仕様	12-3
12.1.6	IP 中継仕様	12-3
12.1.7	ファクス仕様	12-3
12.2	こんなときには	12-4
12.2.1	ファクス情報サービスを利用する	12-4
12.2.2	メモリへの蓄積について	12-4
12.3	文字を入力するには	12-5
12.3.1	入力モードを切替える	12-5
12.3.2	ひらがなを入力する	12-5
12.3.3	漢字を入力する	12-6
12.3.4	カタカナを入力する	12-7
12.3.5	英数字を入力する	12-8
12.3.6	記号を入力する	12-9
12.3.7	文字コードで入力する	12-9
12.4	入力文字一覧	12-11

第 13 章 索引

13.1	使用別索引	13-2
13.2	項目別索引	13-3

本書について

本書は、bizhub C200 のネットワークスキャン、ファクス、ネットワークファクスに関するユーザーズガイドです。

ここでは、本書の構成や製品名などの表記について説明します。

本書はコンピュータの基本操作、および本機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方法は、それぞれの操作説明書をごらんください。

本書の構成

本書は、以下の章から構成されています。

第 1 章 ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に

本機のファクス / スキャン機能を使用する前に知っておいていただきたい項目を説明しています。

第 2 章 操作パネル / 液晶画面

操作パネルのキーのはたらきや、タッチパネルの使い方について説明しています。

第 3 章 基本情報の登録

本機のファクス / スキャン機能を使用する前に必要な登録作業について説明しています。

第 4 章 送信する

ネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスを送信する操作の流れと、設定できる項目を説明しています。おもな操作はフロー図で説明しています。各種操作の流れはフロー図を参考にしてください。また、ファクス / スキャン機能を使うときに設定できる項目のメニューツリーも紹介しています。メニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 5 章 受信する (G3/IP/I-FAX)

G3 ファクス、ネットワークファクスの受信の概要について説明しています。

第 6 章 電話をかける / 受ける (G3)

本機に外部電話機を接続した場合、電話のかけかた、受けかたを説明しています。

第 7 章 便利な機能 (G3/IP/I-FAX)

G3 ファクス、ネットワークファクスの便利な機能について説明しています。

第 8 章 レポート / リストの見かた

ファクス / スキャン機能を使うと自動的に印刷されるレポートや、設定メニューで印刷できるリストを紹介しています。

第 9 章 ユーザ設定 / ユーザ保守 / 宛先登録

ファクス / スキャン機能に関係のある設定メニューの「ユーザ設定」「ユーザ保守」「宛先登録」の項目を説明しています。章のはじめに記載されているメニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 10 章 管理者保守設定

ファクス / スキャン機能に関係のある設定メニューの「管理者保守」の項目を説明しています。管理者モードでは自局 ID などを設定できます。章のはじめに記載されているメニューツリーのリンクをクリックすると設定画面の内容を説明したページが表示されます。

第 11 章 ファクス / スキャン機能で困ったとき

エラーメッセージが表示されたときや、うまく送受信できないときの対処方法が記載されています。

第 12 章 付録

文字の入力方法、用語集が掲載されています。

第 13 章 索引

製品仕様や、操作パネルで入力できる文字について説明します。

本書で説明している機能

■ ネットワークスキャン機能

本機でスキャンしたイメージデータを、ネットワークを経由して送信する機能です。ネットワークスキャンには、以下の送信方法があります。

- E-Mail 送信
- ファイル送信 (SMB)
- ファイル送信 (FTP)

■ G3 ファクス機能

本機でスキャンしたイメージを、電話回線を経由して送信する機能です。

■ ネットワークファクス機能

本機でスキャンしたイメージデータを、ネットワークを経由して送信する機能です。G3 ファクス機能のように、主に対応している機器の間で送受信を行いますが、ネットワークを経由することで通信コストをかけずに類似した機能を実現できます。ネットワークファクスには、以下の送信方法があります。

- インターネットファクス
- IP アドレスファクス
- IP 中継

表記について

製品名	本書の表記
bizhub C200	本機、本製品、C200
Microsoft Windows 2000	Windows 2000
Microsoft Windows XP	Windows XP
上記 OS を組み合わせて併記する場合	Windows 2000/XP

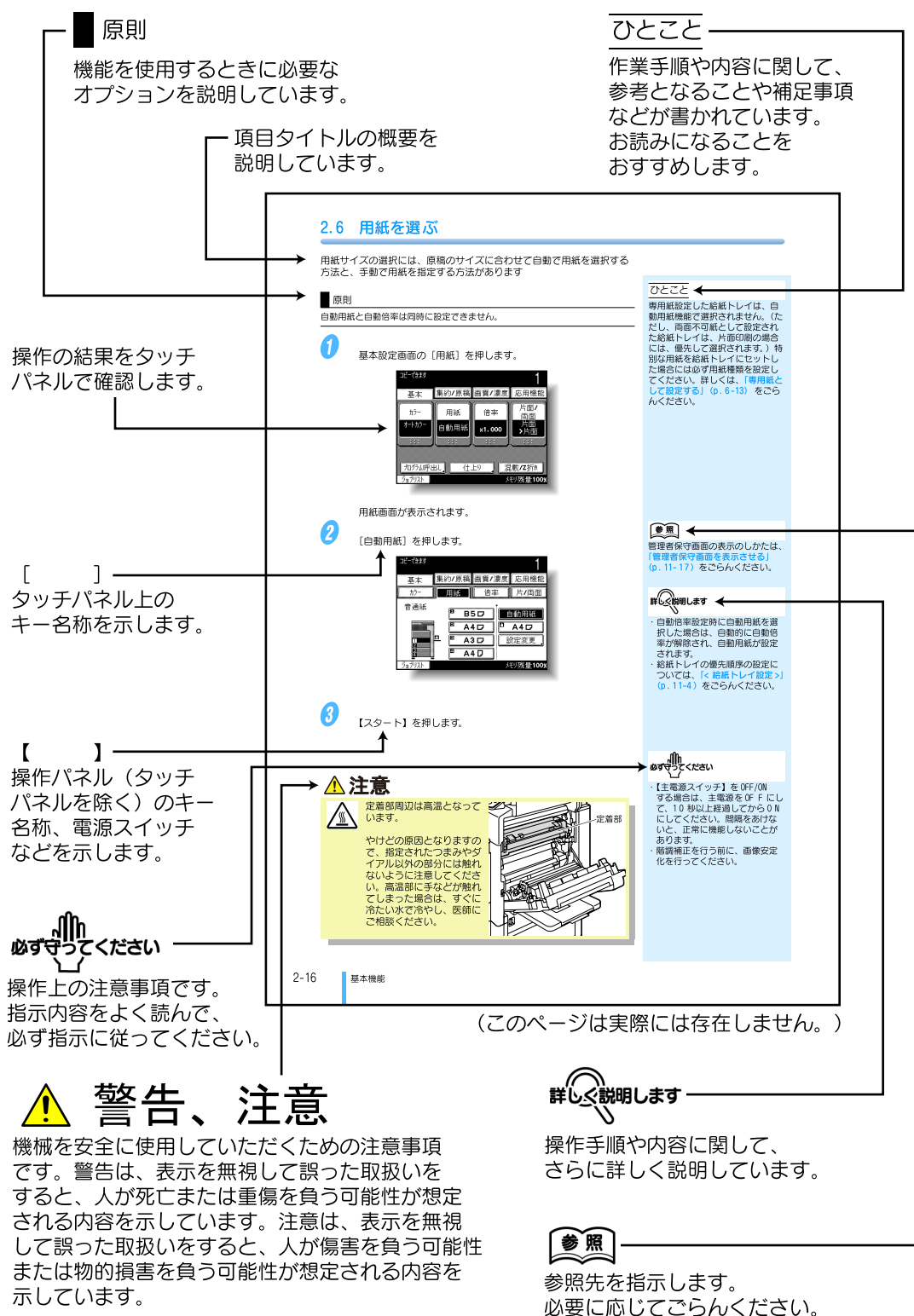
本書では、機能名の見出しのあとに、該当する送信方法を略称で記載しています。

送信方法	略称
G3 ファクス	G3
インターネットファクス	I-FAX
IP アドレスファクス	IP
IP 中継	中継
E-Mail 送信	E-Mail
ファイル送信 (SMB)	SMB
ファイル送信 (FTP)	FTP
G3 ファクス、IP アドレスファクス、インターネットファクスを組み合わせて併記する場合	G3/IP/I-FAX

画面表示について

本書では、オプションの FAX キットを装着した状態の画面を基本に説明しています。

ページの見かた



マニュアル体系について

本製品のユーザズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザズガイドと、ユーザズガイド CD に収められた PDF のユーザズガイドがあります。

印刷物のユーザズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザズガイド CD 収録のユーザズガイド

●ユーザズガイド（コピー機能編）

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。

用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザズガイド（プリンター機能編）

標準装着のプリンターコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。

プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザズガイド（ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編）＜本書＞

ネットワークスキャン機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能について記載しています。

E メールなどによるネットワークスキャン機能や G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、IP 中継配信の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

G3 ファクス機能、インターネットファクス機能、IP アドレスファクス機能、IP 中継配信機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザズガイド（ネットワーク管理者編）

本製品をネットワークに接続して利用するときに必要な設定の内容や、ソフトウェア DIPSW による設定の変更方法、Assistant tool for C200 の使い方について記載しています。

ネットワーク設定、ソフトウェア DIPSW、Assistant tool for C200 について知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●商標／ライセンスについて

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。



第 1 章

ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能を使用する前に

本機のファクス、スキャン機能を使用する前に知っておいていただきたいことを説明します。

1.1	知っておいていただきたいこと	1-2
1.2	概要	1-5

1.1 知っておいていただきたいこと

1.1.1 送信機能について

■ 機能の種類

本機では、スキャンした画像をネットワークや電話回線を通じて送受信できます。このユーザーズガイドで紹介している機能は以下のとおりです。

ネットワークスキャン機能	・ E-Mail 送信 ・ SMB 送信 ・ FTP 送信
ファクス機能	・ G3 ファクスの送受信 ・ ボーリング
ネットワークファクス機能	・ インターネットファクス (I-FAX) ・ IP アドレスファクス ・ IP 中継

■ ファクス機能 (G3) 使用時の注意

本機はカラーでファクスを送受信することはできません。

本機を接続することのできる電話回線は以下のとおりです。

- 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
- PBX（構内交換機 2 線式）

使用する電話回線について以下の項目を確認してください。

- 外部電話としてビジネスホンを接続することはできません。
- キャッチホンとの併用はできません。
- お客様のお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、SuperG3 による通信ができなくなる可能性があります。

ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域をぎりぎりまで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様がお使いのネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ ネットワークファクス使用時の注意

ネットワークファクス機能を使用するためには、以下の環境が必要です。

- 本機がネットワークに接続されている＜必須＞

TCP/IP ネットワークの環境下で使用できます。はじめにネットワークに接続するためのケーブルを接続します。

詳しくは、「[ネットワークの接続と設定](#)」(p. 3-2) をごらんください。また、ネットワーク上で使用するためには本機の IP アドレスなどの設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



必ず守ってください

【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと正常に機能しないことがあります。

■ インターネットファクス使用時の注意

- インターネットファクス機能を使用できる環境は以下のとおりです。
 - 本機がネットワークに接続され、電子メールの送受信ができる
- 電子メールの送信を行った場合、ネットワークの状況などにより添付ファイルが破損する場合があります。送信文書の添付ファイルが破損していないか必ず確認してください。
- オプションのFAX キットが装着されていない状態でインターネットファクスを行った場合、送受信データが装置のメモリ内に残っている状態で主電源を OFF にしたり停電に遭遇すると、メモリ内のデータが消失します。
例えば、用紙がない状態でインターネットファクスを受信すると、受信したデータは印刷されずに装置のメモリ内にデータが保存されます。この状態で主電源を OFF にすると、メモリ内のデータは消失し、印刷できません。

■ IP アドレスファクス使用時の注意

- IP アドレスファクスは、弊社製の対応機種間でのみ動作します。対応機種以外での動作は保証できません。

■ ネットワークスキャン/ネットワークファクス使用時の注意

- インターネットファクスおよび E-Mail 送信は、メールサーバーを介した送受信を行います。相手先との直接通信は行いません。また、サーバーとの通信正常終了をもって、送信完了として扱います。
- メールサーバーから相手先の間で何らかの原因により送信できなかった場合には、サーバーからのエラーメールが返ってきます。エラーメールが何らかの原因で返送されないこともあります。確実な送信が必要な場合には、送信後に必ず電話で確認してください。
- インターネット / イン트라ネットを使った通信は秘匿性が低いので、重要な書類は一般加入回線での送信をおすすめします。
- LAN 経由での電話は使用できません。
- インターネット / イン트라ネットの回線の混み具合によっては、送信まで時間がかかることがあります。
- 原稿枚数やイメージデータ量が多い場合、経由するメールサーバーによっては送信できないことがあります。

以下の機能は、一般電話回線を使用した G3 ファクス通信では使用できませんが、ネットワークスキャン / ネットワークファクス機能では使用できません。

- ポーリング受信
- 即時送信
- パスワード送信
- リモートコピー
- 親展ボックス
- 掲示板登録
- オンフック
- 掲示板リモート取出し
- 縮小禁止

ひとこと

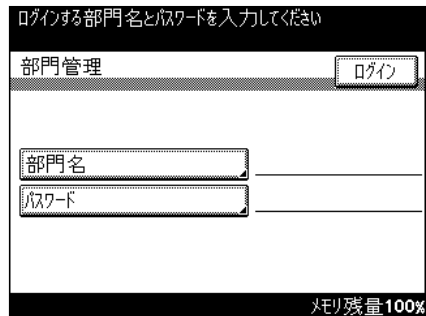
パスワード送信、リモートコピーは設定できますが機能しません。

1.1.2 部門の認証

本機の使用にあたって、部門名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名は管理者に確認してください。

■ 部門認証

部門名とパスワードを入力し、[ログイン] または【ID】を押します。



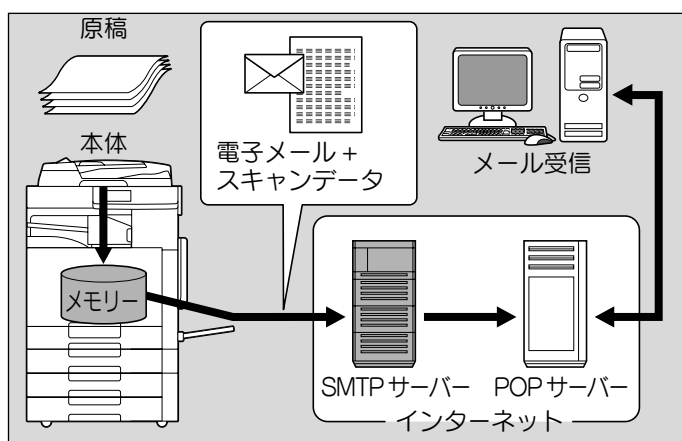
1.2 概要

1.2.1 ネットワークスキャン機能でできること

本機の ADF または原稿ガラスから原稿の画像を読み取ること「スキャンする」といいます。スキャン機能ではデータを一時的に本体内部のメモリに保存することで、ネットワークを通じた送信が可能です。

■ E-Mail 送信

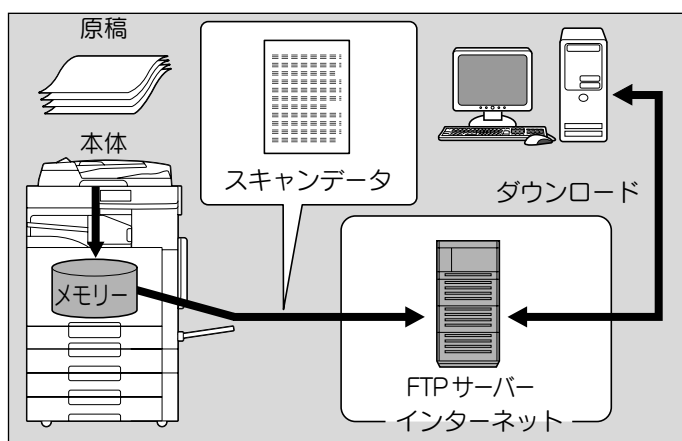
スキャンしたデータを指定した電子メールアドレスに送信できます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。



■ FTP 送信

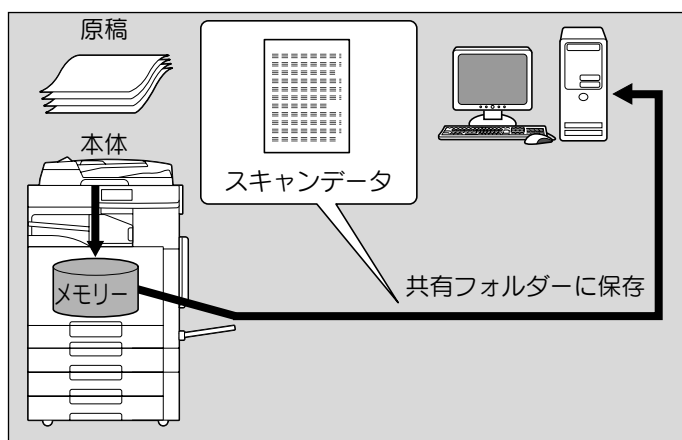
スキャンしたデータを指定した FTP サーバーにアップロードします。本機のタッチパネルで FTP サーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。

FTP サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターから FTP サーバーにアクセスし、ダウンロードできます。



■ SMB 送信

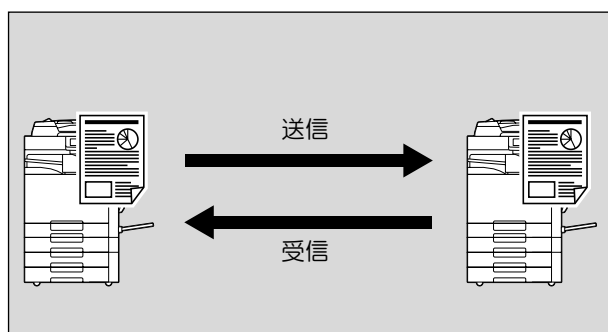
スキャンしたデータを設定したコンピュータの共有フォルダーに送信できます。本機のタッチパネルで対象となるホスト名やファイルパスなどを入力します。



1.2.2 ファクス機能でできること

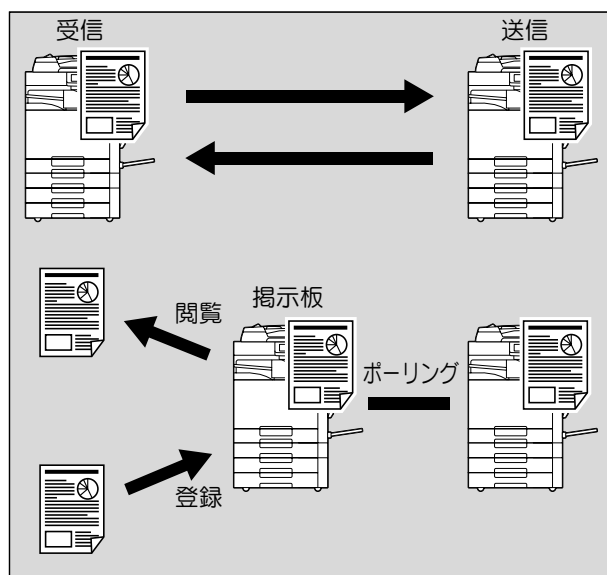
■ G3 ファクスの送受信

G3 ファクスの送受信ができます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、同報で送信することもできます。



■ ポーリング

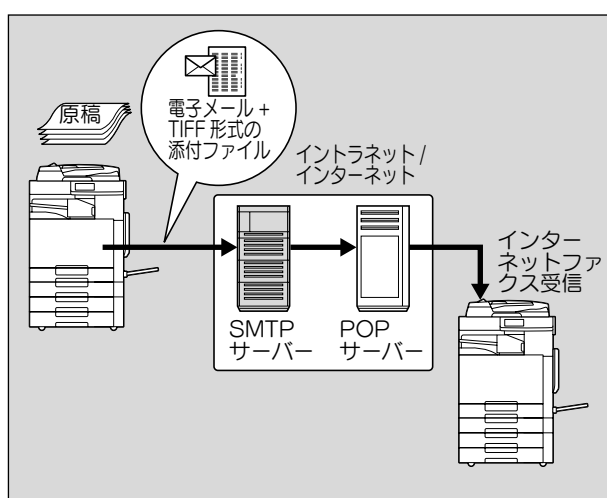
ポーリング指示を送ることで相手先ファクスから原稿を受信したり（ポーリング受信）、相手先からの指示で送信される原稿をあらかじめ登録する（ポーリング送信）ことができます。ポーリング送信ではポーリング送信ボックスを使う方法と、掲示板ボックスを使う方法があります。



1.2.3 ネットワークファクス機能でできること

■ インターネットファクス

イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由して、読取った原稿を、電子メールの添付ファイル（TIFF 形式）として送受信します。イントラネット/インターネット経由で通信するため、一般のファクス通信に比べて通信コストを大幅に削減できます。相手先の E-Mail アドレスを指定して送信します。



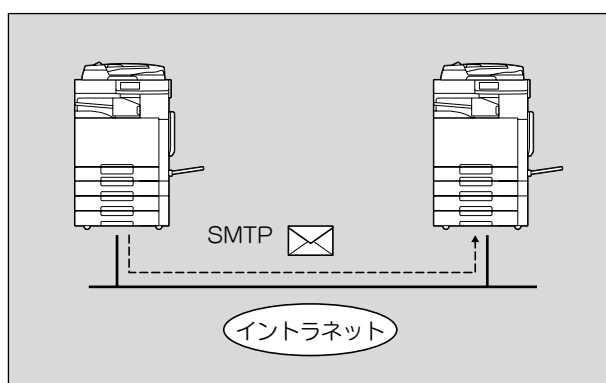
■ IP アドレスファクス

IP ネットワーク上で通信できるファクスで、相手先ファクスの IP アドレスまたはホスト名を指定して送信します。

G3 ファクスやインターネットファクスとの違いは以下のとおりです。

- イメージデータ送受信のプロトコルには SMTP を使用します。
- イン트라ネット（企業内ネットワーク）でのみ使用できます。
- インターネットファクスのようにメールサーバーは必要ありません。

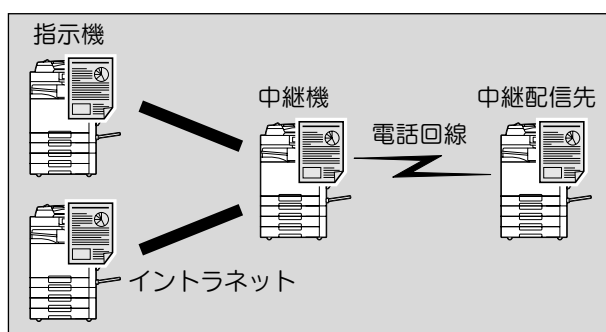
・ 相手先の IP アドレスまたはホスト名を指定して送信する



■ IP 中継配信

LAN で接続された中継機を経由してファクス送信します。

イントラネット内で電話回線に接続した中継機が 1 台あれば、LAN で接続した複数の指示機からファクスを送信することができます。



- 中継依頼をして文書を送信するファクスを「指示機」といいます。
- 指示機からファクスを受け取り、中継を行うファクスを「中継機」といいます。



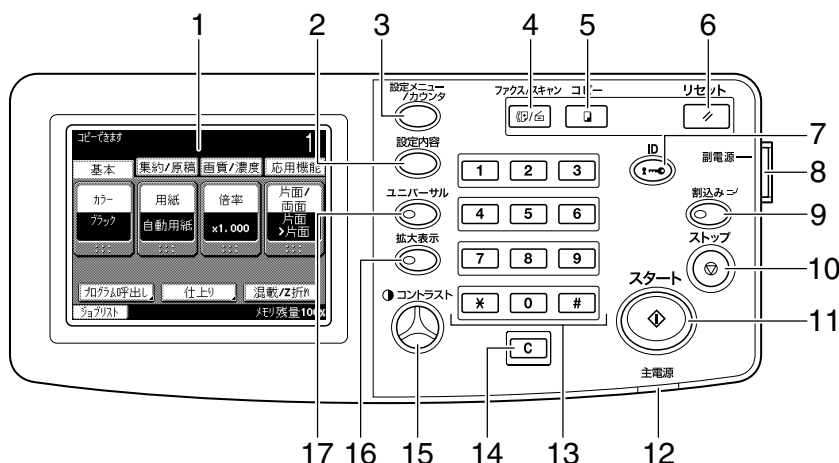
第 2 章

操作パネル / 液晶画面

本機を操作するパネルと液晶画面（タッチパネル）のはたらきについて説明します。

2.1	操作パネル	2-2
2.2	タッチパネル	2-4
2.3	設定内容の確認 / 登録	2-10

2.1 操作パネル



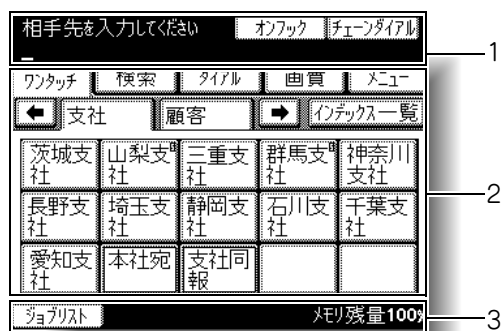
タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。タッチパネルに直接タッチして各設定を行うことができます。
2	【設定内容】キー	各種機能の設定を確認することができます。
3	【設定メニュー / カウンタ】キー	設定メニュー画面、セールスカウンタ画面に切り換えることができます。
4	【ファクス / スキャン】キー	ファクス機能、スキャナー機能に切り替わります。ファクス機能、スキャナー機能中は【ファクス / スキャン】が緑色に点灯します。
5	【コピー】キー	コピー機能に切り替わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。）コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）をリセットできます。
7	【ID】キー	部門管理を設定している場合、部門名とパスワードを入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
8	【副電源スイッチ】	本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
9	【割込み】キー	割込み機能に切り替わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です。」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能を解除できます。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。
10	【ストップ】キー	コピー中に【ストップ】を押すと、コピーを中止します。動作中のコピージョブは削除されます。詳しくは、「ユーザーズガイド コピー機能編」をごらんください。スキャン中またはダイアル中に【ストップ】を押すと、ジョブ削除の確認画面が表示されます。ジョブを削除する場合は確認画面でジョブを選択します。

No	名称	説明
11	【スタート】キー	コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。 一時停止中のジョブが再開します。
12	主電源ランプ	【主電源スイッチ】が ON のときに緑色に点灯します。
13	テンキー	部数の設定ができます。 倍率の入力ができます。 各種の設定値の入力ができます。
14	【C】クリアキー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズ、設定値など）を取消することができます。
15	【コントラスト】ダイヤル	タッチパネルのコントラストの調整ができます。
16	【拡大表示】キー	拡大表示画面に切換えることができます。
17	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。

2.2 タッチパネル

2.2.1 全体の画面構成








No	名称	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。
2	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。このエリアで各種機能を設定します。キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切替わります。
3	アイコン表示エリア	装置の状態を表すアイコンや「ジョブリスト」「アラーム」を表示します。

■ タッチパネルに表示されるアイコン

アイコン表示エリアには、本機の状態を示すアイコンが表示されることがあります。表示されるアイコンの種類は以下のとおりです。

アイコン	説明
	コピー動作中を示します。
	受信ジョブの印刷中を示します。
	印刷待ちのジョブがあることを示します。
	受信ジョブの印刷停止が設定されていることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	部門管理モードで、部門にログインしている状態を示します。
	受信文書があることを示します。
	着信方式を手動に設定していることを示します。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。

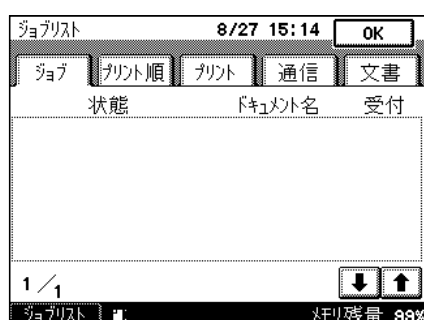
アイコン	説明
	トナーカートリッジの交換時期を示します。
	イメージングユニットの交換時期を示します。
	廃棄トナーボックスの交換時期を示します。
	POP サーバーへの接続エラー時に表示されます。
	画像安定化機能、印刷機能、スキャナー機能に異常が発生していることを示します。 サービス実施店に連絡してください。

2.2.2 ジョブリストの表示と操作

タッチパネルの下エリアには、ジョブの状態を確認できるキーが表示されます。[ジョブリスト] を押すと、本機が実行中のジョブやジョブの履歴、受信した文書の確認ができます。

■ ジョブ

文書の印刷、送信、受信など動作の指示をジョブと呼びます。[ジョブ] を押すと現在動作中のジョブが表示されます。



■ 通信

[通信] を押すと送信 / 受信状態の確認ができます。

- [↑] [↓] を押して送受信の状態を確認します。
- [受信文書] / [送信文書] を押すと文書の種類を切替えることができます。
- [🔄] が表示されている場合は、タイマー通信の時刻を表示しています。
- 送信待ちの文書の場合、[削除] を押すと文書が削除されます。
- [再送信] または [相手先変更] が表示されている場合は、原稿をセットし直さなくても再送信できます（最大 5 文書）。

- [途中結果レポート] が表示されている場合は、送信の途中結果レポートをプリントして送信状況を確認できます。

表示できるジョブの数は以下のとおりです。

文書	最大表示数
送信中、送信待ちの文書	64
送信済み文書	96
受信中および受信プリント待ちの文書	48
受信済み文書	96

■ 文書

掲示板、強制メモリ受信した文書などの保存状況が確認できます。ここで文書の削除、プリントもできます。

■ 文書－掲示板

掲示板に登録された文書を確認できます。

1

確認する掲示板を選択します。

ひとこと

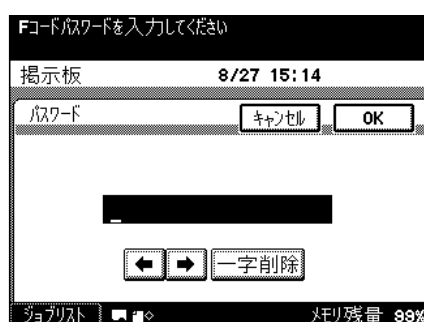
ソフトスイッチ設定により、不達文書のメモリへの保存時間を設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

[掲示板] はオプションの FAX キットを装着している場合に表示されます。

2

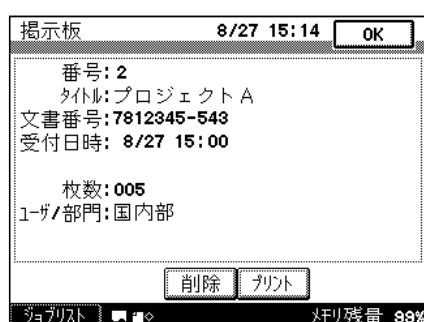
掲示板のパスワードを入力し、[OK] を押します。



3

掲示板の詳細を確認し、[OK] を押します。

- 文書を削除する場合は、[削除] を押します。
- 文書をプリントする場合は、[プリント] を押します。



■ 文書－受信文書

受信した文書を種類別に確認できます。文書の種類を選択して、文書を確認します。



ひとこと

[G3-1] [G3-2] はオプションのFAX キットを装着している場合に表示されます。

項目	説明
一般文書	通常の受信文書が保存されます。
ネットワーク	インターネットファクスなど、ネットワークで受信した文書が保存されます。
G3-1	G3-1 ポートで受信したファクス文書が保存されます。
G3-2	G3-2 ポートで受信したファクス文書が保存されます。

■ 文書－受信文書－受信ボックス

Fコード、ダイヤルイン、ナンバーディスプレイなどで受信した文書を条件ごとの受信ボックスに保存しています。

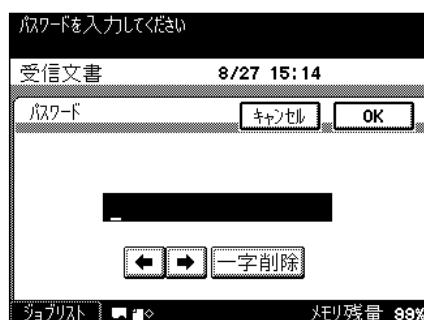
1

受信ボックスを選択します。



2

Fコード親展送信などでパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して[OK]を押します。



3

文書の詳細を確認し、[OK]を押します。

○ 文書を転送する場合は、[転送]を押して転送先を設定します。



詳しく説明します

- ・ あらかじめ受信ボックスの設定が必要です。詳しくは、「[文書管理－受信文書－ボックス \(G3\)](#)」(p. 10-14) をご覧ください。
- ・ オプションのFAXキットを装着している場合に操作できます。FAXキットを装着していない場合は、タブは表示されますが操作できません。

■ 文書－機密文書

機密文書を確認、プリントできます。プリント時に指定した機密文書 ID と機密文書パスワードを入力します。

1

「機密文書 ID」を押して ID を入力します。

2

「機密文書パスワード」を押して機密文書パスワードを入力します。

3

機密文書のファイル名を確認し、選択します。

- 表示されているすべての文書をプリントする場合は、「一括プリント」を押します。
- 表示されているすべての文書を削除する場合は、「一括削除」を押します。

ファイル名	登録元	受付
機密文書 1	営業部	08:36
機密文書 2	営業部	08:27
機密文書 3	営業部	08:27

4

機密文書の詳細を確認し、「OK」を押します。

- 文書を削除する場合は、「削除」を押します。
- 文書をプリントする場合は、「プリント」を押します。

ひとこと

- ・機密文書（セキュリティ印刷）はプリンタードライバーから設定します。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をご覧ください。
- ・機密文書の機能はオプションの拡張メモリが必要です。

2.3 設定内容の確認 / 登録

2.3.1 設定内容を確認する

宛先や画質など、各種設定内容を確認するときに【設定内容】を押します。以下の内容を確認できます。

- 宛先の確認 / 追加
- [画質] 設定内容
- [メニュー] 設定内容

■ 設定内容－宛先

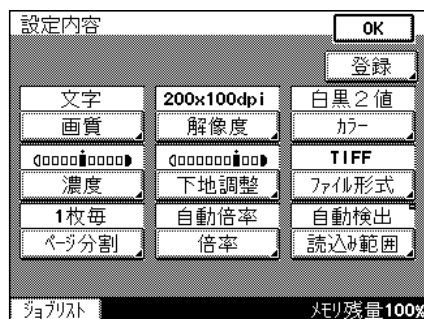
送信先として登録されている宛先の一覧を表示します。

- 宛先を新しく追加するには、[次宛先]を押します。



■ 設定内容－画質

[画質] タブで設定した内容の一覧が表示されます。変更する場合は各機能のキーを押します。



■ 設定内容－メニュー

[メニュー] タブで設定した内容の一覧が表示されます。変更する場合は各機能のキーを押します。



ひとこと

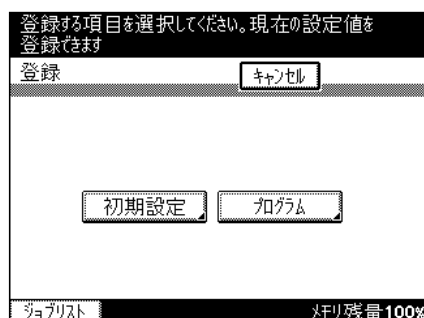
オプションのFAXキットを装着していない場合は、「クイック送信」などファクス機能の項目は表示されません。

2.3.2 現在の設定内容を初期設定値にする

- 1 画質、メニューなどの内容を設定し、【設定内容】を押します。
- 2 [登録] を押します。



- 3 [初期設定] を押します。



2.3.3 現在の設定内容をプログラム登録する

■ プログラムの登録

宛先やスキャンの設定をプログラムとして登録します。

- 1 画質、メニューなどの内容を設定し、【設定内容】を押します。
- 2 [登録] を押します。

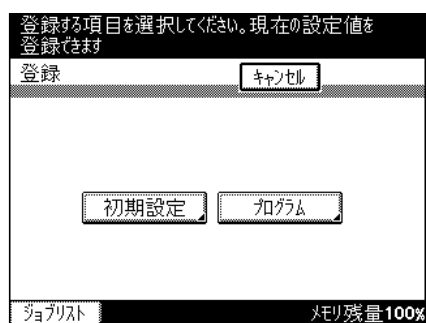


詳しく説明します

- ・プログラムは最大 30 個まで登録できます。ただし、ワンタッチとの合計が 300 個を超えることはできません。
- ・ひとつのプログラムに、宛先は 210 個まで登録できます。
- ・プログラムは本機のタッチパネルだけでなく、ネットワーク上のコンピュータから Assistant tool for C200 を使用して登録することもできます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

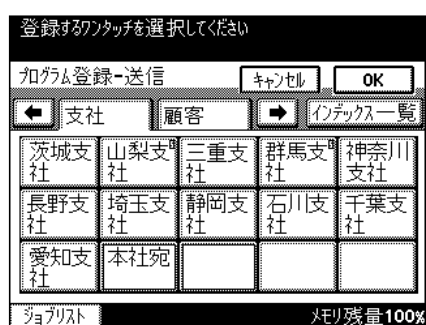
3

「プログラム」を押します。



4

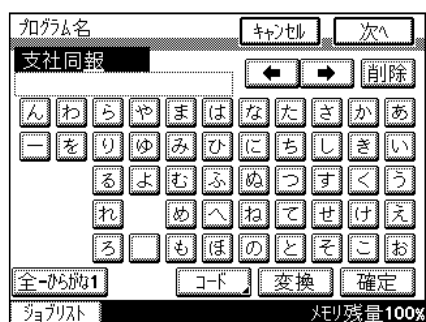
登録するワンタッチを押します。



5

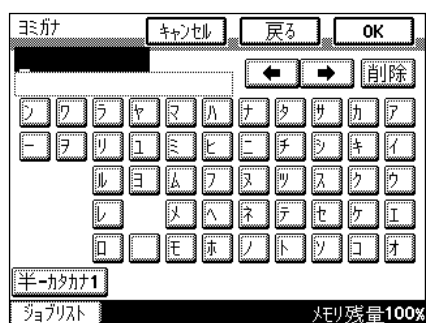
プログラム名を入力し、「次へ」を押します。

- プログラム名は半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。



6

プログラム名の読み仮名を入力し、「OK」を押します。



■ プログラムの変更

プログラムの設定を変更することができます。

- 1 設定を変更します。
 - [画質]：画質の設定を変更できます。
 - [メニュー]：送信の機能を変更できます。
- 2 【設定内容】を押します。
- 3 [登録]を押します。
- 4 [プログラム]を押します。
- 5 変更したいプログラムのワンタッチを押します。
- 6 メッセージを確認し、上書きする場合は〔はい〕を押します。
 - 名称を変更する場合は、名称を変更します。
- 7 [OK] を3回押します。

■ プログラムの削除

登録したプログラムの名称を変更したり、削除できます。

- 1 プログラムのワンタッチを押します。
- 2 削除する場合は、[削除]を押します。
 - メッセージを確認し、削除する場合は〔はい〕を押します。



第 3 章

基本情報の登録

スキャン、ファクス機能を使用する前に必要な設定や登録について説明します。

3.1	はじめて使用する場合	3-2
3.2	宛先登録	3-4
3.3	その他必要に応じて行う設定	3-5

3.1 はじめて使用する場合

初めて使用するときは、以下の登録が必要です。

3.1.1 必要な環境と設備

各種機能を使用するために必要な環境と設備は以下のとおりです。

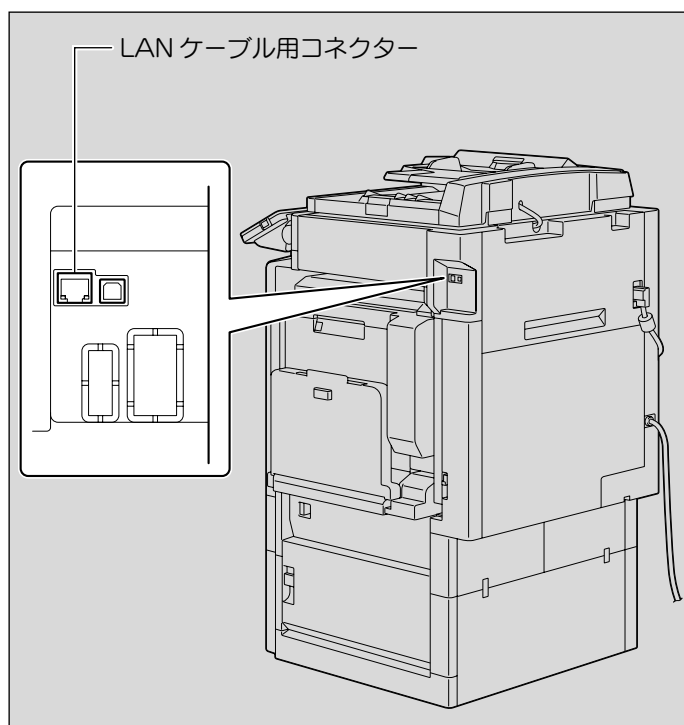
機能		環境と設備
ネットワークスキャン機能		・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定
G3 ファクス機能		・ FAX キット（オプション）の装着 ・ モジュラーケーブルの接続
ネットワーク ファクス機能	インターネット ファクス	・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定
	IP アドレス ファクス	・ FAX キット（オプション）の装着 ・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定
	IP 中継送信	・ FAX キット（オプション）の装着 ・ モジュラーケーブルの接続 ・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定 ・ 中継送信の設定

3.1.2 ネットワークの接続と設定

ネットワークスキャン機能、ネットワークファクス機能のようにイメージデータをネットワーク経由で送信する機能を使用する場合、ネットワークへの接続と設定が必要です。

■ ネットワークの接続

本機の Ethernet コネクタに、ネットワークに接続された UTP ケーブル（カテゴリー 5 以上推奨）を接続します。



■ ネットワークの設定

IP アドレスの割り当てや SMTP サーバーの設定などが必要です。詳しい操作の手順は「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ 本機の E-Mail アドレスの設定

スキャンしたデータを E-Mail 送信したり、インターネットファクスを使用する場合は、本体に E-Mail アドレスを登録する必要があります。この E-Mail アドレスはデータを送受信するときに使用します。通常は管理者登録の E-Mail アドレスを使用することをおすすめします。

アドレスの入力がないときは E-Mail 送信はできません。

ひとこと

ユーザー認証を設定しているときは、ユーザーごとに設定した E-Mail アドレスが発信元アドレスとなります。



本機の E-Mail アドレスの設定は、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

3.1.3 モジュラーケーブルの接続

電話回線を使用するファクスを送受信する場合に接続します。G3 ファクスを使用する場合は、オプションの FAX キットを装着する必要があります。また、2 回線を使用する場合はさらにオプションの回線拡張キットを装着する必要があります。

電話回線に接続したモジュラーケーブルを所定のコネクタに接続してください。接続するコネクタの位置は「ユーザズガイド コピー機能編」をごらんください。

3.2 宛先登録

ファクス、スキャンしたデータの送信先（宛先）を登録します。登録方法は以下の種類があります。

- 本機のタッチパネルから設定する
- ネットワーク上のコンピューターから Assistant tool for C200 を使う

3.2.1 ワンタッチ

ワンタッチには以下の種類があります。ワンタッチの登録方法は、「[宛先登録－ワンタッチ](#)」(p. 9-10) をご覧ください。

- E-Mail 送信
- ファクス送信 (G3)
- ファイル送信 (SMB)
- ファイル送信 (FTP)
- IP アドレスファクス送信
- インターネットファクス送信
- IP 中継送信

3.2.2 プログラム宛先

ワンタッチを組み合わせる複数の宛先を登録したり、読み込みの設定などをまとめてひとつのプログラムとして設定します。いつも同じ条件でスキャン、送信する場合などに便利です。

ひとこと

Assistant tool for C200 のログイン方法などについては、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をご覧ください。



詳しくは、「[現在の設定内容をプログラム登録する](#)」(p. 2-11) をご覧ください。

3.3 その他必要に応じて行う設定

使い方に応じて以下の設定もできます。

■ 画面表示の設定

操作パネルの【ファクス / スキャン】を押したときや、【リセット】を押したときに表示される画面の内容を設定します。


■ 中継送信の設定

IP 中継送信を行う場合、本機は指示機として使用することも、中継機として使用することもできます。

- 本機を中継機として使用するには、あらかじめ「ゲートウェイ送信」を「許可」に設定しておく必要があります。
- 本機を指示機として使用するには、あらかじめ「ネットワーク設定」で中継機を登録する必要があります。



- ・詳しくは、「画面設定－優先画面」(p. 9-4) または「画面設定－優先ファクス画面」(p. 9-5) をごらんください。
- ・IP 中継を行うためのネットワーク設定について、詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



第 4 章

送信する

ファクス、スキャンしたデータを送信する方法と設定できる機能について説明しています。

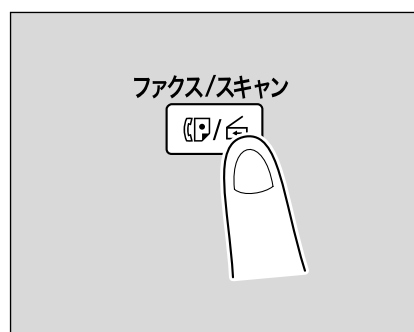
4.1	操作の流れ	4-2
4.2	ファクス / スキャンモードメニューツリー	4-8
4.3	ファクス / スキャン初期画面	4-10
4.4	画質の設定	4-20
4.5	メニューの設定	4-25
4.6	リダイヤルについて	4-36

4.1 操作の流れ

4.1.1 スキャン/ネットワークファクス

スキャン送信およびネットワークファクス機能を使う場合の手順のながれを説明します。

【ファクス/スキャン】キーを押す



宛先を指定する

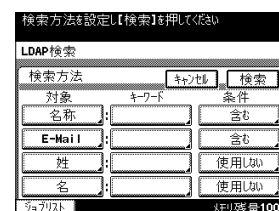
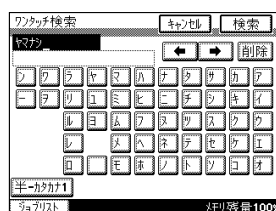
[ワンタッチ] から
(p. 4-10)



[ダイヤル] から
(p. 4-14)



[検索] から (p. 4-12) LDAP 検索 (p. 4-12)
ワンタッチ検索

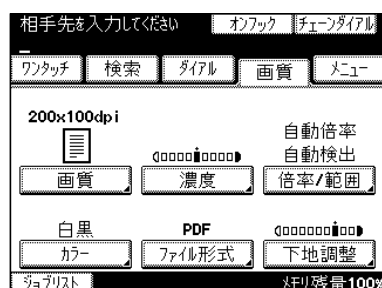


ひとこと

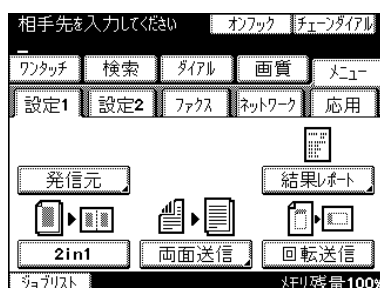
- ・ オプションのFAX キットを装着していない場合は、[ダイヤル] の部分が [アドレス] と表示されます。
- ・ LDAP 検索の画面は、あらかじめLDAP サーバーを登録している場合にのみ表示されます。

送信の設定を行う

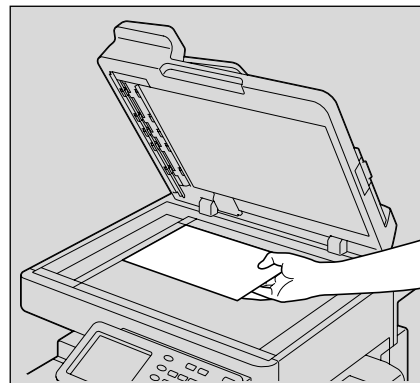
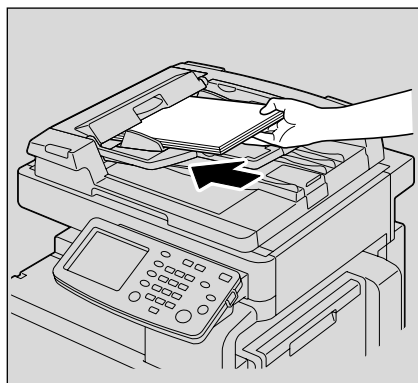
画質 (p. 4-20)



メニュー (p. 4-25)



原稿をセットする



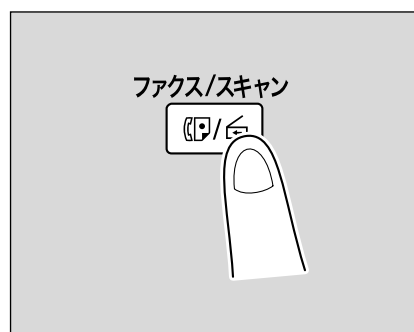
【スタート】キーを押す



4.1.2 ファクス（G3）、同報送信

G3 ファクスを使う場合の手順のながれを説明します。

【ファクス/スキャン】キーを押す



宛先を指定する

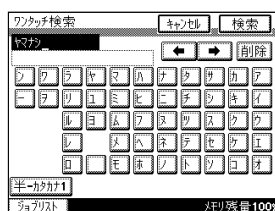
「ワンタッチ」から
(p. 4-10)



「ダイヤル」から
(p. 4-14)



「検索」から (p. 4-12) LDAP 検索 (p. 4-12)
ワンタッチ検索



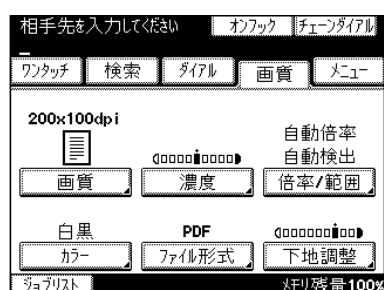
ひとこと

- ・オプションのFAX キットを装着していない場合は、「ダイヤル」の部分「アドレス」と表示されます。
- ・同報送信を行う場合は、複数の宛先を選択します。
- ・LDAP 検索の画面は、あらかじめLDAP サーバーを登録している場合にのみ表示されます。

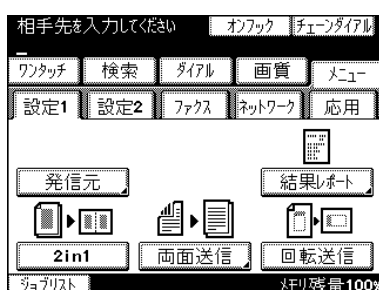


送信の設定を行う

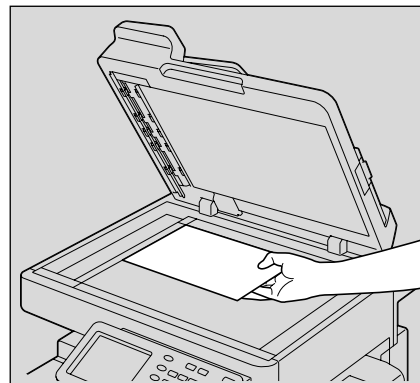
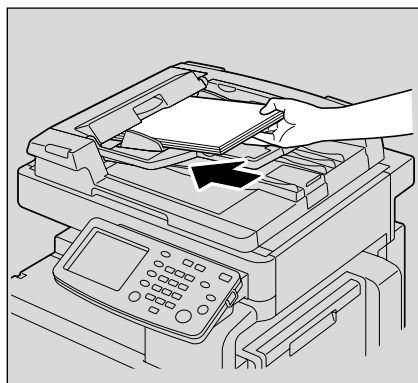
画質 (p. 4-20)



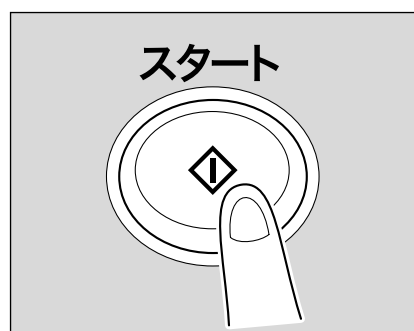
メニュー (p. 4-25)



原稿をセットする



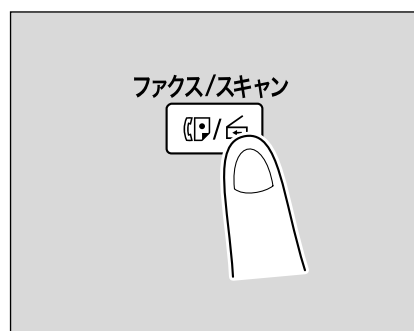
【スタート】キーを押す



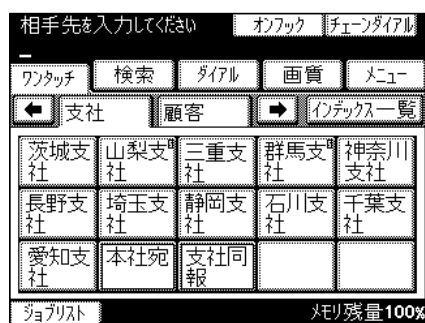
4.1.3 プログラムの呼び出し

登録したファクス / スキャンプログラムを呼び出すながれを説明します。

【ファクス / スキャン】 キーを押す



「ワンタッチ」を押す



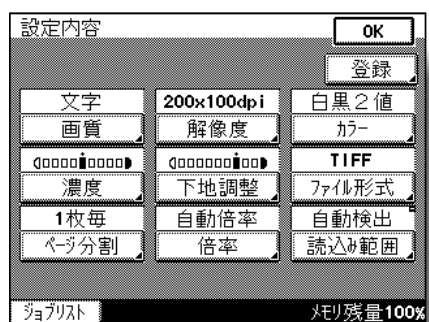
プログラムを選択する

枠が二重になっているキー——
がプログラムです。

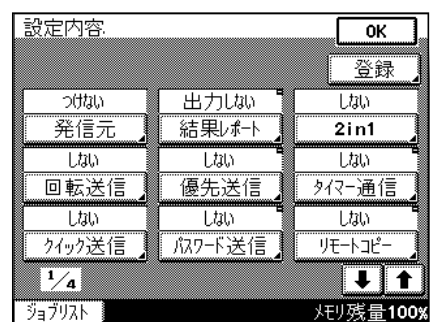


送信の設定を確認する

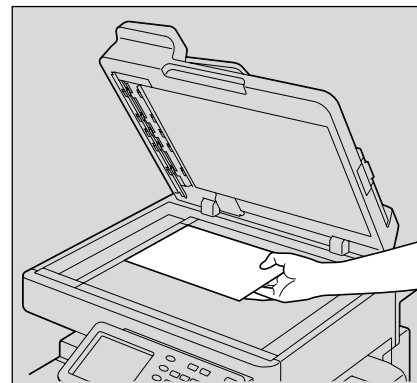
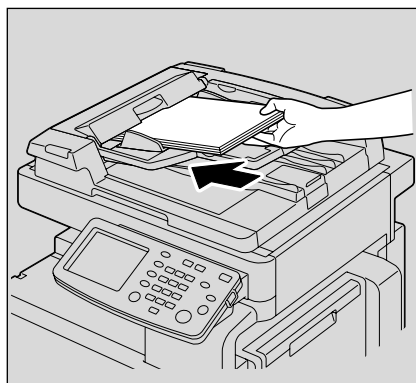
画質 (p. 4-20)



メニュー (p. 4-25)



原稿をセットする



【スタート】キーを押す



プログラム登録の内容と手順は「現在の設定内容をプログラム登録する」(p. 2-11) をご覧ください。

4.2 ファクス / スキャンモードメニューツリー

ファクス / スキャンモードで操作できる機能の構成や設定項目は以下のようになっています。

■ [ワンタッチ] タブ (p. 4-10)

[ワンタッチ] で操作できる内容は以下のとおりです。



インデックス一覧 (p. 4-11)

■ [検索] タブ (p. 4-12)

[検索] で操作できる内容は以下のとおりです。

ワンタッチ検索

LDAP 検索 *——LDAP サーバ検索 *2—— 検索方法 / 対象 / 条件

(*) あらかじめ管理者設定で LDAP サーバを登録している場合に、ワンタッチ検索または LDAP 検索を選択する画面が表示されます。

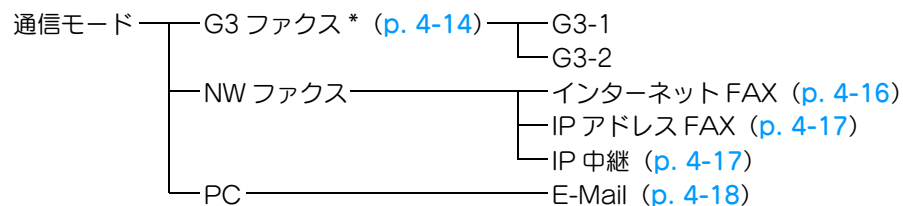
(*2) LDAP サーバを複数登録している場合に表示されます。

■ [ダイヤル] タブ (p. 4-14)

[ダイヤル] で操作できる内容は以下のとおりです。

ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は [アドレス] と表示されます。



■ オフフック * (p. 4-19)

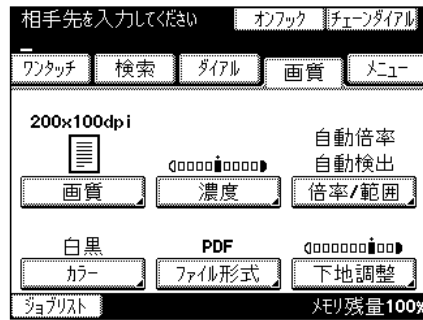
■ チェーンダイヤル *2 (p. 4-19)

(*) オプションの FAX キットを装着していない場合は表示されません。

(*2) オプションの FAX キットを装着していない場合は「チェーン指定」と表示されます。

■ [画質] タブ (p. 4-20)

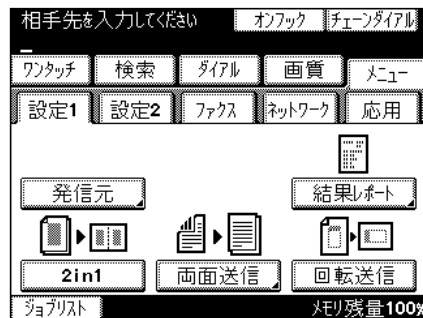
[画質] で設定できる内容は以下のとおりです。



- 画質
 - 画質 (p. 4-20)
 - 解像度 (p. 4-21)
- 濃度 (p. 4-21)
- 倍率 / 範囲
 - 倍率 (p. 4-22)
 - 読み込み範囲 (p. 4-22)
- カラー (p. 4-22)
- ファイル形式
 - ファイル形式 (p. 4-23)
 - ページ設定 (p. 4-24)
- 下地調整 (p. 4-24)

■ [メニュー] タブ (p. 4-25)

[メニュー] で設定できる内容は以下のとおりです。



- 設定 1
 - 発信元 (p. 4-25)
 - 結果レポート (p. 4-25)
 - 2in1 (p. 4-26)
 - 両面送信 (p. 4-26)
 - 回転送信 (p. 4-27)
- 設定 2
 - 優先送信 (p. 4-27)
 - タイマー通信 (p. 4-27)
 - スタンプ *2 (p. 4-28)
- ファクス *
 - クイック送信 (p. 4-28)
 - パスワード送信 (p. 4-29)
 - リモートコピー (p. 4-29)
- ネットワーク
 - タイトル (p. 4-30)
 - Reply (p. 4-30)
 - ファイル名 (p. 4-30)
- 応用 *
 - 掲示板登録 (p. 4-31)
 - ポーリング送信 (p. 4-32)
 - リモート取出し (p. 4-33)
 - ポーリング受信 (p. 4-34)

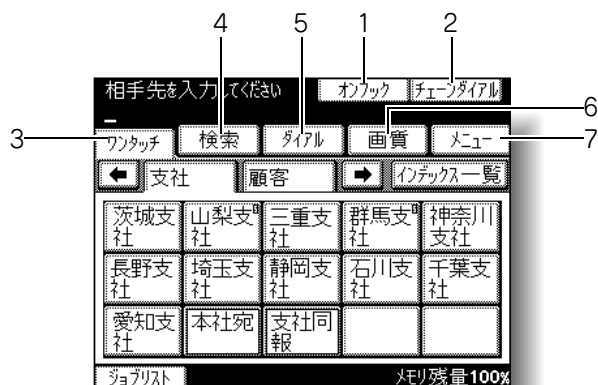
(*) オプションの FAX キットを装着していない場合は表示されません。

(*2) オプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。

4.3 ファクス / スキャン初期画面

4.3.1 画面構成の説明

【ファクス / スキャン】を押すと、以下の画面が表示されます。



No	項目	説明	参照先
1	[オフフック]	オフフックしてダイヤルできます。	p. 4-19
2	[チェーンダイヤル]	ワンタッチに登録した宛先とダイヤル入力を組み合わせてダイヤルできます。	p. 4-19
3	[ワンタッチ]	あらかじめ登録された宛先から送信先を選択します。	p. 4-10
4	[検索]	登録された宛先を検索します。	p. 4-12
5	[ダイヤル]	登録されていない宛先を直接入力して指定します。	p. 4-14
6	[画質]	解像度、濃度、カラー、ファイル形式などを設定できます。	p. 4-20
7	[メニュー]	発信元の設定やパスワード送信などを設定できます。	p. 4-25

4.3.2 ワンタッチ

あらかじめワンタッチに登録した宛先やプログラムから宛先を指定します。



ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合には、以下のように表示が変わります。

- ・ [オフフック] → 表示されません
- ・ [チェーンダイヤル] → [チェーン指定]
- ・ [ダイヤル] → [アドレス]

参照

- ・ ワンタッチへの登録方法は、「宛先登録－ワンタッチ」(p. 9-10) をご覧ください。
- ・ プログラムの登録方法は、「プログラムの登録」(p. 2-11) をご覧ください。

ひとこと

一度に指定できる宛先は最大 210 か所までです。ダイヤルで指定できるのは、最大 12 か所までです。

■ ワンタッチインデックス一覧

本機のワンタッチ画面は 20 個のインデックスキーがあり、それぞれのインデックスに 15 件までのワンタッチを登録できます。インデックスキーに「支社」「顧客」などと名称を付け、ワンタッチを分類しておくことで目的のワンタッチを探しやすくなります。

「インデックス一覧」を押すと登録されているインデックスが表示されます。インデックスキーを押すとインデックスに登録されているワンタッチを表示できます。



インデックスの登録方法は、「宛先登録-インデックス」(p. 9-22)をご覧ください。

■ ワンタッチ番号

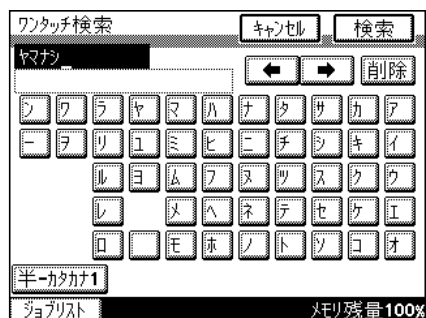
ワンタッチには、キーごとに番号が設定されています。ワンタッチキーを押すかわりにワンタッチ番号を指定することで宛先を指定できます。ワンタッチ番号の設定は以下のとおりです。

～

ワンタッチ番号を指定するときは、【#】を押してから 3 桁の数字をテンキーで入力します。

4.3.3 ワンタッチ検索

ワンタッチに登録した相手先名で検索することができます。検索は読み仮名で行います。相手先名の読み仮名を入力し、[検索]を押してください。

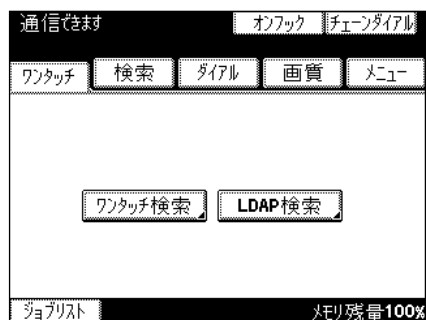


4.3.4 LDAP 検索

LDAP サーバーに登録された宛先を検索して指定することができます。

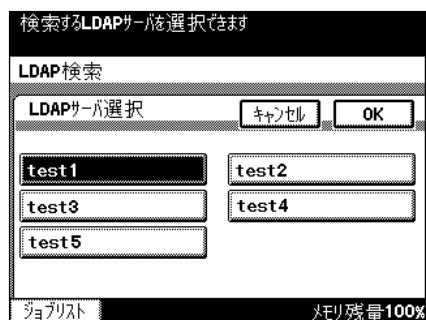
■ 検索方法の選択

LDAP 検索が可能な場合は、[検索]を押すと以下の画面が表示されます。ワンタッチ検索または LDAP 検索を選択します。



■ LDAP サーバーの選択

LDAP サーバーを複数登録している場合、どの LDAP サーバーを検索するか選択します。



ひとこと

LDAP 検索を行うには、あらかじめ管理者設定で検索できる LDAP サーバーを登録しておく必要があります。LDAP サーバー登録について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ LDAP 検索－検索方法

LDAP 検索では、複数の検索条件を設定し、目的のアドレスを検索します。検索対象、キーワード、条件を4つまで設定できます。

検索方法を設定し【検索】を押してください

LDAP 検索

検索方法

対象	キーワード	条件
名称		含む
E-Mail		含む
姓		使用しない
名		使用しない

ジョブリスト メモリ残量100%

■ LDAP 検索－検索方法－検索対象

検索対象となる項目を選択します。名称／E-Mail／姓／名／ファクス番号／都市名／会社名／組織名から選択します。

検索対象を選択してください

LDAP 検索

検索対象

名称	E-Mail	姓
名	ファクス番号	都市名
会社名	組織名	

ジョブリスト メモリ残量100%

■ LDAP 検索－検索方法－キーワード

選択した検索対象に該当するキーワードを入力します。

キーワード

← → 削除

ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
一	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い
	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	
	れ		め	へ	ね	て	せ	け	え	
	る		も	ほ	の	と	そ	こ	お	

全-から始1

ジョブリスト メモリ残量100%

検索対象で「ファクス番号」または「E-Mail」を選択した場合は、以下の画面が表示されます。

キーワード

← → 削除

@	q	w	e	r	t	y	u	i	o	p
a	s	d	f	g	h	j	k	l		
z	x	c	v	b	n	m	,	.		

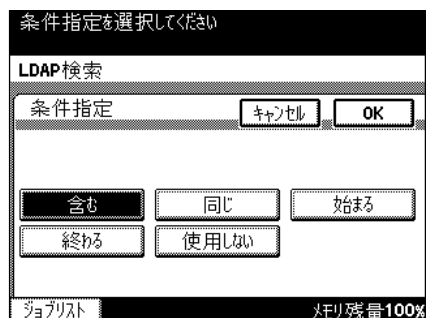
スペース

半-英数

ジョブリスト メモリ残量100%

■ LDAP 検索－検索方法－条件指定

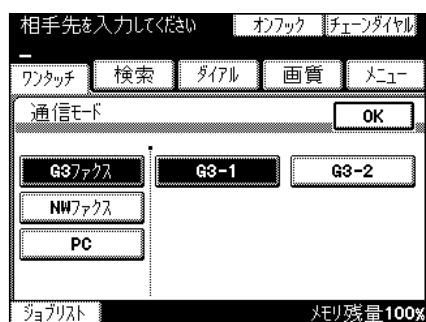
入力した検索条件の設定を含む／同じ／始まる／終わる／使用しないから選択します。



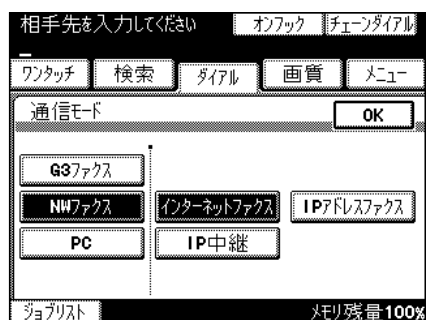
4.3.5 ダイアル

登録されていない宛先を、直接入力することで指定できます。通信モードの切り換えは画面下の「通信切換」を押して選択します。

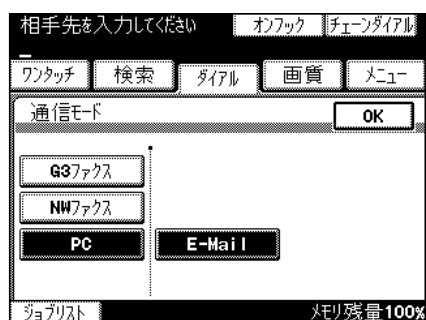
■ G3 ファクス



■ NW ファクス



■ PC



ひとこと

- ・ ソフトスイッチ設定により、「ダイヤル」画面を表示しないよう設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・ オプションのFAX キットを装着していない場合は、「ダイヤル」が「アドレス」と表示されます。
- ・ オプションのFAX キットを装着していない場合は、「G3 ファクス」は選択できません。

4.3.6 ダイアルー G3 ファクス

テンキーを使ってファクス番号を入力します。

- [トーン]：ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には「T」と表示されます。
- [ポーズ]：ダイアルに間をあげたいときに押します。1 回押すと、約 1 秒の間隔を挿入できます。画面には「P」と表示されます。
- [S]：相手機確認送信をしたいときに押します。画面には「S」と表示されます。
- [OK/ 次]：続けて他の宛先を指定するときに押します。



■ 相手先を確認して送信する

ファクスの誤送信を防ぐため、送信時に相手先から受信する CSI (Called Subscriber ID) 信号で相手先を確認してから送信することができます。

- CSI 信号を確認するために、相手機側に自局 ID の登録が必要です。
- ワンタッチキーに電話番号と特殊文字を登録して、ワンタッチダイヤルで相手機確認送信をすることもできます。
- 原稿を送信する前に、相手機から受信する CSI 信号の内容と相手先電話番号を比較し、CSI 信号と相手機の電話番号が一致した場合のみ原稿を送信します。
CSI 信号：被呼端末識別信号 (Called Subscriber ID)：「+」(キャラクタ)、電話用国コード、地域
- コード、加入者番号を含む国際電話番号＝自局電話番号情報
- CSI 信号と相手先電話番号が一致しない場合や CSI 信号を受信できない場合には、通信異常となります。
- 特殊文字のあとに任意の照合番号を付加してダイヤルすることにより、照合番号と CSI 信号が一致した場合のみ原稿を送信することもできます。

ダイヤル方式	相手機の確認方法
相手先電話番号 + 特殊文字「S」	CSI 信号と相手先電話番号を比較
相手先電話番号 + 特殊文字「S」 + 照合番号	CSI 信号と照合番号を比較

- ソフトスイッチの設定により、送信するごとに特殊文字「S」を追加しなくても相手機確認送信の指定をすることができます。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

- ・ 一度に指定できる宛先は最大 210 か所までです。ダイヤルで指定できるのは、最大 12 か所までです。
- ・ ソフトスイッチの設定で、自動的に相手機確認送信を行う設定になっていて一時的に解除したい場合は、ファクス番号のあとに [S] を 2 回押して「SS」と入力してください。
- ・ オプションの FAX キットを装着していない場合は、[ダイヤル] が [アドレス] と表示されます。

- ソフトスイッチの設定により、CSI 信号と相手先電話番号を比較する桁数を設定できます。お買い上げいただいたときは「4 桁」に設定されています。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

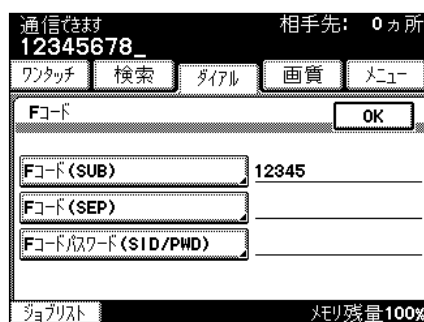
■ 海外

通信状態の悪いところへ通信する場合、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信します。

■ Fコード

SUB アドレスなどを入力することで、相手先の特定のボックス宛に送信します。F コードを使つての送信を「親展送信」といいます。

- [F コード (SUB)] : SUB アドレスを入力します。ここでは、親展送信を行うボックスの番号を入力します。
- [F コードパスワード (SID/PWD)] : 親展送信にパスワードを設定する場合、パスワードを入力します。確認のため 2 回入力してください。



4.3.7 ダイアルーインターネットファクス

パネルから E-Mail アドレスを入力します。

- [ドメイン] : よく使用するドメイン名などを登録しておくと、簡単にアドレスを入力できます。
- [メールモード] : 画像の送信サイズや符号化方式を設定します。詳しくは「メールモード」(p. 4-17) をごらんください。
- [OK/ 次] : 続けて他の宛先を指定するときに押します。



ひとこと

以下の機能とは併用できません。

- ・ ポーリング送信
- ・ ポーリング受信
- ・ 掲示板

詳しく説明します

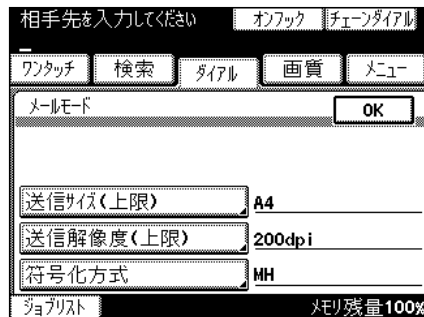
- ・ F コードを使用するためには、相手先が F コード機能を持っている必要があります。
- ・ ダイヤル入力で F コードを指定したときは、1 回の送信につき 1 か所のみ F コードを指定した送信ができます。

ひとこと

- ・ ドメインの登録については、「宛先登録—登録文字列」(p. 9-23) をごらんください。
- ・ オプションの FAX キットを装着していない場合は、[ダイヤル] が [アドレス] と表示されます。

■ メールモード

インターネットファクスでは、相手の装置が対応していない送信サイズ、解像度および符号化方式を使用して送信した場合、受信側で受信データを見ることができない場合があります。上限値を設定することで、相手の装置がサポートしていない能力を指定してもあらかじめ設定した内容で送信されます。

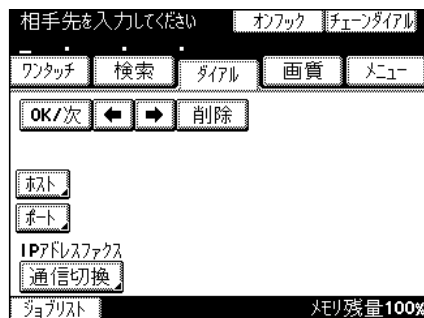


項目	説明
送信サイズ (上限)	受信側が対応している原稿サイズの上限を設定します。
送信解像度 (上限)	受信側が対応している解像度の上限を設定します。
符号化方式	受信側に適した符号化方式を設定します。

4.3.8 ダイアルー IP アドレスファクス

IP アドレスファクスの宛先を入力します。

- [ホスト]：ホスト名で指定できます。あらかじめ「ネットワーク設定」で DNS の設定が必要です。
- [ポート]：使用するポート番号をテンキーで入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。
- [OK/ 次]：続けて他の宛先を指定するときに押します。



4.3.9 ダイアルー IP 中継

テンキーを使って最終宛先となるファクス番号を入力します。

- [トーン]：ダイアル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には「T」と表示されます。
- [ポーズ]：ダイアルに間をあげたいときに押します。1 回押すと、約 1 秒の間隔を挿入できます。画面には「P」と表示されます。

ひとこと

- ・画像データ量が多くなると、ネットワークに対する負荷が大きくなります。また、ネットワーク環境によっては通信ができない場合があります。
- ・各項目毎に希望の値を設定する場合にはそれぞれのメニューを選択し、値を変更します。
- ・受信側がコンピュータで画像を閲覧する場合、符号化によっては閲覧できない場合があります。「MH」を選択すると閲覧できる可能性が高くなります。
- ・符号化データ量は、画像データに依存しますが、一般的には、MMR < MR < MH の順で多くなります。

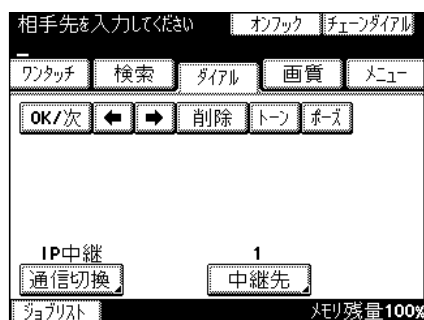
ひとこと

- ・ネットワーク設定については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・オプションの FAX キットを装着していない場合は、[ダイアル]が[アドレス]と表示されます。

詳しく説明します

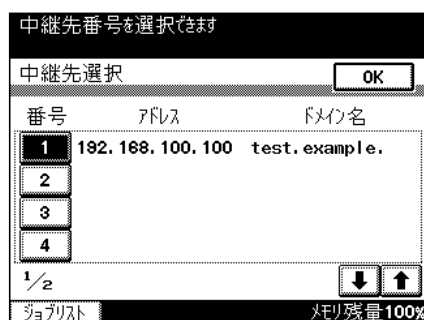
- ・IP アドレスファクスの受信側の機器に「SMTP 認証ユーザー名」と「SMTP 認証パスワード」が設定されている場合、送信する機器でも SMTP 認証ユーザー名と SMTP 認証パスワードを設定してください。
- ・ソフトスイッチ設定により SMTP 認証が有効になっている場合は、[SMTP 認証]が表示されます。ここで SMTP 認証ユーザー名と SMTP 認証パスワードを設定してください。
- ・ソフトスイッチ設定の内容について、詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

- [OK/ 次] : 続けて他の宛先を指定するときに押します。



■ 中継先

送信の中継を行う機器を選択し、[OK] を押します。



ひとこと

- ・ 中継先はあらかじめ登録の必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・ 中継機に「SMTP 認証ユーザー名」と「SMTP 認証パスワード」が設定されている場合、送信する機器でも中継先の登録時に SMTP 認証ユーザー名と SMTP 認証パスワードを設定する必要があります。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・ 優先して選択される中継先を設定するには、「初期設定ーファクス / スキャンー IP 中継 / 中継先選択」(p. 9-6)をごらんください。

4.3.10 ダイアルー E-Mail

パネルから E-Mail アドレスを入力します。

- [ドメイン] : よく使用するドメイン名などを登録しておくと、簡単にアドレスを入力できます。
- [OK/ 次] : 続けて他の宛先を指定するときに押します。



ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は、「ダイヤル」が「アドレス」と表示されます。

4.3.11 オンフック (G3)

手動でファクスを送信するときに使用します。原稿をセットし、必要に応じて画質などの設定を行います。[オンフック] を押すとオンフックの状態になり、相手先を指定できます。



ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は表示されません。

4.3.12 チェーンダイヤル (G3/I-FAX/IP/E-Mail/中継)

複数のワンタッチまたはダイヤル入力を組み合わせて、相手先を呼出することができます。最大 192 桁までのダイヤルを行うことができます。ファクシミリ通信網や契約している電話会社の接続番号、会社の内線番号を個別にワンタッチに登録しておき、組み合わせて指定するときに便利です。

ワンタッチまたはダイヤルしたあと、[チェーンダイヤル] を押して引き続き入力を行います。



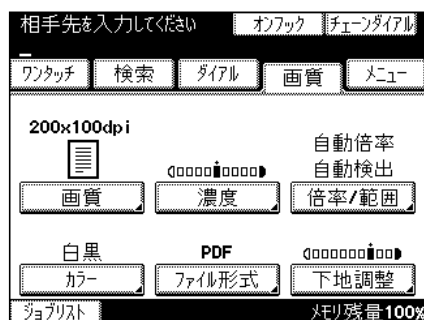
ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は [チェーンダイヤル] が [チェーン指定] と表示されます。

4.4 画質の設定

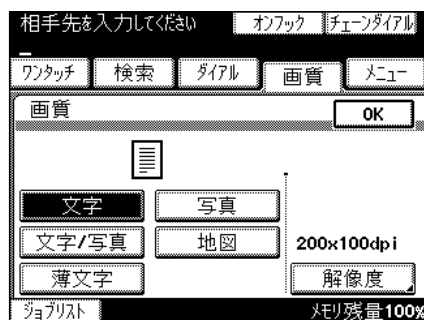
〔画質〕を押すと、スキャン時の詳しい内容を設定できます。

4.4.1 画質（G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/中継）



■ 画質

原稿の内容に合わせて選択します。選択できる画質は以下のとおりです。



■ 文字

文字だけで構成されている原稿を送信するときに選択します。文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画質となります。

■ 文字 / 写真

文字と写真（ハーフトーン）が混ざっている原稿です。

■ 写真

写真（ハーフトーン）だけの原稿を送信するときに選択します。ハーフトーンの写真を、可能なかぎり再現します。

■ 地図

地図などの下地に色がついた原稿や鉛筆、色のついた細い線で描かれた原稿を送信するときに選択します。

■ 薄文字

文字が全体的に薄い原稿です。鉛筆で書かれた文字原稿などで、文字を濃く再現します。

詳しく説明します

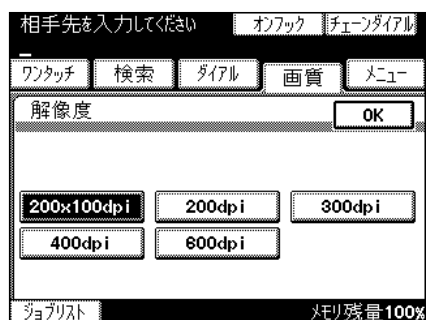
- ・画質の設定は1回通信を行うと、もとの状態に戻ります。
- ・〔画質〕で高解像度を指定しても、〔メールモード〕の「送信解像度（上限）」で設定した内容が優先されます。

ひとこと

- ・相手先の機種によっては、「文字 / 写真」の指定で送信できない場合があります。
- ・〔文字 / 写真〕を選択すると、相手先の能力によっては画像が劣化する場合があります。
- ・〔文字 / 写真〕を選択した場合、原稿によっては写真部分に縞模様が発生することがあります。縞模様が気になる場合は〔写真〕を選択してください。

■ 解像度

「解像度」を押すとスキャンする解像度を選択できます。



詳しく説明します

- ・高い解像度を指定しても、「メールモード」の「送信解像度（上限）」で設定した解像度が低い場合、メールモードでの設定が優先されます。
- ・G3 ファクスで「600dpi」を選択しても機能しません。
- ・高い解像度を指定すると画像データ量が多くなり、ネットワークへの負荷が大きくなります。環境によっては送信できない場合があります。

4.4.2 画質－濃度（G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/中継）

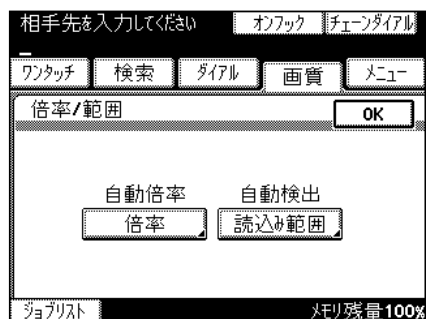
スキャン時の濃さを調整します。

- 濃さを調整するときは「うすく」または「こく」を押します。
- 「ふつう」を押すと設定が初期値に戻ります。



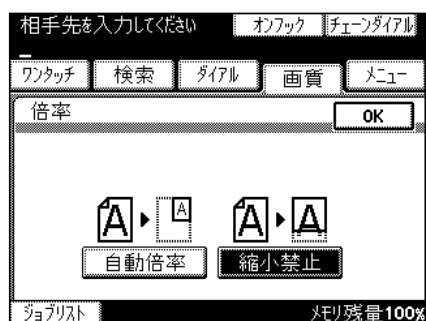
4.4.3 倍率 / 範囲（G3）

B4 サイズより小さい原稿を送信するときは、通常原寸で送信します。B4 サイズ以上の原稿は、相手機の記録紙サイズによって自動的に縮小して送信されます。縮小せずに原寸で送りたい場合などに設定します。



■ 倍率 / 範囲－倍率

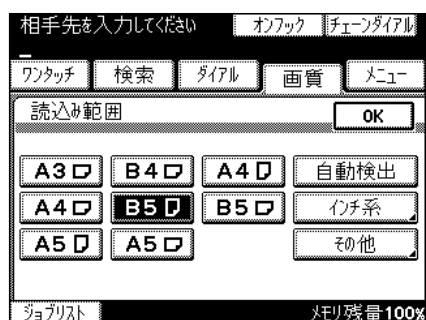
大きなサイズ of 原稿を送信するときの倍率を設定します。



項目	説明
自動倍率	自動的に相手先の記録紙のサイズに合わせて送信されます。
縮小禁止	相手先の記録紙サイズに合った大きさを切り出し、原寸で送信します。

■ 倍率 / 範囲－読み込み範囲

原稿をスキャンするときの読み込み範囲を指定します。定形サイズ以外の原稿を定形サイズとして送信することができます。サイズの種類を選択し、読み込み範囲としたいサイズを選択します。



項目	説明
A 系 B 系	A 系 / B 系の定形サイズが選択できます。
インチ系	インチ系の定形サイズが選択できます。
その他	その他のサイズが選択できます。

4.4.4 カラー（E-Mail/FTP/SMB）

カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを設定します。

■ 原則

カラーは「ファイル形式」の設定によって指定できない場合があります。「ファイル形式」と「カラー」の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	フルカラー	グレー	白黒 2 値
PDF	○	○	○
TIFF	×	×	○
JPEG	○	○	×

■ フルカラー

フルカラーでスキャンします。

■ グレースケール

白黒写真などのハーフトーンが多いときに選択します。

■ 白黒 2 値

線画など、白黒の境がはっきりしているときに選択します。

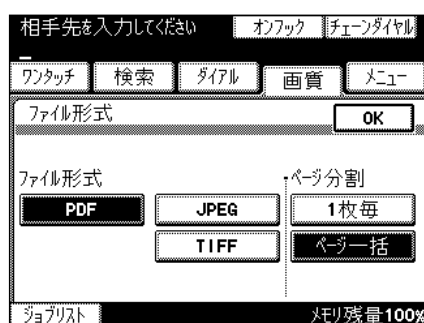


ひとこと

- ・[フルカラー]、[グレースケール] を選択したときは、解像度で [200 × 100dpi] は選択できません。
- ・[フルカラー] または [グレースケール] 選択時に特定のエラーが発生した場合は、[白黒 2 値] で送信し直してください。

4.4.5 ファイル形式 (E-Mail/FTP/SMB)

スキャンしたデータを保存するファイル形式を選択します。



■ ファイル形式

選択できるファイル形式は以下のとおりです。

項目	説明
PDF	PDF 形式で保存します。
TIFF	TIFF 形式で保存します。
JPEG	JPEG 形式で保存します。

原則

保存するファイル形式は「カラー」の設定によって指定できない場合があります。「ファイル形式」と「カラー」の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	フルカラー	グレースケール	白黒 2 値
PDF	○	○	○
TIFF	×	×	○
JPEG	○	○	×

■ ページ設定

保存時のデータのまとまりも指定できます。

項目	説明
一枚毎	ダウンロード時にページごとにデータを保存できる形式でファイルを作成します。
ページ一括	スキャンした全ての原稿をまとめてひとつのファイルを作成します。

4.4.6 下地調整 (G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/ 中継)

スキャン時に原稿の下地の濃さを調整します。スキャンする原稿が色の付いた用紙の場合、下地の色をスキャンして画像全体が濃くなる場合があります。そのときに下地の濃さを調整できます。

- 自動で調整するときは、[自動] を押します。



4.5 メニューの設定

〔メニュー〕を押すと、送信に関する詳しい内容を設定できます。

4.5.1 設定 1 – 発信元（G3/IP/I-FAX/ 中継）

送信時に発信元の情報をつけるかどうかを設定します。

項目	説明
発信元のみ	登録した名前や送信日時、文書番号などをつけて送信します。
宛名 / 発信元	登録した名前に加え、相手先の名前（ワンタッチで登録した相手先名）をつけて送信します。
つけない	何もつけずに送信します。

■ 発信元選択

プリントする発信元を選択できます。

4.5.2 設定 1 – 結果レポート（G3/IP/I-FAX/E-Mail/FTP/SMB/ 中継）

送信の結果レポートの出力タイミングを設定します。



メニューの設定は、1回通信を行うともとの状態に戻ります。

ひとこと

ソフトスイッチ設定により、発信元の付加位置を指定できます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。

ひとこと

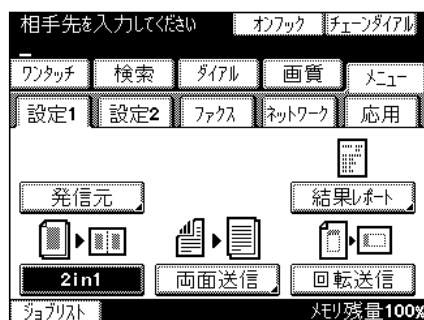
発信元はあらかじめ管理者保守で登録が必要です。詳しくは、「[送信設定－発信元登録（G3/ 中継）](#)」(p. 10-24)をごらんください。

項目	説明
装置設定	あらかじめ管理者保守で設定した内容が表示されます。
出力する	結果に関係なく結果レポートをプリントします。
不達るとき	送信できなかったときにだけ結果レポートをプリントします。
出力しない	結果に関係なく結果レポートをプリントしません。

4.5.3 設定 1 – 2in1 (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)

2 枚の原稿をスキャンして 1 枚の原稿として送信するかどうかを設定します。

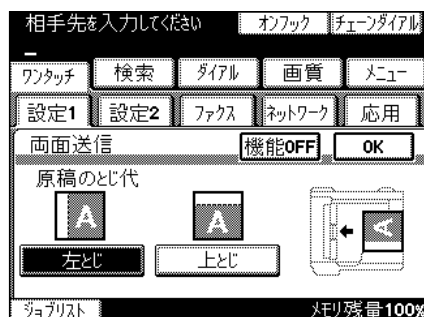
- 原稿は ADF にセットしてください。原稿ガラスを使った送信はできません。
- 送信できる原稿サイズは A5/B5/A4 です。
- 両面送信、回転送信、縮小禁止、クイック送信、オンフックと同時に設定できません。



4.5.4 設定 1 – 両面送信 (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)

両面原稿を送信する場合、原稿の両面をスキャンして送信します。セットする原稿の向き方向も選択します。

- 原稿は ADF にセットしてください。原稿ガラスを使った送信はできません。
- 2in1、スタンプ、クイック送信、オンフックと同時に設定できません。



ひとこと

結果レポートの出力設定については、「[結果レポート \(G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB\)](#)」(p. 10-28) をご覧ください。

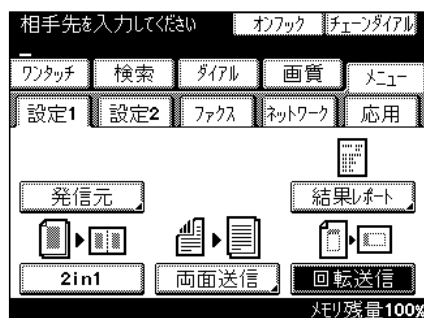
ひとこと

原稿のおもて面が上になるように ADF にセットします。

4.5.5 設定 1 – 回転送信 (G3/I-FAX/ 中継)

原稿をセットした向きによって自動的に縮小されるのを防ぐ場合に選択します。選択すると、A4 サイズの原稿を縦向き / 横向きどちらにセットしても A4 サイズで送信されます。

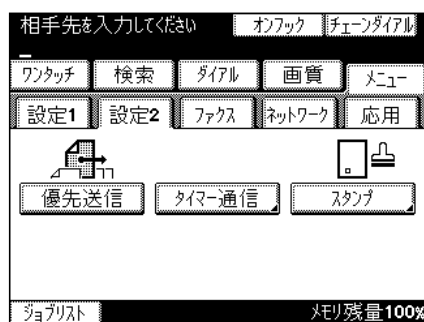
- [画質] – [画質] で解像度を 200dpi 以下に設定します。
- 対応している原稿サイズは A4 サイズです。
- 2in1、クイック送信、オンフックと同時に設定できません。



4.5.6 設定 2 – 優先送信 (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)

送信待ちの原稿がある場合でも、優先して送信できます。

- 複数の相手先では設定できません。
- タイマー通信、クイック送信、オンフックと同時に設定できません。

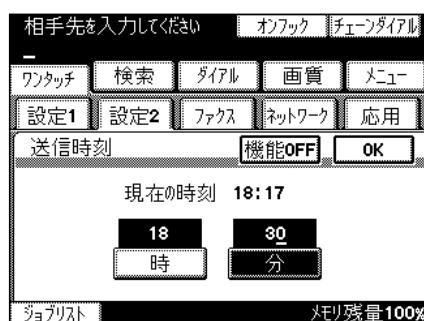


4.5.7 設定 2 – タイマー通信 (G3/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)

送信の時刻を指定できます。早朝や深夜などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。通信の開始時刻をテンキーで入力してください。

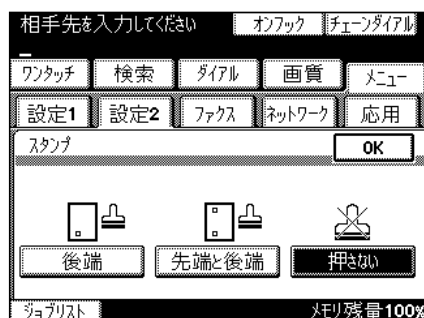
- 最大 64 文書まで指定できます。
- 優先送信と同時に設定できません。
- クイック送信、優先送信、オンフックと同時に設定できません。

- 時間は 24 時間制で指定します。



4.5.8 設定 2 – スタンプ (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)

ADF を使用して送信する場合、読取った原稿に済みスタンプを押して 1 枚ずつ読取られたかどうかを確認できます。スタンプの位置を選択してください。



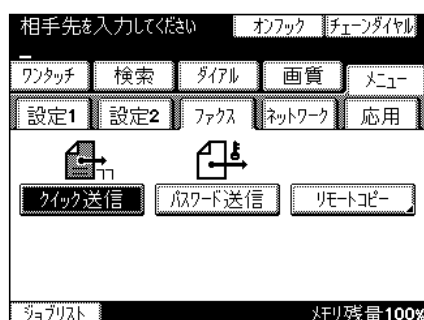
ひとこと

- ・ クイック送信を選択している場合、スタンプを選択するとクイック送信は解除されます。
- ・ スタンプを使用するには、オプションのファクス済みスタンプユニットが必要です。
- ・ スタンプのインクは消耗品です。スタンプが薄くなった場合はサービス実施店にお問い合わせください。
- ・ 原稿が正しく送られているかどうかは、結果レポートやジョブリストで確認してください。

4.5.9 ファクス–クイック送信 (G3)

原稿を 1 ページ読取ると同時にファクス送信を始める方法です。原稿の枚数が多い場合にもメモリオーバーすることなく送信できます。回線が使用中の場合は、回線が使用できる状態になってから送信が開始されます。

- 原稿は ADF にセットしてください。
- 複数の相手先では設定できません。
- 2in1、両面送信、タイマー通信、優先送信と同時に設定できません。



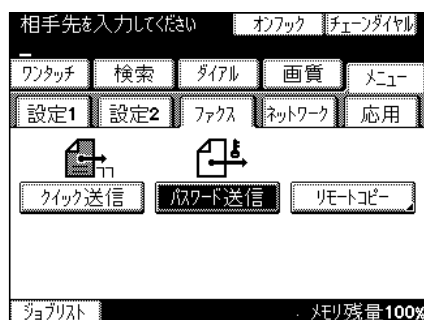
ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は表示されません。

4.5.10 ファクスパスワード送信 (G3)

パスワードをつけて送信します。相手先が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。

- 相手先が閉域受信 (パスワード) 機能を持つ機種のときだけ使用できます。

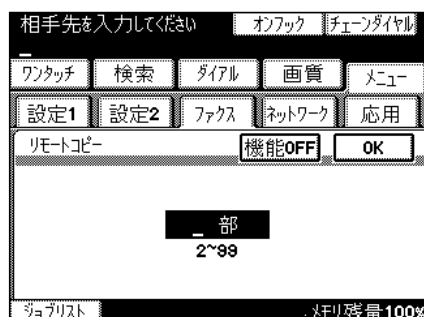


4.5.11 ファクスリモートコピー (G3)

相手先へ同じ原稿を2部以上送りたいときなどに使用します。相手先でプリントする部数をあらかじめ指定することができます。

テンキーで部数を入力し、[OK] を押します。

- 部数は2～99部の範囲で指定できます。
- 相手先にFコードによるリモートコピー機能がない場合は使用できません。



ひとこと

- ・パスワード送信を行う場合は、あらかじめ管理者保守でパスワードを設定する必要があります。詳しくは、「[ファクス設定ーパスワード通信 \(G3\)](#)」(p. 10-18) をご覧ください。
- ・オプションのFAXキットを装着していない場合は表示されません。

ひとこと

- ・ソフトスイッチ設定により、リモートコピーの部数を制限できます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をご覧ください。
- ・オプションのFAXキットを装着していない場合は表示されません。

4.5.12 ネットワークタイトル (E-Mail/I-FAX)

あらかじめ登録した内容を E-Mail のタイトル (Subject) として挿入できます。

タイトルを選択し、[OK] を押します。



ひとこと

あらかじめ、ネットワーク設定でタイトルの登録が必要です。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

4.5.13 ネットワーク Reply (E-Mail/I-FAX)

メール送信時にワンタッチに登録されているアドレスを、メール受信した相手が返信する際の宛先 (Reply-to) として設定できます。

ワンタッチを選択し、[OK] を押します。



4.5.14 ネットワークファイル名 (E-Mail/I-FAX)

メール送信時に添付する画像データのファイル名を付けます。入力できるのは半角 16 文字 (全角 8 文字) までです。

4.5.15 URL 通知先設定 (FTP/SMB)

FTP や SMB などのファイル送信時、ジョブの終了を通知する E-Mail を送付できます。この E-Mail の送付先アドレスを指定します。通知先のアドレスはワンタッチに登録したアドレスから選択します。URL 通知先を設定する場合は、あらかじめ送信先アドレスをワンタッチに登録しておいてください。



詳しく説明します

- ・ URL 通知先設定で有効な送信先は、ファイル送信 (FTP)、ファイル送信 (SMB) です。
- ・ E-Mail 送信、インターネットファクス、IP アドレスファクス、G3 ファクス、IP 中継送信時には設定しても機能しません。

4.5.16 応用－掲示板登録 (G3)

掲示板の文書を受信側からの指示で送信させるため、掲示板に文書を登録します。

■ 掲示板への登録手順

文書を登録する掲示板を選択し、画質、濃度などを設定します。

- クイック送信、メモリ送信、ポーリング送信、タイマー通信、パスワード送信、F コード送信とは同時に設定できません。



詳しく説明します

掲示板に文書を登録するには、あらかじめ掲示板の登録が必要です。掲示板の登録については、「[掲示板 \(G3\)](#)」(p. 7-5) をご覧ください。

ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は表示されません。

■ 掲示板登録－画質

詳しい設定手順は、「[画質 \(G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/中継\)](#)」(p. 4-20) をご覧ください。

■ 掲示板登録－濃度

詳しい設定手順は、「[画質－濃度 \(G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/中継\)](#)」(p. 4-21) をご覧ください。

■ 掲示板登録－倍率 / 読み込み範囲

詳しい設定手順は、「[倍率 / 範囲 \(G3\)](#)」(p. 4-21) をご覧ください。

■ 掲示板登録－送信機能

以下の機能を設定できます。詳しくは、参照先のページをご覧ください。

■ 掲示板登録－下地調整

詳しい設定手順は、「[下地調整（G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/中継）](#)」（p. 4-24）をごらんください。



項目	参照先
発信元	p. 4-25
スタンプ	p. 4-28
2in1	p. 4-26
両面送信	p. 4-26
回転送信	p. 4-27

■ 他のファクスから掲示板に文書を登録する場合

Fコード機能を使用して他のファクスから掲示板に文書を登録することができます。登録する掲示板のFコードを「SUB」、掲示板のパスワードを「SID/PWD」と入力して本機宛に送信してください。

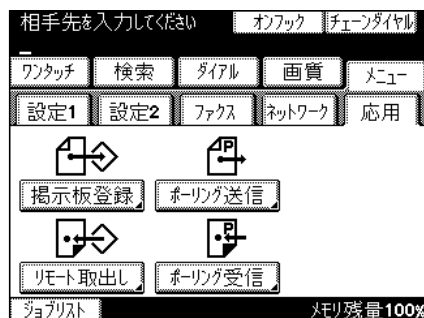
4.5.17 応用－ポーリング送信（G3）

あらかじめメモリに保存しておいた原稿を、相手先の操作で送信することができます。

- 保存された文書は、送信後に消去されます。
- ポーリング送信は1文書のみ登録できます。

■ ポーリング送信への登録手順

[ポーリング送信] を押し、画質、濃度などを設定します。



■ ポーリング送信－画質

詳しい設定手順は、「[画質（G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/中継）](#)」（p. 4-20）をごらんください。

■ ポーリング送信－濃度

詳しい設定手順は、「[画質－濃度（G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/中継）](#)」（p. 4-21）をごらんください。

ひとこと

指定した掲示板に、すでに登録された文書がある場合は、送信された文書に置き換わります。

ひとこと

オプションのFAXキットを装着していない場合は表示されません。

■ ポーリング送信－倍率 / 読み込み範囲

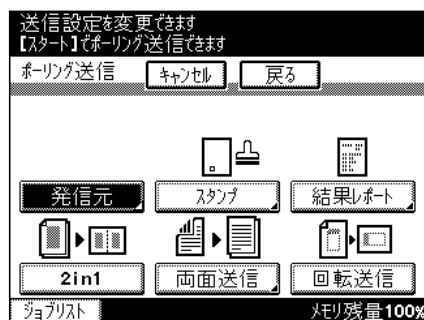
詳しい設定手順は、「[倍率 / 範囲 \(G3\)](#)」(p. 4-21) をごらんください。

■ ポーリング送信－送信機能

以下の機能を設定できます。詳しくは、参照先のページをごらんください。

■ ポーリング送信－下地調整

詳しい設定手順は、「[下地調整 \(G3/I-FAX/IP/E-Mail/FTP/SMB/ 中継\)](#)」(p. 4-24) をごらんください。



項目	参照先
発信元	p. 4-25
結果レポート	p. 4-25
スタンプ	p. 4-28
2in1	p. 4-26
両面送信	p. 4-26
回転送信	p. 4-27

4.5.18 応用－リモート取出し (G3)

送信側にセットされている掲示板の文書を受信側からの指示で送信させる機能です。

相手先（送信側）の指定方法を選択し、宛先を指定します。

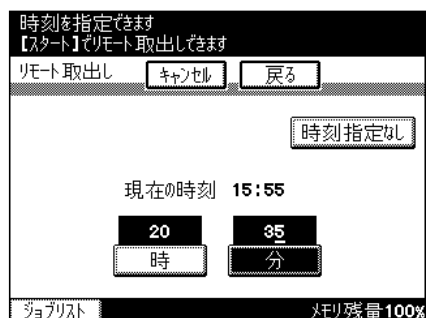


ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は表示されません。

■ ワンタッチで指定する場合

ワンタッチで選択する場合は、あらかじめFコードを登録しておいてください。受信時刻を設定し、【スタート】を押します。



■ ダイヤル入力で指定する場合

以下の指定を行い、【スタート】を押します。

- ファクス番号
- Fコード (SEP)
- Fコード (SID/PWD) (必要な場合)
- 受信時刻



4.5.19 応用ーポーリング受信 (G3)

送信側にセットされている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。通信料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

1

相手先（送信側）の指定方法を選択し、宛先を指定します。



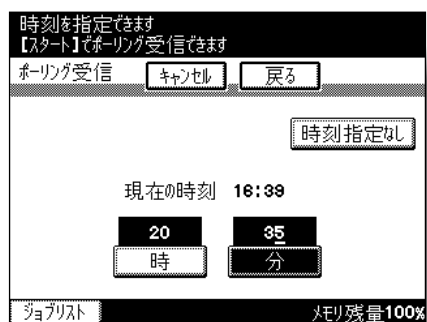
2

受信時刻を設定し、【スタート】を押します。

ひとこと

オプションのFAXキットを装着していない場合は表示されません。

- ワンタッチで選択する場合は、あらかじめFコードを登録しておいてください。



4.6 リダイヤルについて

同じ宛先にもう一度送信し直す動作をリダイヤルといいます。

受信側が話し中などで送信できない場合、一定時間が経過してから再度送信します。

4.6.1 オートリダイヤル

受信側が話し中などで送信ができなかった場合は、管理者保守設定で設定されているオートリダイヤル回数にしたがって自動的にオートリダイヤルされます。

リダイヤルされるまで、送信のジョブはリダイヤル待機の予約ジョブとして扱われます。

4.6.2 手動リダイヤル

リダイヤル待ちのジョブをジョブ詳細画面からリダイヤルできます。

[ジョブリスト] から [通信] タブを押し、「再送信」または「相手先変更」のジョブを選択します。



詳しく説明します

オートリダイヤルの回数は出荷時に 1 分おきに 5 回行われるように設定されています。オートリダイヤル回数の設定については、「[送信設定ーリダイヤル \(G3/ 中継\)](#)」(p. 10-24) をご覧ください。



第 5 章


受信する (G3/IP/I-FAX)

ファクス受信の種類やそれぞれの操作について説明しています。

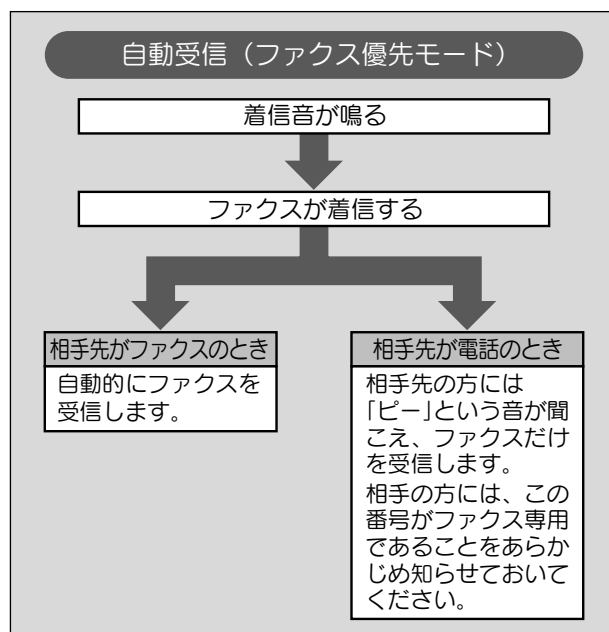
5.1	受信する (G3：外部電話を接続しない)	5-2
5.2	受信する (G3: 外部電話を接続する)	5-3
5.3	受信する (I-FAX)	5-6
5.4	受信する (IP)	5-8
5.5	メモリ代行受信	5-9
5.6	受信時の記録	5-10
5.7	受信情報	5-12

5.1 受信する（G3：外部電話を接続しない）

5.1.1 自動受信（ファクス優先）

電話回線をファクス専用として使う場合に設定します。設定されている回数分のリング信号を検知すると、自動的に受信を開始します。受信中はタッチパネル下部に受信中を示す  マークが表示されます。

相手が電話の場合でも、着信音が鳴っている間にハンドセット（受話器）をとると通話することができます。



ファクス専用で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続していない
- 受信機能－着信方式：[自動受信] に設定

ひとこと

ナンバーディスプレイ契約回線でご使用になる場合は、本装置の機能を有効に活用するために、「自動受信（ファクス優先）」または「自動受信（電話優先）」でご使用ください。

詳しく説明します

- ・着信音の回数は、お買い上げ時には「1回」で設定されています。着信音の回数は管理者保守の「受信機能」で設定できます。詳しくは、「[ファクス設定－受信機能（G3）](#)」(p. 10-17) をご覧ください。
- ・自動着信呼出回数を 1 ～ 20 回に設定しておくことで、ファクスを着信する前に着信音を鳴らすことができます。ただし、自動着信呼出回数を 10 回以上に設定すると、相手先により自動的にファクスを受信できないことがあります。
- ・自動着信呼出回数を 0 回に設定すると、着信音が鳴らずにファクスを受信します。

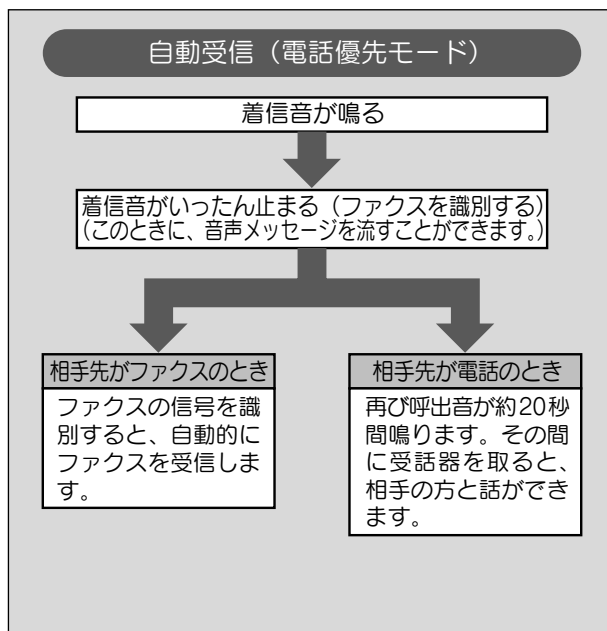
ひとこと

自動受信で使用するには、管理者保守の「受信機能」で、着信方式を「自動」に設定する必要があります。詳しくは、「[ファクス設定－受信機能（G3）](#)」(p. 10-17) をご覧ください。

5.2 受信する（G3: 外部電話を接続する）

5.2.1 自動受信（電話優先）

外部電話機を本機に接続して電話としても使う場合に設定します。ファクス優先で使うことが多い場合はこの設定にしておくとう便利です。相手先がファクスのときは自動的に受信し、電話のときには呼出音が鳴ります。



自動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

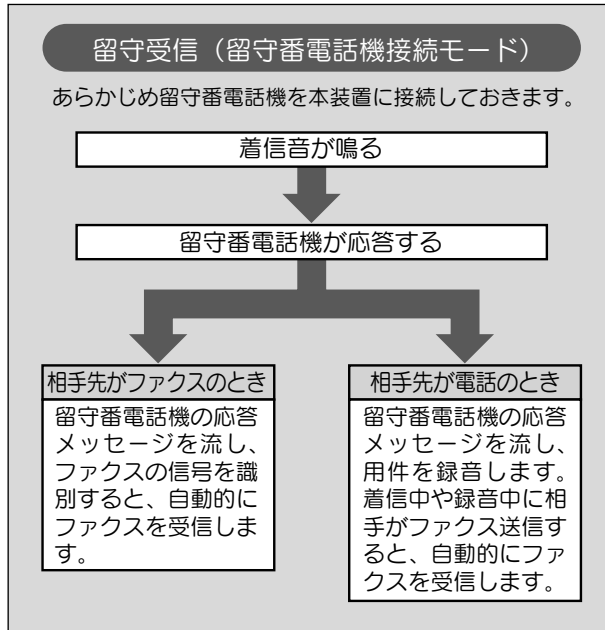
- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- 受信機能－着信方式：「自動受信」に設定

ひとこと

- ・ ソフトスイッチ設定により、回線をつないだとき送信側に対して音声メッセージを流すよう設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・ 電話優先モードでは、設定した回数分着信音が鳴ったあと、ファクスの信号を識別するためにいったん回線をつないでから、さらに約 20 秒間着信音を鳴らします。このため、再び着信音が鳴り出したときには、電話に出なくても相手先に通話料金がかかります。ソフトスイッチの設定により、いったん回線をつないだあと何秒間着信音を鳴らすかを指定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

5.2.2 外部電話機の留守番電話機能を設定するときは

外出時などに外部電話機の留守番電話機能を ON にする場合、外部電話機側の呼出音設定回数が、管理者保守の〔ファクス設定〕－〔受信機能〕－〔着信回数設定〕よりも多く設定されている場合、本機がファクス受信を開始してしまい、留守番電話機能が正しく機能しません。「外部 TEL 呼出時間」の設定が、外部電話機の呼出音設定回数より多くなるように設定してください。



留守番電話機能を使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

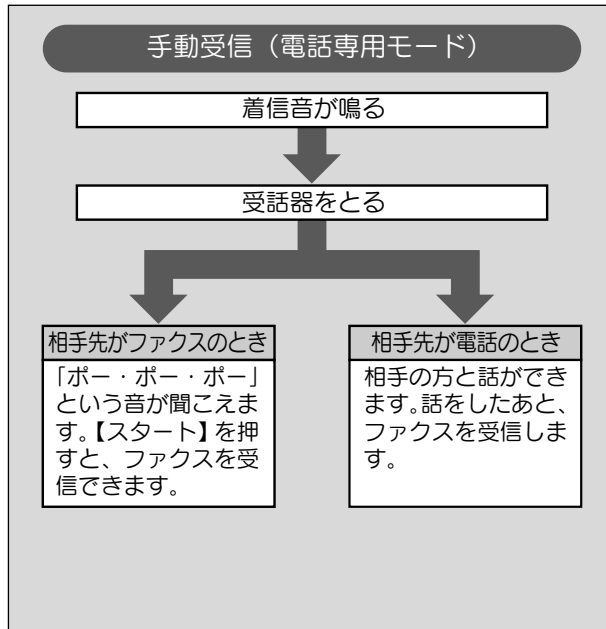
- 外部電話：接続している（留守番機能 ON）
- 受信機能－着信方式：〔自動受信〕に設定

ひとこと

- ・ ナンバーディスプレイ契約回線を使用して、留守番電話機接続モードに設定するときは、接続する電話機も「ナンバーディスプレイあり」に設定してください。留守番電話機によっては、接続できないことがあります。
- ・ 外部電話機の呼出音設定回数の変更、ナンバーディスプレイの設定は、外部電話機のマニュアルをご覧ください。

5.2.3 手動受信 (電話専用)

外部電話機を本機に接続している場合で、電話として使用することが多い場合はこの設定にしておくとう便利です。外部電話機をとり、そのままファクス受信に切替える場合は、電話を切らずに【3】【*】の転送受信番号を押してください。



手動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している (留守番機能 OFF)
- 受信機能－着信方式：[手動受信] に設定

ひとこと

ソフトスイッチ設定により、転送受信をする / しないを切替えることができます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

5.3 受信する (I-FAX)

インターネットファックスの受信には、自動取得と手動取得の2種類があります。本機が受信すると、管理者保守の「受信文書」の設定にしたがって、印刷 / 転送 / 受信などが行われます。

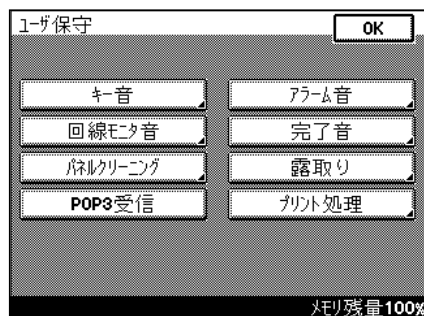
- 受信できるメールの形式は以下のとおりです。これ以外の形式のメールは受信できないことがあります。
- ・テキスト
- ・TIFF-F イメージ
- ・テキスト / TIFF-F イメージ混在
- ・DSN、MDN
 - 受信できない形式のメールを受けた場合は、相手先に結果通知 (MDN) を返送します。
 - Scan to E-Mailで送信された TIFF/PDF/JPG形式のファイルは、本装置で受信できません。
 - メール転送等をインターネットファックスに送信することはできません。

5.3.1 自動取得

POP サーバーに対して、一定の間隔でインターネットファックスが届いているかを確認します。お買い上げいただいたときは、自動取得を行わない設定になっています。インターネットファックスを自動的に受信するには、管理者保守の「ネットワーク設定」で「自動到着確認」の設定を行ってください。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。

5.3.2 手動取得

POP サーバーに対して、本機のキーを押してインターネットファックスが届いているかを確認します。【設定メニュー / カウンタ】を押し、【ユーザー保守】画面で【POP3 受信】を押してください。



受信したインターネットファックス文書の印刷 / 転送 / 受信の詳細は、管理者保守の「文書管理」で設定します。詳しくは、「[文書管理](#)」(p. 10-9) をご覧ください。

ひとこと

アプリケーション独自の形式ファイルなどが添付されている場合も、受信できないことがあります。

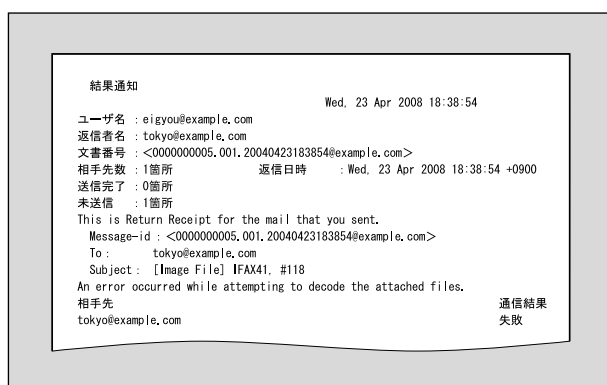


- ・インターネットファックスの手動受信画面は、「[POP3 受信](#)」(p. 9-8) をご覧ください。
- ・強制メモリ受信ボックスまたはボックスからの印刷については、「[文書-受信文書](#)」(p. 2-7) をご覧ください。

5.3.3 結果通知

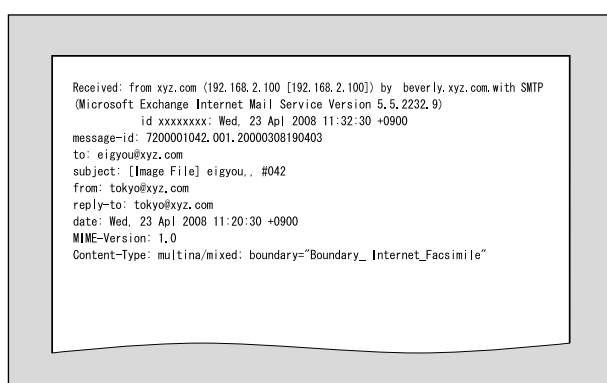
本機ではインターネットファクスの受信結果を相手先に要求することで、受信結果を受けることができます。また、送信側から要求があった場合や正常に受信できなかった場合は、こちら側からメールの受信結果を相手先に通知するメール (MDN または DSN) を返信することもできます。

- 結果通知を要求するには、返信先もフルモードに対応している必要があります。
- 送信したメールの返信元アドレスが誤っている場合には、返信されないことがあります。
- 送信側装置から結果通知の要求があったときに結果通知を返信します。
- 受信結果エラーコード「E6XXXX」が表示されたときに結果通知を返信します。
- インターネットファクス送信時に、相手先での受信結果を確認できます。また、インターネットファクス送信時に相手機の受信能力を検出し、相手機の受信能力に応じた通信をすることができます。



5.3.4 受信文書ヘッダ印刷

受信文書の 1 ページ目に電子メールヘッダ情報を付けることができます。送信側からのヘッダ情報を確認したい場合に利用できます。



結果通知を行うには、管理者保守の「ネットワーク設定」で結果通知を「する」に設定してください。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。

ひとこと

- ・フルモード機能を利用するには、あらかじめソフトスイッチの設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。
- ・フルモード機能は、E-Mail 送信では利用できません。



受信文書ヘッダ印刷を行うには、管理者保守の「ネットワーク設定」で受信文書ヘッダ印刷を「する」に設定してください。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。

5.4 受信する (IP)

本機が IP アドレスファクスを受信すると、管理者保守の「受信文書」の設定にしたがって、印刷 / 転送 / 受信などが行われます。



受信した IP アドレスファクス文書の印刷 / 転送 / 受信の詳細は、管理者保守の「文書管理」で設定します。詳しくは、「[文書管理](#)」(p. 10-9) をご覧ください。

5.5 メモリ代行受信

5.5.1 メモリ代行受信とは

用紙づまりや消耗品切れなどで受信した文書を印刷できない場合は、印刷できる状態になるまで受信した文書がメモリに保存されています。

この機能をメモリ代行受信といいます。

用紙づまりなどのトラブル処理が終了すると、保存されていた受信文書が自動的に印刷されます。

メモリがいっぱいになっているときは代行受信できない場合があります。

5.5.2 メモリ代行受信したジョブの転送（G3）

トラブル処置ができない場合など、メモリ代行受信したジョブを別の宛先に転送することができます。[ジョブリスト] - [通信] 画面から[受信文書]を押します。転送したいジョブを選択して[転送]を押してください。宛先を指定して[実行]を押すと転送できます。

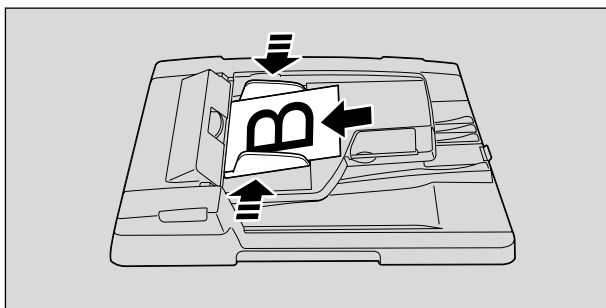
5.6 受信時の記録

受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

5.6.1 縮小禁止を設定して記録するとき

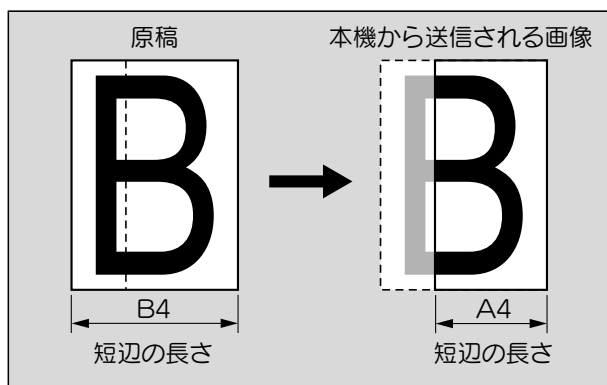
縮小禁止を指定すると、相手先に以下のように送信されます。

■ 原稿セットの方向



■ 送信のされかた

本機が B4 の原稿を縮小禁止で送信し、相手機が A4 で受信した場合を例に説明します。



受信側の機種によっては、受信後に縮小してプリントされることもあります。

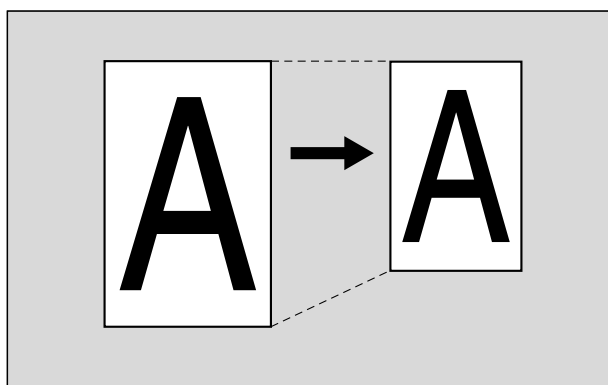
本機と同型機と通信する場合、お買い上げいただいたときの設定では、受信側で縮小されますので、ご注意ください。

5.6.2 用紙におさまるように縮小して記録するとき

- 受信できる用紙サイズは、A5 □、B5 □、B5 □、A4 □、A4 □、B4 □、A3 □ です。
- 受信した原稿と同じサイズの用紙がセットされていないときは、一回り大きいサイズの用紙を選択したり、自動的に縮小したりします。例えば、A4 の用紙をセットしていて B4 の原稿を受信した場合は、A4 の用紙に縮小してプリントします。
- A4、B5 □、A5 □ サイズの原稿を受信した場合は、原稿と用紙の向きが異なっても、自動的に 90° 回転させてプリントすることができます（回転記録）。また、ソフトスイッチの設定により、回転記録機能を使い、リモートコピー受信時に交互ソートする / しないを指定できます。
- お買い上げいただいたときの状態では、受信した原稿をマルチ手差しテーブルの用紙にプリントすることはできません。マルチ手差しテーブルの用紙にプリントしたいときは、ソフトスイッチで設定してください。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

5.6.3 長い原稿を受信したとき

- 定型のサイズ（A4 や B4）に比べて縦が長い原稿を受信したときは、以下のように縮小してプリントされます。この際、1 枚に収まるよう自動的に最適な倍率が選択されます。
- 65% まで縮小しても 1 枚に収まりきらない場合は、分割してプリントします。この場合、継ぎ目を重複してプリントします（より大きな記録紙がセットされていれば、分割せずに大きな方の記録紙にプリントします）。



ひとこと

ソフトスイッチ設定により、以下の内容を変更できます。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

- ・受信プリント時の記録紙選択に関する指定をする
- ・ファクス受信の機能に関する指定をする
- ・ファクス受信のカセット選択に関する指定をする

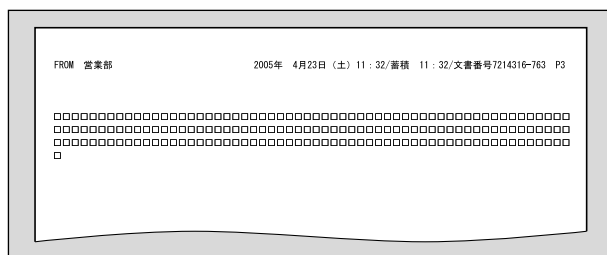
ひとこと

縮小させたくない場合および縮小の限度を変更する場合は、ソフトスイッチの設定を変更してください。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

5.7 受信情報

受信した原稿に文書情報が付いている場合は、受信文書に受信情報（日付、時刻、ページ番号など）が記録されます。

記録される内容は送信側の設定により異なります。



このほか、受信管理レポートでは、文書番号、受信開始日時、所要時間、相手先、モード、記録済み枚数、通信結果などを確認できます。詳しくは、「[通信管理レポート](#)」(p. 8-8) をご覧ください。



第 6 章

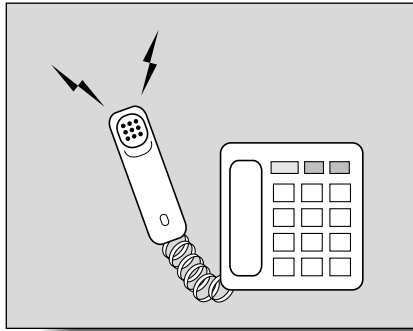
電話をかける / 受ける (G3)

本機に外部電話機を接続している場合のかけかた、受けかたを説明します。

6.1	電話をかける	6-2
6.2	電話を受ける	6-3

6.1 電話をかける

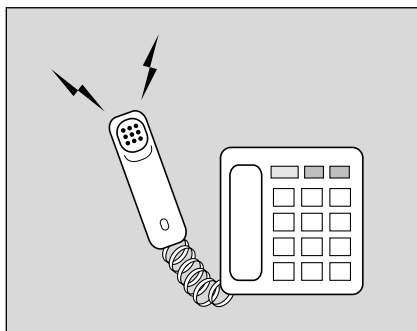
外部電話機の受話器を上げ、相手先を指定します。通話が終了したら受話器を戻します。



6.2 電話を受ける

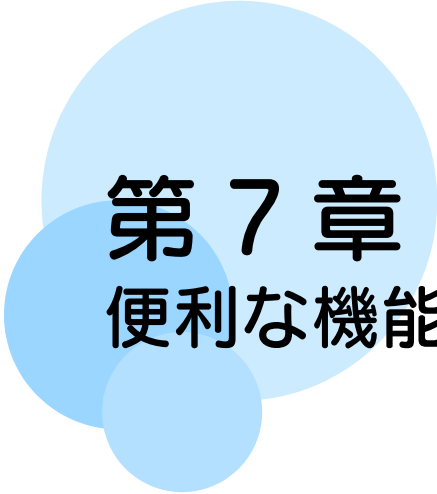
電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。通話が終了したら受話器を戻します。

- そのままファクス受信に切り替えることもできます。外付け電話機から電話を切らずに、【3】【*】の転送受信番号を押すと、本機がファクス受信に切り替わります。



詳しく説明します

- ・ ファクス受信に切り替える「転送受信機能」を使用する場合は、外付け電話機にはプッシュ信号を送出できる機種を使用してください。
- ・ 転送受信をする / しないをソフトスイッチ設定で切り替えることができます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



第 7 章

便利な機能（G3/IP/I-FAX）

便利なファクスの送受信機能について説明します。

7.1	強制メモリ受信（G3/IP/I-FAX）	7-2
7.2	親展通信（G3）	7-3
7.3	ポーリング送信 / 受信（G3）	7-4
7.4	掲示板（G3）	7-5
7.5	増設回線を使用した送受信（G3）	7-6
7.6	ファクス転送（G3）	7-7

7.1 強制メモリ受信 (G3/IP/I-FAX)

受信した文書をメモリに蓄積し、必要に応じて印刷することができます。
この機能を強制メモリ受信といいます。

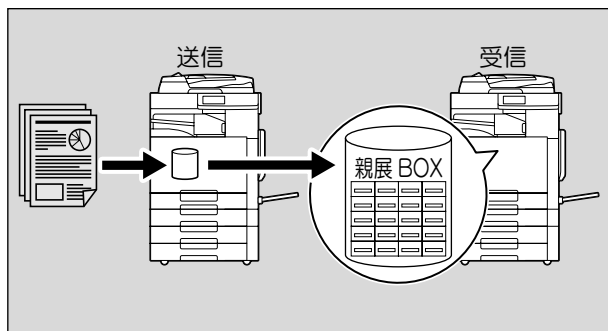
受信した文書は強制メモリ受信ボックスに保存されます。ボックスを参照して印刷の操作をしてください。不要な文書は削除することもできます。



ボックス内の文書の印刷 / 削除については、「[文書管理](#)」(p. 10-9)をごらんください。

7.2 親展通信 (G3)

特定の人との間で送受信したい原稿を親展ボックスを使って通信する機能です。相手の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信といいます。この機能は相手先がFコード機能を持つ機種の場合に使用できます。



■ 親展受信に必要な設定

親展受信を行うには、本機に親展受信用のボックスを作成します。メモリ内に親展受信するボックスの設定を行います。

■ 親展受信する

親展受信をすると、親展ボックスに文書が保存されます。ボックスを参照して印刷の操作をしてください。不要な文書は削除することもできます。

■ 親展送信する

相手先の親展送信ボックスの番号とパスワードを入力し、送信します。



受信ボックスの設定については、[「文書管理」](#) (p. 10-9) をごらんください。



ボックス内の文書の印刷 / 削除については、[「文書管理」](#) (p. 10-9) をごらんください。

7.3 ポーリング送信 / 受信 (G3)

7.3.1 ポーリング送信

受信側のポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめ内蔵メモリに文書を保存しておく機能です。ポーリング送信ボックスへの文書保存方法は、「[応用－ポーリング送信 \(G3\)](#)」(p. 4-32) をご覧ください。

- ポーリング送信は 1 文書のみ登録できます。
- 自動的にメモリ送信が設定されます。

原則

以下の機能とは併用できません。

- ・ クイック送信
- ・ ポーリング受信
- ・ タイマー通信
- ・ 海外通信モード
- ・ Fコード送信
- ・ パスワード送信
- ・ 掲示板登録
- ・ 掲示板ポーリング受信

7.3.2 ポーリング受信

送信側に保存されている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。電話料金を受信側で負担したいときなどに便利です。ポーリング受信の方法は、「[応用－ポーリング受信 \(G3\)](#)」(p. 4-34) をご覧ください。

原則

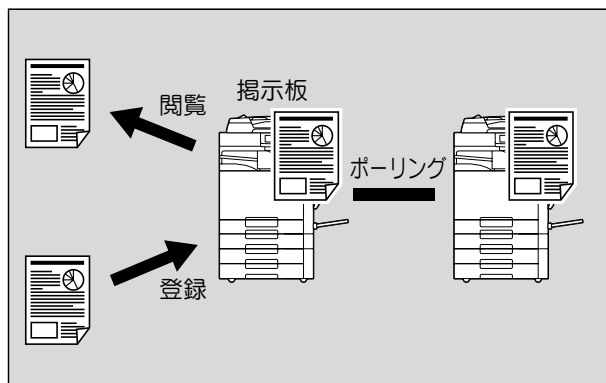
以下の機能とは併用できません。

- ・ クイック送信
- ・ 親展送信
- ・ 中継依頼
- ・ ポーリング送信
- ・ 海外通信モード
- ・ パスワード送信
- ・ 掲示板登録
- ・ 掲示板ポーリング受信

7.4 掲示板 (G3)

本機に掲示板を登録し、閲覧したい文書を掲示するように登録しておくことができます。掲示板を登録するには、掲示板を登録し、ボックスモードで文書を保存します。

掲示板から文書を取り出したり、プリント、削除などの操作ができます。



- ・ 掲示板の登録、操作については「宛先登録－掲示板」(p. 9-24)をごらんください。
- ・ 掲示板への登録は、「応用－掲示板登録 (G3)」(p. 4-31)をごらんください。

7.5 増設回線を使用した送受信（G3）

オプションの回線拡張キットを装着している場合、増設した回線に個別の設定をすることができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 自局電話番号設定：ダイヤル方式を設定できます。
- 機能設定：ナンバーディスプレイ、発信者情報の表示を設定できます。

これらの機能は管理者保守の〔ファクス設定〕で設定できます。詳しくは、「[ファクス設定](#)」(p. 10-17) をごらんください。

7.6 ファクス転送（G3）

受信した文書を、あらかじめ設定しておいた宛先に転送することができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 転送も行い、本機でも受信したファクス文書をプリントするように設定できます。
- 回線拡張キットを装着している場合は、転送を行う回線を指定できます。

これらの機能は管理者保守の「文書管理」で設定できます。詳しくは、「[文書管理](#)」(p. 10-9) をごらんください。



第 8 章

レポート / リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

8.1	レポート / リストの種類	8-2
8.2	リストプリントのメニューツリー	8-3
8.3	共通のリスト	8-4
8.4	G3/IP/I-FAX 共通のレポート / リスト	8-8
8.5	G3 ファクスで出力されるレポート	8-10

8.1 レポート / リストの種類

本機から印刷されるレポート、リストには以下の種類があります。
自動的に印刷されるレポート、印刷方法を設定できるレポート、必要に応じて印刷の指示をするレポートがあります。また、プリントできるリストについても説明します。

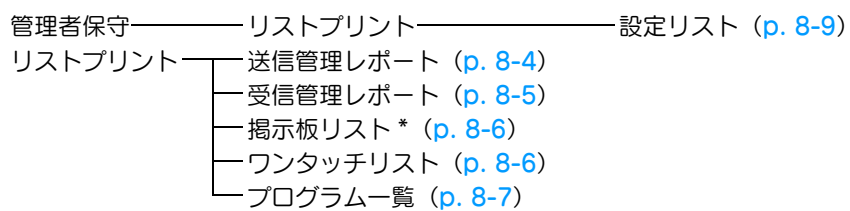
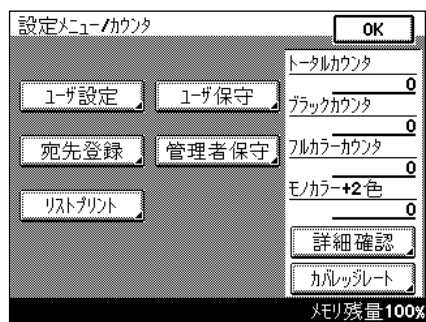
レポート名	説明
通信管理レポート	送信および受信の記録が記載されたレポートです。送受信合わせて 50 通ごとにプリントされます。通信管理レポートの出力の指定は、管理者保守の「レポート設定」－「通信管理レポート」で設定できます。
送信管理レポート	文書番号、送信開始日時、所要時間、相手先、モード、返信済み枚数、送信容量など送信の記録が記載されたレポートです。出荷時は 50 通ごとにプリントするよう設定されています。「リストプリント」から手動でプリントすることもできます。
受信管理レポート	文書番号、受信開始日時、所要時間、相手先、モード、記録済み枚数、通信結果など受信の記録が記載されたレポートです。出荷時は 50 通ごとにプリントするよう設定されています。「リストプリント」から手動でプリントすることもできます。
途中結果レポート	同報送信などで複数の宛先に送信しているとき、送信の状況をプリントできます。「ジョブリスト」－「通信」タブでジョブを確認したとき、「途中結果レポート」が表示されている場合にプリントできます。
メモリクリアレポート	停電などで消失した送信 / 受信内容がある場合に、電源を再び ON にしたとき、一覧が自動的にプリントされます。
順次同報送信レポート	順次同報送信を行ったとき、相手先すべてに送信できたかどうかを確認できます。
結果レポート	送信の結果をプリントできます。レポートの出力タイミングは出力する / 不達するとき / 出力しないから選択できます。
ワンタッチリスト	ワンタッチに登録した相手先などをプリントできます。
プログラム一覧	プログラムとして登録した内容の詳細をプリントできます。
掲示板リスト	掲示板に登録された文書の一覧をプリントできます。
設定リスト	本機の名設定内容をプリントできます。

ひとこと

ソフトスイッチ設定により、レポート出力の操作を管理者のみができるようにしたり、登録した宛先をレポートに表示しないように指定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

8.2 リストプリントのメニューツリー

設定メニューでリスト、レポート出力に関連した項目は以下のようになっています。



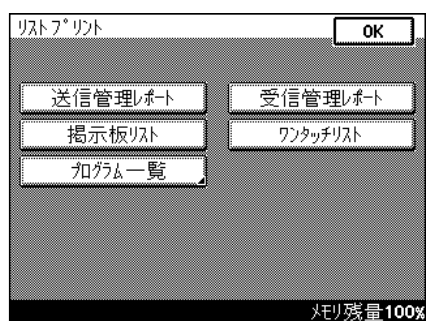
(*) オプションの FAX キットを装着していない場合は表示されません。

8.3 共通のリスト

8.3.1 送信管理レポート

文書番号、送信開始日時、所要時間、相手先、モード、返信済み枚数、送信容量など送信の記録が記載されたレポートです。出荷時は 50 通ごとにプリントするよう設定されています。[リストプリント] から手動でプリントすることもできます。

【設定メニュー / カウンタ】を押し、[リストプリント] から [送信管理レポート] を押します。



■ 出力例

宛信元 レポート出力日時

送信管理レポート

P.1

2009年 2月23日 (月) 11時32分

東京支社

文書番号	送信開始日時	所要時間	相手先	モード	送信済枚数	通信結果	部門	容量	
7814316-763	2月21日20時32分	49秒	123456789	ECM	1	2	メモリアーバ	SALES	
7814316-764	2月21日21時00分	28秒	茨城支社	G3	B	1	1	良好	MARKING
7814316-765	2月22日 9時18分	26秒	123123123	ECM	P	1	1	良好	SALES
7814316-766	2月22日 9時55分	46秒	山梨支社	ECM	B	1	2	良好	SALES
7814316-767	2月22日10時03分	50秒	68768765	G3	1	2	良好	HQ	
7814316-768	2月22日14時00分	25秒	三重支社	ECM	1	1	良好	SALES	

通信モード

ECM: ECMモード

G3: G3モード

同軸: 同軸送信時

IP-FAX:

IPアドレスファクス

インターネット:

インターネットファクス

PCメール: E-Mail 送信

IP中継: IP中継

FTP: FTP送信

SMB: SMB送信

送信機能

B: ポスト送信

P: ポーリング通信

I: 個別ログイン

F: 転送時

空白: 一般送信

(上記以外

の送信)

使用ポート

1: ポート1使用時

2: ポート2使用時

空白: シングルポート

送信済枚数

送信完了した原稿

枚数を表示します。

部門名

表示	通信結果の内容
良好	・正常に送信されたとき
相手先話中	・相手先が話中
	・回線が混み合っている
相手先無応答	・相手先が受信できない状態になっている
	・相手先が電話に出ない
中断	・中断されたとき
メモリアーバ	・メモリアーバになったとき
不達	・全相手先不達のとき
一部不達	・一部の相手先不達のとき

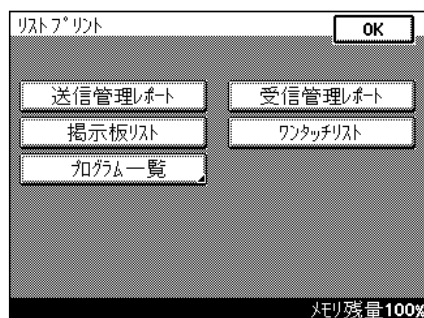
ひとこと

ソフトスイッチ設定により、レポート出力の操作を管理者のみができるようにしたり、登録した宛先をレポートに表示しないように指定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

8.3.2 受信管理レポート

文書番号、受信開始日時、所要時間、相手先、モード、記録済み枚数、通信結果など受信の記録が記載されたレポートです。出荷時は 50 通ごとにプリントするよう設定されています。[リストプリント] から手動でプリントすることもできます。

【設定メニュー / カウンタ】を押し、[リストプリント] から「受信管理レポート」を押します。



■ 出力例

発信元

レポート出力日時

2009年 2月23日 (月) 11時32分

東京支社

P.1

送信履歴レポート

文書番号	受信開始日時	所要時間	相手先	モード	記録済み枚数	通信結果	部門
3714316-753	2月21日20時32分	49秒	イナモーション	G3	1	2	メモリーオーバー
3502280-511	2月21日21時00分	28秒	123451234	G3	1	1	良好
3614316-755	2月22日 9時18分	28秒	ヤマシ	EOM	1	1	良好
5514316-756	2月22日 9時55分	48秒	087654321	EOM	1	2	良好
6080361-236	2月22日10時03分	50秒	087698765	G3	1	2	良好
5114316-768	2月22日14時00分	25秒	AB00EF	EOM	1	1	良好

通信モード

EOM: EOMモード

G3: G3モード

IP-FAX:

IPアドレスファクス

インターネット;

インターネットファクス

IP中継: IP中継

受信機能

P: ボーリング通信

F: 転送時

空白: 一般受信

(上記以外の受信)

使用ポート

1: ポート1使用時

2: ポート2使用時

空白: シングルポート

記録済み枚数

プリントした

枚数を表示します。

部門名

表示	通信結果の内容
良好	・正常に受信されたとき
相手先話中	・相手先が話し中 ・回線が混み合っている
相手先無応答	・相手先が受信できない状態になっている ・相手先が電話に出ない
中断	・中断されたとき
メモリーオーバー	・メモリーオーバーになったとき
不達	・通信が不達で終わったとき
通信中	・ボーリング受信中のとき
プリント待ち	・プリント中のとき

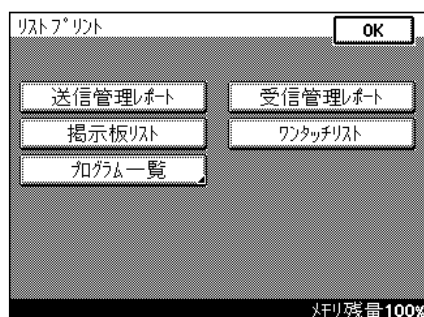
ひとこと

ソフトスイッチ設定により、レポート出力の操作を管理者のみができるようにしたり、登録した宛先をレポートに表示しないように指定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。

8.3.3 掲示板リスト

掲示板に登録された文書の一覧をプリントできます。

【設定メニュー / カウンタ】を押し、[リストプリント] から [掲示板リスト] を押します。



■ 出力例

発行元 レポート出力日時

2009年 2月23日 (月) 11時32分

東京支社

掲示板リスト P.1

番号	Fコード	タイトル	受付日時	枚数	部門	リモート入力チェック	リモート出力チェック
1	65432109876543210987	プロジェクトA	1月 8日 18時30分	18	OVER_SEAS	する	/ する
2	09876543210987654321	支社別売上高	1月30日 20時12分	5	SALES	しない	/ しない
3	76543210987654321098	社内報	2月 5日 9時25分	2	HD	する	/ しない
4	54321098765432109876	プロジェクトB	2月 5日 19時19分	8	ACCT	しない	/ する
5	98765432109876543210	先達売上高	2月 7日 9時12分	4	TOKYO	しない	/ する
6	87654321098765432109	社員旅行について	2月10日 9時35分	1	HD	する	/ する

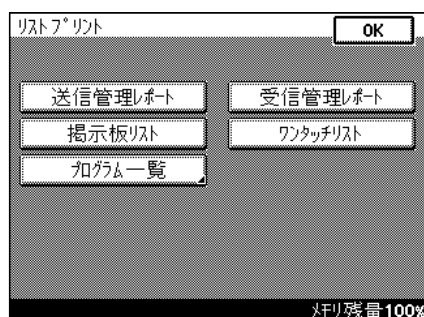
登録された文書のタイトル 文書を登録した日時

8.3.4 ワンタッチリスト

登録したワンタッチのリストをプリントできます。

■ プリントのしかた

【設定メニュー / カウンタ】を押し、[リストプリント] から [ワンタッチリスト] を押します。



ひとこと

- ・ソフトスイッチ設定により、レポート出力の操作を管理者のみができるようにしたり、登録した宛先をレポートに表示しないように指定できます。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク 管理者編」をごらんください。
- ・オプションのFAX キットを装着していない場合は操作できません。

■ 出力例

発信元 レポート出力日時

2009年 2月23日 (月) 11時32分
東京支社

ワンタッチリスト

インデックス	番号	相手先名	通信モード	相手先情報
支社	#000	茨城支社	ファクス(G3-1)	123456789
支社	#001	山梨支社	ファクス(G3-2)	123456789
支社	#002	三重支社	ファクス(G3-2)	123123123

ワンタッチキーの登録内容

通信モード
使用する伝送の種別を表示する
ファクス(G3) : G3ファクスへ送信するとき
ファクス(G3-1) : ポート1からG3ファクスへ送信するとき(オプション)
ファクス(G3-2) : ポート2からG3ファクスへ送信するとき(オプション)
IPアドレッシング : メールサーバーを経由せずにIPアドレスファクス端末へ送信するとき
インターネット : E-Mailに添付し、インターネットファクス端末へ送信するとき
PCメール : E-Mailに添付し、コンピュータへ送信するとき
IP中継 : LANで接続された中継機を経由してファクス端末へ送信するとき
FTP : FTP送信で直接IPサーバーへ送信するとき
SMB : SMB送信で直接コンピュータへ送信するとき

8.3.5 プログラム一覧

選択したプログラムの内容をプリントできます。

【設定メニュー / カウンタ】を押し、[リストプリント] から [プログラム一覧] を押します。

リストプリント

OK

送信管理レポート

受信管理レポート

掲示板リスト

ワンタッチリスト

プログラム一覧

残量100%

■ 出力例

発信元 レポート出力日時

2009年 2月23日 (月) 11時32分
東京支社

ファクスプログラムリスト

プログラム名 : 支社同報
インデックス : 支社
プログラム種別 : 送信

発信元 : 1 (東京支社)
Subject : 1 (東京支社)
Reply : #001 (山梨支社)
ファイル名 : 指定しない
カラー : フルカラー
ページ分割 : ページ一括
画質 : 文字
倍率 : 自動倍率
印刷送信 : する
優先送信 : しない
パスワード送信 : しない
ポスト時刻 : ー
印刷送信 : しない

E-mail通知先 : #001 (山梨支社)
下地調整 : 自動
解像度 : 200dpi
濃度 : □□□□□□□□
Zint : しない
時刻指定 : しない
即時送信 : しない
ポスト間隔 : ー

ファイル形式 : PDF
スタンプ : 押さない
読み取り範囲 : 自動検出
結果レポート : 不適用出力
リモートコピー : しない

番号	相手先名	番号	相手先名	番号	相手先名	番号	相手先名
#000	茨城支社	#001	山梨支社	#002	三重支社	#003	群馬支社
#004	神奈川支社	#005	長野支社	#006	埼玉支社	#007	静岡支社
#008	石川支社	#009	千葉支社	#010	愛知支社		

ファクスプログラムに登録された通信設定の内容

8.4 G3/IP/I-FAX 共通のレポート / リスト

8.4.1 通信管理レポート

送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて 50 通信ごとにプリントされます。必要に応じて送信だけの記録（送信管理レポート）、受信だけの記録（受信管理レポート）をプリントすることができます。

8.4.2 結果レポート

送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、出力する / 不達るとき / 出力しないから選択できます。

レポート出力日時 発信元

2009年 2月23日 (月) 11時32分 東京支社

下記の文章は送信できませんでした。再度送信してください。

部門 : SALES 文書番号 : 7814316-761
相手先 : 山梨支社 受付日時 : 2月23日11時10分
電話番号 : 123451234 送信開始日時 : 2月23日11時10分
Fコード : 12345 所要時間 :
通信モード :

送信済み枚数 : 0枚
送信結果 : 相手先話中

送信時の内容

送信画像

表示	通信結果の内容
相手先話中	・ 相手先が話し中 ・ 回線が混み合っている
相手先無応答	・ 相手先が受信できない状態になっている ・ 相手先が電話に出ない
中断	・ 中断されたとき
メモリオーバー	・ メモリオーバーになったとき
不達	・ 通信が不達で終わったとき
一部不達	・ 一部の相手先への通信が不達で終わったとき
エラーコード	・ エラーコード参照

8.4.3 順次同報送信結果レポート

順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

結果レポートを「出力する」に設定している場合、相手先すべてに送信されたかどうかを確認することができます。

結果レポート

発信元 レポート出力日時

2009年 2月23日 (月) 11時32分 東京支社

部門 : SALES 文書番号 : 7814376-760
相手先数 : 8カ所 受付日時 : 2月23日11時10分
受付枚数 : 5枚 送信開始日時 : 2月23日11時10分
所要時間 : 4分30秒

送信完了	7カ所	通信結果	番号	相手先	通信結果	番号	相手先	通信結果
番号	相手先		番号	相手先		番号	相手先	
#000	宮城支社	良好	#001	山梨支社	良好	#002	三重支社	良好
#003	群馬支社	良好	#004	神奈川支社	良好	#005	長野支社	良好

相手先 12345678 Fコード : 12345 通信結果 良好

未送信	1カ所	通信結果	番号	相手先	通信結果	番号	相手先	通信結果
番号	相手先		番号	相手先		番号	相手先	
#006	埼玉支社	相手先話中						

送信できなかった相手先

正常に通信を終了した相手先

表示	通信結果の内容
良好	・ 正常に通信を終了
相手先話中	・ 相手先が話し中 ・ 回線が混み合っている
相手先無応答	・ 相手先が受信できない状態になっている ・ 相手先が電話に出ない
中断	・ 中断されたとき
メモリオーバー	・ メモリオーバーになったとき
不達	・ 通信が不達で終わったとき
エラーコード	・ エラーコード参照

ひとこと

通信管理レポートの出力の設定については、「[レポート設定](#)」(p. 10-28) をご覧ください。

ひとこと

- ・ ソフトスイッチ設定により、順次同報送信の結果を送信管理レポートにまとめて印字する / 個別に印字するかを指定できます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をご覧ください。
- ・ ソフトスイッチ設定により、相手先の電話番号を画面やレポートに表示しないように指定できます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をご覧ください。

8.4.4 設定リスト

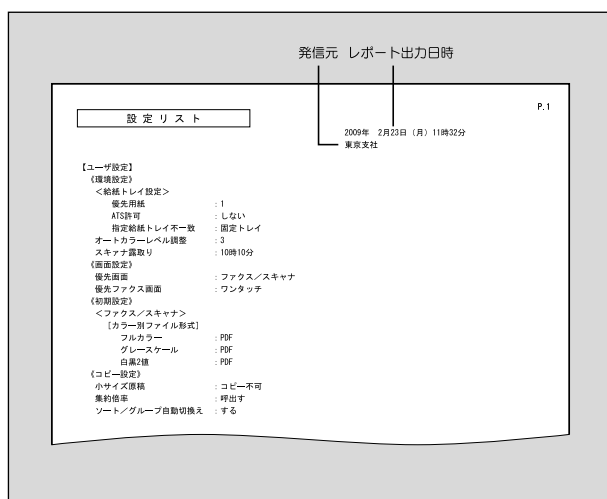
本機で設定している設定リストをプリントできます。

■ プリントのしかた

管理者保守の [リストプリント] - [設定リスト] を押します。



■ 出力例



8.5 G3 ファクスで出力されるレポート

8.5.1 メモリクリアレポート

停電があったとき、消失した蓄積情報がプリントされます。

本機のメモリに蓄積されている送信および受信情報は、停電があっても約 2 時間は保存されています。約 2 時間を過ぎると蓄積情報は消失する場合があります、停電が復旧し再び電源が ON になったとき、自動的にメモリクリアレポートがプリントされます。

発信元		レポート出力日時			
		2009年 2月23日 (月) 11時32分		P.1	
		東京支社			
文書番号	受付日時	受付モード	相手先	受付枚数	部門
7814316-761	2月23日 6時10分	送信	123456789	3	WORKING
7814316-762	2月23日 6時15分	送信	123451234	2	HD
7814316-763	2月23日 6時20分	受信	123123123	4	
7814316-764	2月23日 7時30分	ポーリング受信		15	SALES
7814316-765	2月23日 8時00分	ポーリング受信		8	SALES

メモリに蓄積動作を開始した時刻

文書をメモリに蓄積した際に設定されていた通信機能

部門名



第 9 章

ユーザ設定 / ユーザ保守 / 宛先登録

9.1	ユーザ設定 / ユーザ保守 / 宛先登録のメニューツリー	9-2
9.2	ユーザ設定	9-4
9.3	ユーザ保守	9-8
9.4	宛先登録－ワンタッチ	9-10
9.5	宛先登録－インデックス	9-22
9.6	宛先登録－登録文字列	9-23
9.7	宛先登録－掲示板	9-24

9.1 ユーザ設定 / ユーザ保守 / 宛先登録のメニューツリー

設定メニューで設定できる項目は以下になっています。このメニューツリーではネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスに関連する項目を記載しています。

9.1.1 ユーザ設定



環境設定 — 言語選択 (表示用) (p. 9-4)

画面設定 — 優先画面 (p. 9-4)

— 優先ファクス画面 * (p. 9-5)

初期設定 — ファクス / スキャン

— ファクス / スキャナ初期設定 (p. 9-5)

— IP 中継 / 中継先選択 (p. 9-6)

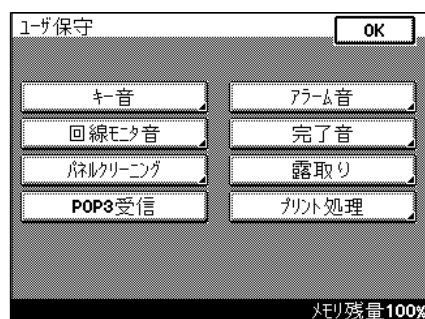
— ファイル形式 (p. 9-6)

— フルカラー (p. 9-7)

— グレースケール (p. 9-7)

— 白黒 2 値 (p. 9-7)

9.1.2 ユーザ保守

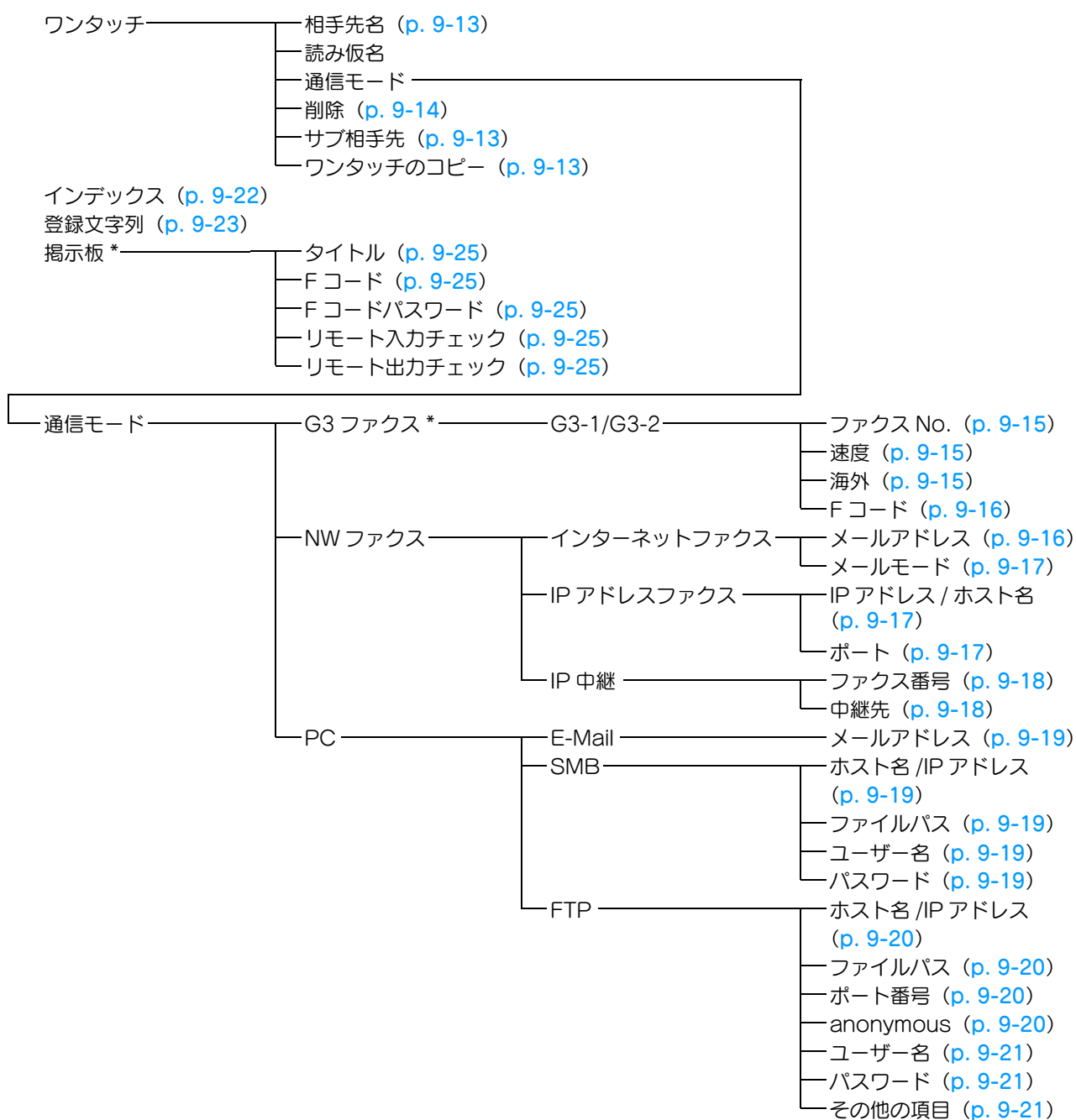


回線モニタ音 (p. 9-8)

POP3 受信 (p. 9-8)

プリント処理 (p. 9-9)

9.1.3 宛先登録

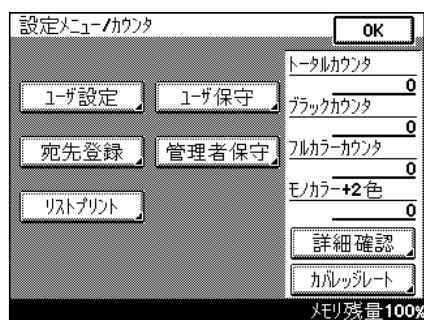


(*) オプションの FAX キットが装着されていない場合は表示されません。

9.2 ユーザ設定

9.2.1 ユーザ設定画面を表示させる

ユーザ設定画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、表示されたメニューから「ユーザ設定」を押します。

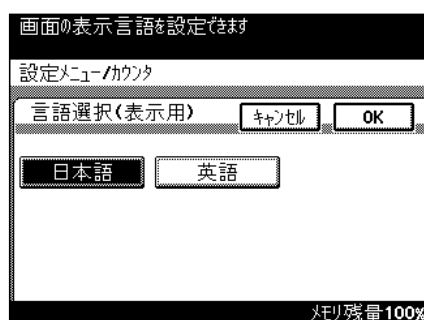


ひとこと

ソフトスイッチの設定により、宛先登録の操作やリストプリントを管理者のみができるように指定している場合は、[宛先登録] [リストプリント] が表示されていない場合があります。ソフトスイッチ設定について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

9.2.2 環境設定－言語選択（表示用）

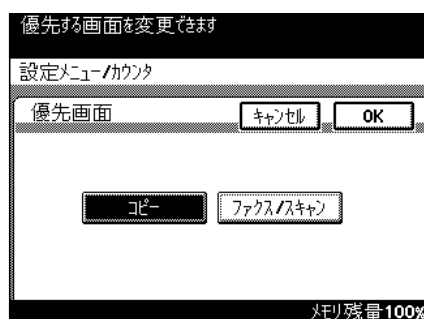
タッチパネルやレポートで表示される言語を設定できます。



9.2.3 画面設定－優先画面

操作を始める前の最初の画面を待機画面といいます。この待機画面を選択できます（初期値：コピー）。

- コピー：コピー画面を表示します。
- ファクス / スキャン：ファクス / スキャン画面を表示します。



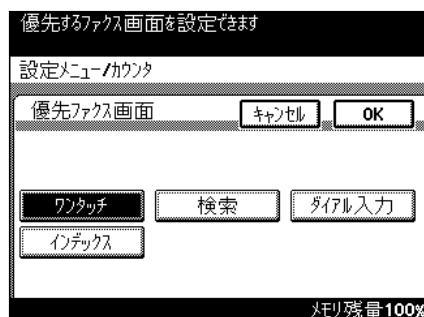
ひとこと

オプションのFAX キットを装着していない場合は、[ファクス / スキャン] が [E-Mail] と表示されます。

9.2.4 画面設定－優先ファクス画面

【ファクス / スキャン】を押したときに表示される画面を設定できます (初期値：ワンタッチ)。

- ワンタッチ：ワンタッチ画面を表示します。
- 検索：検索画面を表示します。
- ダイアル入力：ダイアル入力画面を表示します。
- インデックス：インデックス一覧画面を表示します。



ひとこと

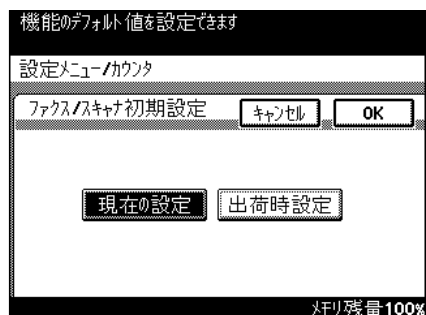
- ・「インデックス」を設定した場合は、ワンタッチの登録やプログラム登録でもインデックス画面が優先して表示されます。
- ・オプションのFAXキットを装着している場合は、表示が以下のように変わります。
[優先ファクス画面] → [優先メール画面]
[ダイアル入力] → [アドレス入力]

9.2.5 初期設定－ファクス / スキャン－ファクス / スキャナ初期設定

本機の電源を ON にしたときや【リセット】を押したときの初期設定を変更できます。設定できる機能は以下のとおりです。

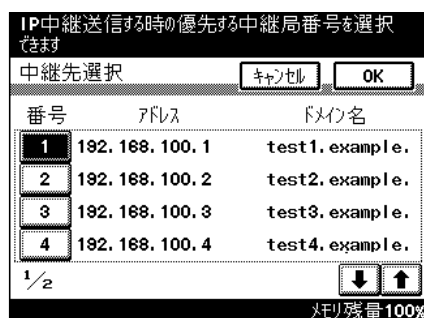
- 画質
- 解像度
- カラー
- 濃度
- 下地調整
- ファイル形式
- 倍率
- 発信元
- 発信元番号
- 2in1
- 回転送信
- クイック送信
- スタンプ
- 両面送信

- 現在の設定：ユーザ設定画面に入る前に設定されていた状態を初期値として設定します。
- 出荷時設定：お買い上げいただいたときの状態に戻ります。



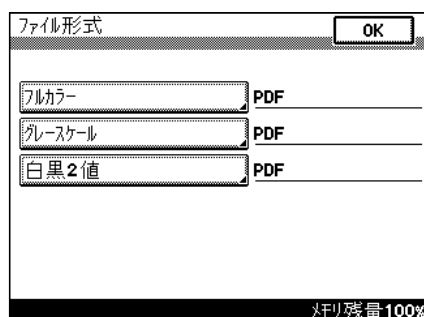
9.2.6 初期設定－ファクス / スキャン－ IP 中継 / 中継先選択

IP 中継先が複数登録されている場合、初期値とする中継先を設定します。



9.2.7 初期設定－ファクス / スキャン－ファイル形式

文書を送信するときのファイル形式の初期値を設定します（初期値：PDF）。ファイル形式の初期値は、カラーごとに設定できます。



ひとこと

オプションのFAXキットが装着されていない場合は表示されません。

参照

IP 中継先の登録は、管理者保守の「ネットワーク設定」で行います。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

■ フルカラー

フルカラー時の初期値を設定します。



■ グレースケール

グレースケール時の初期値を設定します。



■ 白黒2値

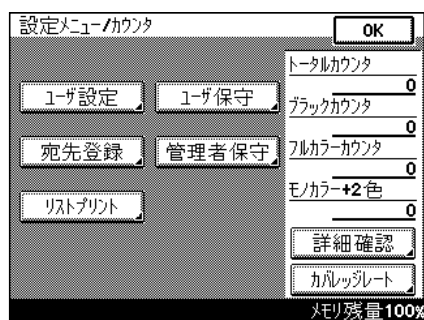
白黒2値時の初期値を設定します。



9.3 ユーザ保守

9.3.1 ユーザ保守画面を表示させる

ユーザ設定画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、表示されたメニューから【ユーザ保守】を押します。

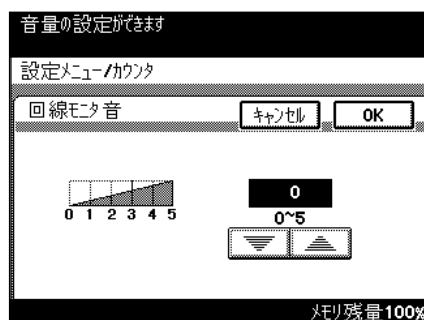


ひとこと

ソフトスイッチの設定により、宛先登録の操作やリストプリントを管理者のみができるように指定している場合は、[宛先登録] [リストプリント] が表示されていない場合があります。ソフトスイッチ設定について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

9.3.2 回線モニタ音

ファクス通信時に聞こえるモニタスピーカーからの音量を設定します（初期値：3）。0～5までの範囲で設定します。

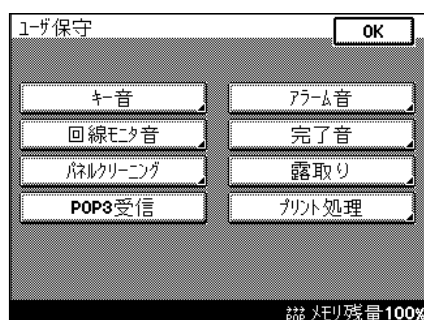


ひとこと

「0」に設定すると、音が鳴らなくなります。

9.3.3 POP3 受信

インターネットファクスを手動で受信できます。[POP3 受信] を押すと、サーバーにアクセスし、電子メールを受信します。



インターネットファクスの自動受信やその他の設定については、「[受信する \(I-FAX\)](#)」(p. 5-6) をごらんください。

9.3.4 プリント処理

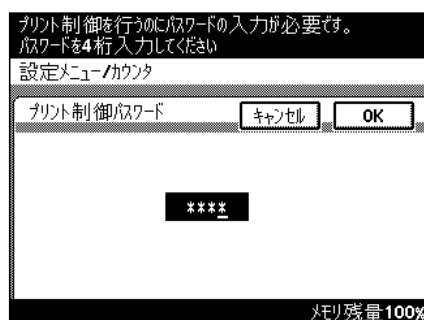
本機ではファクス受信した文書をプリントしないように設定しておき、決まった曜日や時刻にまとめてプリントすることができます。指定したとき以外に受信したファクスをプリントすることができます。

1

「プリント処理」を押します。

2

パスワードが設定されている場合は、「プリント制御パスワード」を入力します。

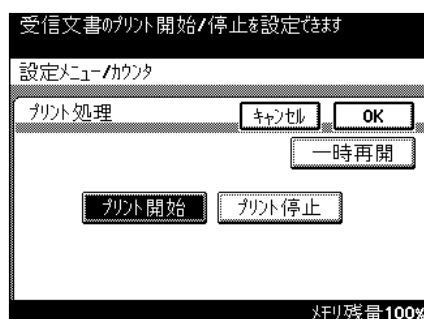


3

プリントする場合は、「プリント開始」を押します。

○ プリントを中断する場合は「プリント停止」を押します。

○ 「一時再開」を押すと、プリント停止中の文書をプリントしたあと、プリント停止の状態に戻ります。



詳しく説明します

プリントしないようにする設定や、プリント制御パスワードについては、「[プリント制御パスワード](#)」(p. 10-27) をご覧ください。

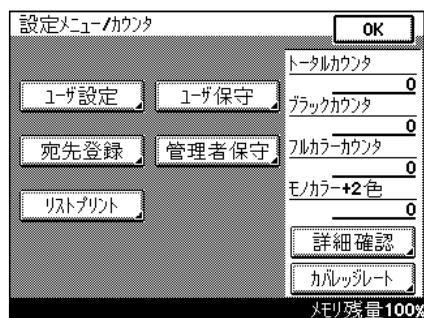
9.4 宛先登録－ワンタッチ

ワンタッチの登録手順と設定項目について説明します。

9.4.1 ワンタッチ登録のながれ

本機には、ワンタッチを 300 件まで登録できます。ワンタッチ登録のながれを説明します。通信モードごとの設定項目については、[9-15 ページ](#)以降の説明をごらんください。

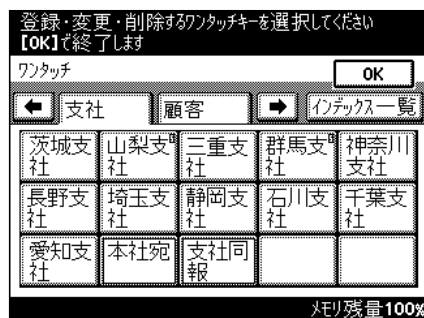
- 1 操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押します。
- 2 [宛先登録] を押します。



- 3 [ワンタッチ] を押します。



- 4 登録したいワンタッチを選択します。
○ インデックスを切替える場合は、[←] [→] または [インデックス一覧] から選択します。



ひとこと

ソフトスイッチの設定により、宛先登録の操作を管理者のみができるようにしたり、登録した内容を画面やレポートに表示しないように設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

5

LDAP サーバーが検索先に登録されている場合は、LDAP サーバーに登録されているアドレスをワンタッチに登録できます。LDAP サーバーの検索をする / しないを選択します。

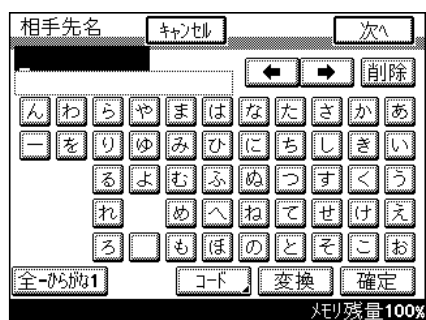
- [する] を選択した場合は、LDAP サーバーにアクセスして登録するアドレスを検索してから手順 6 に進みます。検索の手順については、「LDAP 検索」(p. 4-12) をご覧ください。
- [しない] を選択した場合は手順 6 に進みます。



6

ワンタッチに登録する相手先名を入力し、[次へ] を押します。

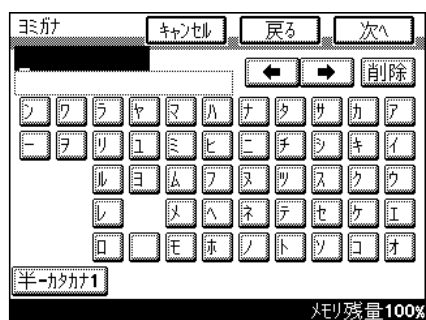
- 相手先名は全角で 12 文字 (半角で 24 文字) 以内で入力します。



7

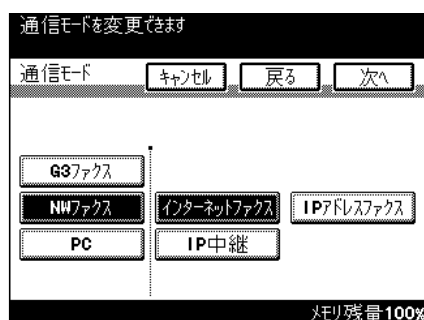
相手先名の読み仮名を入力して [次へ] を押します。

- 読み仮名は自動的に入力されます。必要に応じて修正してください。



8

通信モードを選択し、[次へ] を押します。



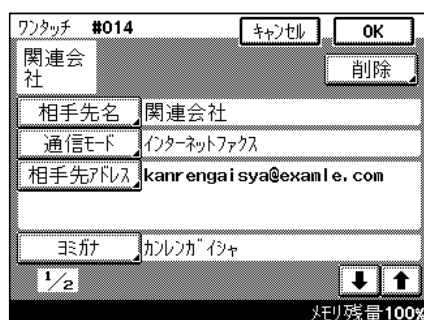
9

通信モードに合わせて各種項目を入力します。

10

登録内容を確認し、[OK] を押します。

- 項目を修正する場合は、[↑] [↓] で画面を切替えてください。
- 通信モードによってはサブ相手先を登録できます。



サブ相手先の登録については、「サブ相手先の設定 (I-FAX/G3/IP/中継 /E-Mail/FTP/SMB)」(p. 9-13) をご覧ください。

9.4.2 サブ相手先の設定 (I-FAX/G3/IP/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)

ひとつのワンタッチに宛先を 2 か所登録しておくことにより、メインの相手先に送信できなかった場合、サブ相手先として登録された宛先に送信されます。

ワンタッチ登録の確認画面で「サブ相手先」を押すと、選択できるワンタッチの一覧が表示されます。サブ相手先は登録後でも設定できます。

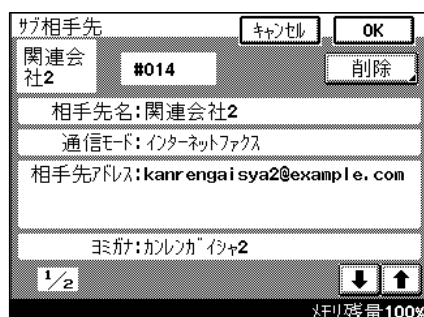
1

ワンタッチの一覧からサブ相手先とする宛先を 1 か所選択します。



2

サブ相手先の情報を確認し、「OK」を押します。



9.4.3 ワンタッチのコピー

現在設定しているワンタッチと同じ内容をコピーして保存できます。ワンタッチのコピーは登録後でもできます。

1

「宛先登録」からコピー元のワンタッチを表示させます。

ひとこと

すでに登録されているワンタッチには登録できません。

2

3/3 ページに移動し、「ワンタッチのコピー」を押します。



3

ワンタッチの一覧からコピー先にするワンタッチを 1 か所選択すると、内容がコピーされます。内容を確認し、「OK」を押します。

9.4.4 ワンタッチの変更 / 削除

登録したワンタッチの変更や削除を行う場合は、以下の手順で操作します。

1

操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

「宛先登録」を押します。

3

「ワンタッチ」を押します。

4

変更 / 削除したいワンタッチを選択します。

- インデックスを切替える場合は、[←] [→] または [インデックス一覧] から選択します。

5

登録内容を確認し、該当する項目を変更します。

- ワンタッチを削除する場合は、「削除」を押します。



9.4.5 G3 ファクスの登録

G3 ファクスの登録項目について説明します。



■ ファクス No.

相手先のファクス番号を 64 桁以内で入力します。ダイヤルはテンキーから入力します。

- [トーン]：ダイヤル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には「T」と表示されます。
- [ポーズ]：ダイヤルに間をあげたいときに押します。1 回押すと、約 1 秒の間隔を挿入できます。画面には「P」と表示されます。
- [S]：相手機確認送信をしたいときに押します。画面には「S」と表示されます。

■ 速度

情報を送る速さ（伝送速度）を設定します。2.4 ～ 33.6 の範囲で設定します。



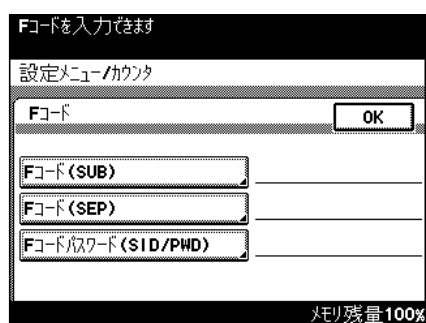
■ 海外

通信状態の悪いところへ通信する場合、伝送速度をゆっくりとしたスピードに設定して送信します。

■ Fコード

送信時に F コードを使用する場合は、F コードを入力します。

- F コード (SUB) : 親展送信などを行う場合に入力します。
- F コード (SEP) : リモート取り出しなど、相手先に用意された原稿をこちらから受信する場合（ポーリング受信）に入力します。
- F コード (SID/PWD) : F コードにパスワードを設定する場合に入力します。



9.4.6 インターネットファクスの登録

インターネットファクスの登録項目について説明します。



■ メールアドレス

相手先の E-Mail アドレスを 64 文字以内で入力します。

■ メールモード

インターネットファクスでは、相手の装置が対応していない送信サイズ、解像度および符号化方式を使用して送信した場合、受信側で受信データを見ることができない場合があります。上限値を設定することで、相手の装置がサポートしていない能力を指定してもあらかじめ設定した内容で送信されます。

項目	説明
送信サイズ（上限）	受信側が対応している原稿サイズの上限を設定します。
送信解像度（上限）	受信側が対応している解像度の上限を設定します。
符号化方式	受信側に適した符号化方式を設定します。

9.4.7 IP アドレスファクスの登録

IP アドレスファクスの登録項目について説明します。

■ IP アドレス / ホスト名

送信先のコンピューターの IP アドレスまたはホスト名を入力します。

- IP アドレスで指定する場合は、テンキーで IP アドレスを入力します。
- ホスト名の場合は [ホスト名] を押して半角 64 文字以内で入力します。

■ ポート

ポート番号を入力します（入力範囲：1～65535）。

ひとこと

- ・画像データ量が多くなると、ネットワークに対する負荷が大きくなります。また、ネットワーク環境によっては通信ができない場合があります。
- ・各項目毎に希望の値を設定する場合にはそれぞれのメニューを選択し、値を変更します。
- ・受信側がコンピューターで画像を閲覧する場合、符号化によっては閲覧できない場合があります。「MH」を選択すると閲覧できる可能性が高くなります。
- ・符号化データ量は、画像データに依存しますが、一般的には、MMR < MR < MH の順で多くなります。

詳しく説明します

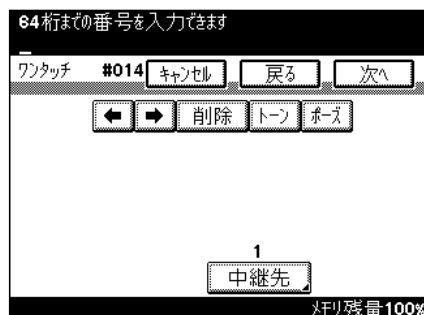
- ・IP アドレスファクスの受信側の機器に「SMTP 認証ユーザ名」と「SMTP 認証パスワード」が設定されている場合、送信する機器でも SMTP 認証ユーザ名と SMTP 認証パスワードを設定してください。
- ・ソフトウェア設定により SMTP 認証機能が有効になっている場合は、[SMTP 認証] が表示されます。ここで SMTP 認証ユーザ名と SMTP 認証パスワードを設定し、ワンタッチを登録してください。
- ・ソフトウェア設定の内容について、詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。

参照

- ・DNS 設定について、詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。
- ・ソフトウェア設定により、表示される画面をアドレス入力画面かホスト名入力画面に設定できます。詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。

9.4.8 IP 中継の登録

IP 中継の登録項目について説明します。



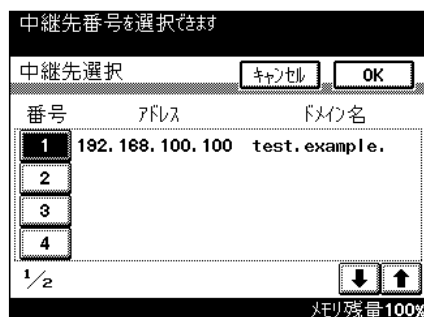
■ ファクス番号

相手先のファクス番号を 64 桁以内で入力します。ダイヤルはテンキーから入力します。

- [トーン]：ダイヤル（パルス）回線を使用している場合に、プッシュトーンを送出するために押します。ファクス情報サービスを利用する場合などに使用します。画面には「T」と表示されます。
- [ポーズ]：ダイヤルに間をあげたいときに押します。1 回押すと、約 1 秒の間隔を挿入できます。画面には「P」と表示されます。

■ 中継先

送信の中継を行う機器を選択し、[OK] を押します。



ひとこと

- ・ 中継先はあらかじめ登録の必要があります。詳しくは、「[初期設定－ファクス / スキャン－IP 中継 / 中継先選択](#)」(p. 9-6) をご覧ください。
- ・ 中継機に「SMTP 認証ユーザー名」と「SMTP 認証パスワード」が設定されている場合、送信する機器でも中継先の登録時に SMTP 認証ユーザー名と SMTP 認証パスワードを設定する必要があります。詳しくは、「[ユーザーズガイド ネットワーク 管理者編](#)」をご覧ください。

9.4.9 E-Mail の登録

E-Mail 送信の登録項目について説明します。



■ メールアドレス

パネルから E-Mail アドレスを入力します。

- [ドメイン]：よく使用するドメイン名などを登録しておく、簡単にアドレスを入力できます。

9.4.10 SMB の登録

SMB の登録項目について説明します。

■ ホスト名 /IP アドレス

送信先のコンピューターのホスト名または IP アドレスを入力します。

- ホスト名の場合は半角 64 文字以内で入力します。
- IP アドレスで指定する場合は、[IP 入力] を押してテンキーで IP アドレスを入力します。



■ ファイルパス

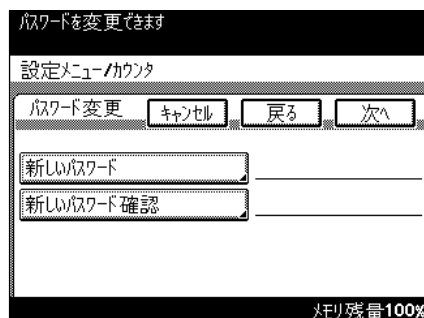
保存先のファイルパスをパネルから半角 128 文字以内で入力します。

■ ユーザ名

送信先のコンピューターにログインするユーザ名をパネルから半角 32 文字以内で入力します。

■ パスワード

送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 14 文字以内で入力します。



[ドメイン] に登録する文字列の登録については、「[宛先登録－登録文字列](#)」(p. 9-23) をご覧ください。

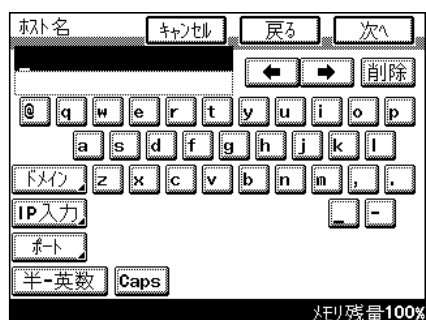
9.4.11 FTP の登録

FTP の登録項目について説明します。

■ ホスト名 /IP アドレス

送信先のサーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。

- ホスト名の場合は半角 64 文字以内で入力します。
- IP アドレスで指定する場合は、[IP 入力] を押してテンキーで IP アドレスを入力します。

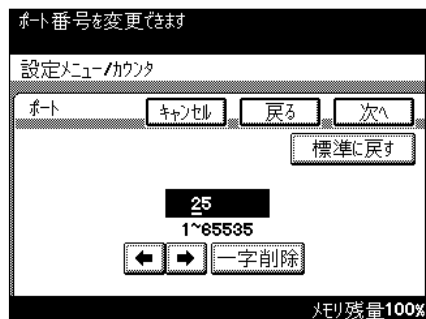


■ ファイルパス

保存先のファイルパスをパネルから半角 128 文字以内で入力します。

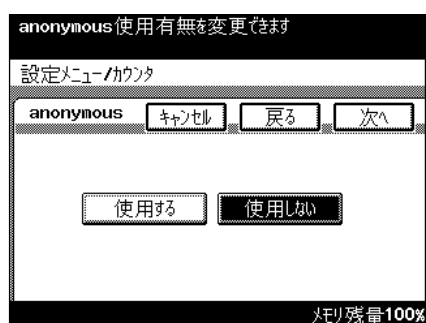
■ ポート番号

FTP 送信時に使用するポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。



■ anonymous

サーバーへのログイン時にユーザ名を設定しない場合に「使用する」を選択します。

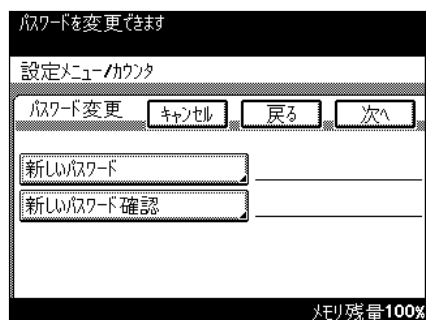


■ ユーザ名

「anonymous」を選択しなかった場合に入力します。送信先のコンピュータにログインするユーザ名をパネルから半角 32 文字以内で入力します。

■ パスワード

送信先のサーバーにログインするパスワードをパネルから半角 32 文字以内で入力します。



■ その他の項目

ワンタッチ登録前の確認画面（3/3）で以下の項目を設定できます。

項目	説明
PASV	PASV モードの ON/OFF を選択します。
プロキシ	プロキシサーバー使用の ON/OFF を選択します。

9.5 宛先登録ーインデックス

インデックスの登録手順と設定項目について説明します。

インデックスは 20 個あり、ひとつのインデックスに 15 件のワンタッチを登録できます。登録したいインデックスキーを選択し、パネルからインデックス名を入力します。

- 全角 4 文字（半角 8 文字）以内で入力してください。

9.6 宛先登録－登録文字列

メールアドレスを入力するときに表示される「ドメイン」に記載されるアドレスの設定項目について説明します。メールアドレス入力時、ドメイン名などを登録しておくことで簡単にアドレスを入力できます。文字列は6個まで登録できます。

登録したいキーを押し、登録文字列を入力します。

- 半角 64 文字以内で入力してください。

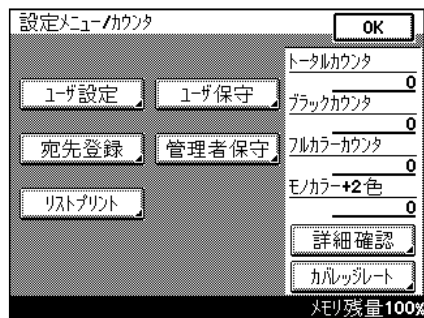


9.7 宛先登録－掲示板

掲示板の登録手順と設定項目について説明します。掲示板に文書を登録するためには、あらかじめ掲示板を登録しておく必要があります。ここでは、掲示板の開設のしかたを説明します。

■ 掲示板登録のながれ

- 1 操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押します。
- 2 [宛先登録] を押します。



- 3 [掲示板] を押します。



- 4 登録したい掲示板の番号を選択します。



ひとこと

オプションのFAX キットが装着されていない場合は表示されません。

ひとこと

ソフトスイッチの設定により、宛先登録の操作やリストプリントを管理者のみができるように指定している場合は、[宛先登録][リストプリント]が表示されていない場合があります。ソフトスイッチ設定について詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

5

掲示板の項目を登録します。

○ 掲示板の登録を削除する場合は、[削除] を押します。

■ タイトル

掲示板のタイトルを掲示板の番号ごとに登録します。全角で 8 文字（半角のときは 16 文字）以内で入力します。

■ Fコード

掲示板機能を使うための F コードを掲示板の番号ごとに登録します。0～9、#、*で最大 20 桁まで登録できます。

■ Fコードパスワード

掲示板からリモート取り出しするときのパスワードを設定することができます。必要に応じ、掲示板の番号ごとに登録します。

0～9、#、*で最大 20 桁まで登録できます。

■ リモート入力チェック

掲示板に文書を登録するときに、パスワードによる規制をする / しないを設定します。お買い上げいただいたときは、リモート入力チェック「する」に設定されています。

■ リモート出力チェック

掲示板の文書を取り出すときに、パスワードによる規制をする / しないを設定します。お買い上げいただいたときは、リモート出力チェック「しない」に設定されています。



第 10 章

管理者保守設定

管理者モードでファクス / スキャン関連の設定を行います。

10.1	はじめに設定してください	10-2
10.2	管理者保守のメニューツリー	10-4
10.3	環境設定（G3/I-FAX/IP/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB）	10-6
10.4	管理者設定	10-8
10.5	文書管理	10-9
10.6	ファクス設定	10-17
10.7	送信設定	10-24
10.8	受信設定	10-26
10.9	レポート設定	10-28

10.1 はじめに設定してください

10.1.1 G3 ファクス

G3 ファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ 自局 ID

「ファクス設定－自局 ID (G3/ 中継)」(p. 10-17) をごらんください。

■ 受信機能

「ファクス設定－受信機能 (G3)」(p. 10-17) をごらんください。

10.1.2 インターネットファクス

インターネットファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ 自局 ID

「ファクス設定－自局 ID (G3/ 中継)」(p. 10-17) をごらんください。

■ ネットワーク設定

10.1.3 IP アドレスファクス

IP アドレスファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ 自局 ID

「ファクス設定－自局 ID (G3/ 中継)」(p. 10-17) をごらんください。

■ ネットワーク設定

10.1.4 IP 中継

IP 中継を使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

■ 自局 ID

「ファクス設定－自局 ID (G3/ 中継)」(p. 10-17) をごらんください。

■ IP 中継 中継先設定

「初期設定－ファクス / スキャン－ IP 中継 / 中継先選択」(p. 9-6) をごらんください。

■ ネットワーク設定

10.1.5 E-Mail

E-Mail やインターネットファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を設定していますが、詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてごらんください。

■ ネットワーク設定



詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



詳しくは「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.1.6 SMB 送信

ファイル送信（SMB）を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてごらんください。

■ ネットワーク設定

10.1.7 FTP 送信

ファイル送信（FTP）を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」もあわせてごらんください。

■ ネットワーク設定



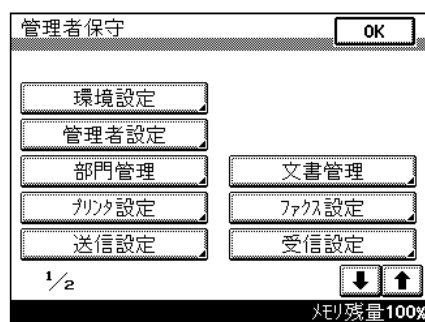
詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.2 管理者保守のメニューツリー

管理者保守で操作できる設定項目は以下のとおりです。このメニューツリーではネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスに関連する項目を記載しています。

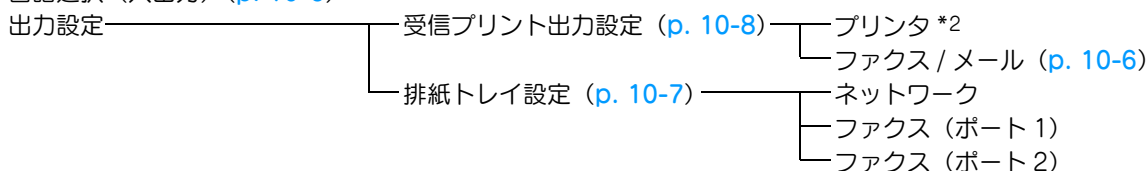


ひとこと

ソフトスイッチの設定により、宛先登録の操作を管理者のみができるように指定している場合は、[宛先登録]が表示されている場合があります。宛先登録のメニューツリーは「宛先登録」(p. 9-3)をごらんください。ソフトスイッチ設定について詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.2.1 環境設定

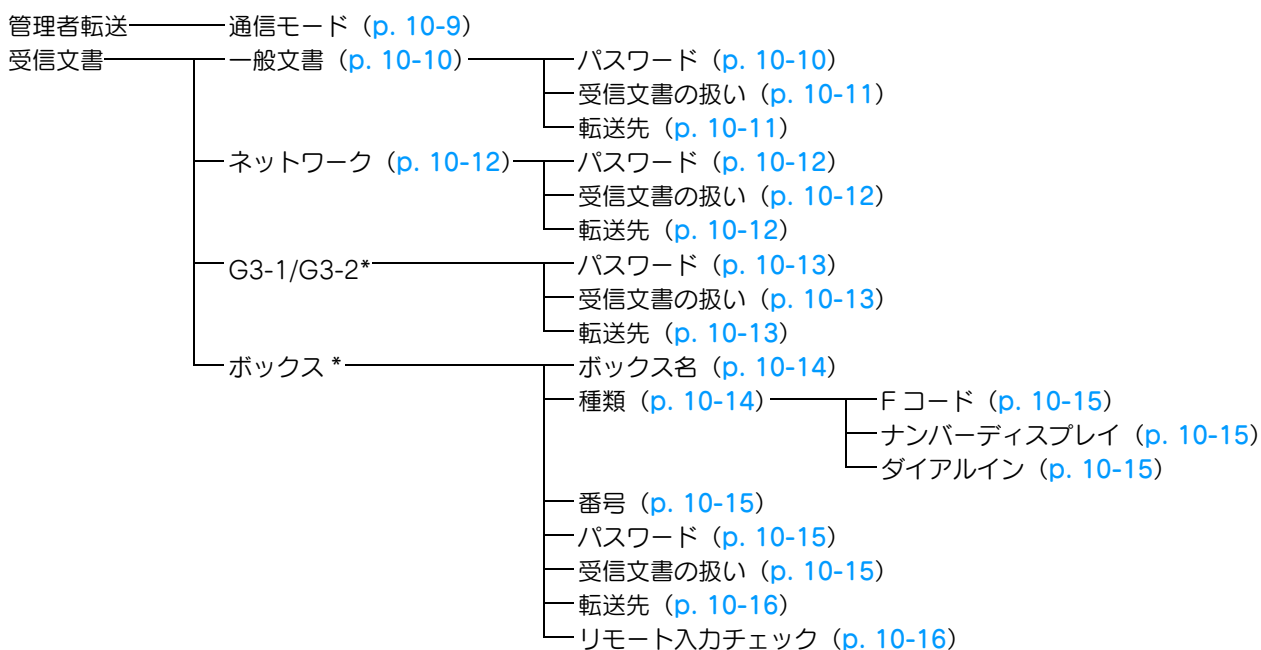
言語選択 (入出力) (p. 10-6)



10.2.2 管理者設定

管理データメール送信 (p. 10-8)

10.2.3 文書管理



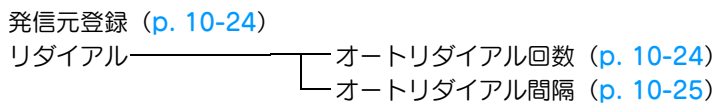
(*) オプションの FAX キットを装着していない場合は操作できません。

(*) オプションの拡張メモリ (512MB) を装着している場合にのみ表示されます。

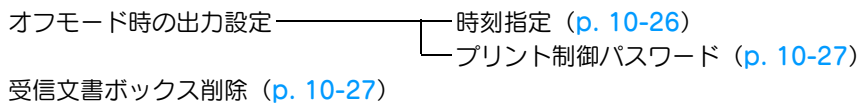
10.2.4 ファクス設定 *



10.2.5 送信設定



10.2.6 受信設定



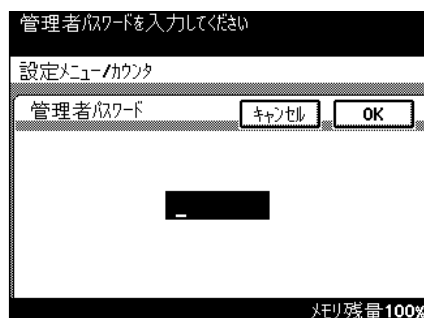
10.2.7 レポート設定

- 結果レポート (p. 10-28)
- 通信管理レポート (p. 10-28)

10.3 環境設定（G3/I-FAX/IP/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB）

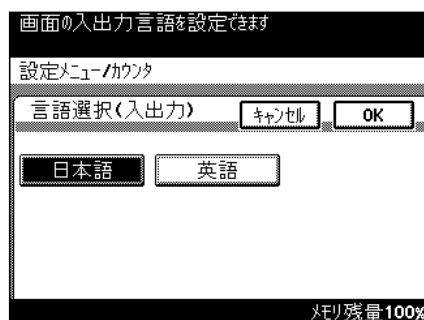
10.3.1 管理者保守画面を表示させる

管理者保守画面を表示させるには、操作パネルの【設定メニュー / カウンタ】を押し、表示されたメニューから「管理者保守」を押します。続けて管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。



10.3.2 環境設定－言語選択（入出力）

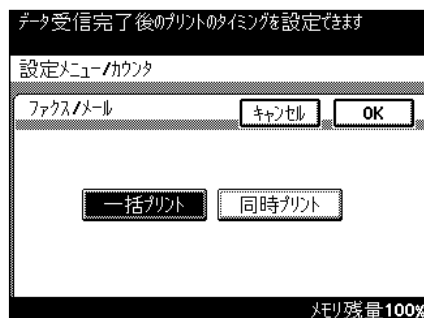
入出力用言語を設定できます。



10.3.3 環境設定－出力設定－受信プリント出力設定－ファクス / メール

プリンタやファクス / メールへのデータ受信後のプリントのタイミングを設定できます。

- 一括プリント：文書をすべて受信してからプリントします。
- 同時プリント：文書を 1 ページ受信するごとにプリントします。

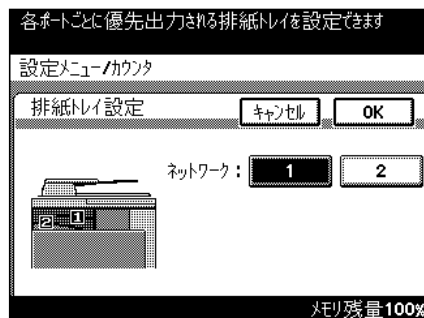


ひとこと

- ・「[プリント]」はオプションの拡張メモリ（512MB）を装着している場合にのみ表示されます。
- ・オプションの FAX キットを装着していない場合は「[ファクス / メール]」が「[メール]」と表示されます。

10.3.4 環境設定－出力設定－排紙トレイ設定

機能ごとに優先して出力される排紙トレイを設定できます。[ネットワーク] [ファクス] など、機能を選択し、それぞれ出力先を設定します。



ひとこと

- ・排紙トレイの設定を行うには、オプションのジョブセパレーターが必要です。
- ・オプションのFAX キットを装着していない場合は [ファクス] は表示されません。

10.4 管理者設定

10.4.1 管理者設定－管理データメール送信

通信管理レポート（送信管理レポート / 受信管理レポート）を CSV 形式で生成し、添付ファイルとして管理者にメール送信できます。送信先となる本機の管理者の E-Mail アドレスを登録します。



詳しく説明します

- ・通信管理データは、50 通信ごとにまとめて CSV 形式のファイルで送信されます。
- ・E-Mail アドレスは 64 文字以内で入力してください。

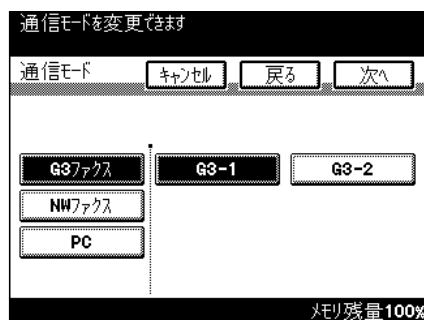
10.5 文書管理

10.5.1 文書管理－管理者転送－通信モード（G3/IP/I-FAX/中継/E-Mail/FTP/SMB）

本機から送信する文書を管理するために、管理者が設定した宛先に本機からの送信文書を転送できます。

「管理者転送」を押したあと、管理者宛にファクスで転送する場合を例に説明します。

- 1 転送する通信モードを選択し、「次へ」を押します。



- 2 転送先を指定し、「次へ」を押します。



- 3 転送先を確認し、「OK」を押すと転送先が設定されます。



詳しく説明します

ポーリング送信、掲示板登録、クイック送信、手動送信および文書管理による転送の場合は管理者転送できません。

ひとこと

- ・ソフトスイッチ設定により、管理者転送をする / しないを設定できます。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・ソフトスイッチ設定により、管理者転送したときの結果レポートの出力のしかたを設定できます。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

10.5.2 文書管理とは

ファクスを受信したとき、受信文書の処理のしかた（印刷 / 転送 / 強制メモリ受信など）をそれぞれ設定できます。

- お買い上げいただいたときは、各種類とも「プリント」に設定されています。
- リモートコピー受信したときは、設定によらずプリントします。
- 文書管理の設定は、「ダイアルイン」、「ナンバーディスプレイ」、「Fコード」、「受信ポート（ネットワーク / G3-1 / G3-2）」、「一般文書」の順に優先されます。

■ 文書の種類

文書は以下の3種類に分類されています。

- 一般文書：通常の受信文書の受信のしかたを設定します。
- ネットワーク / G3-1 / G3-2：回線ごとに異なる受信のしかたを設定できます。
- 受信ボックス：Fコード、ナンバーディスプレイ、ダイアルインなど特殊な情報を持つ文書に専用の受信ボックスを作成し、受信のしかたを設定できます。

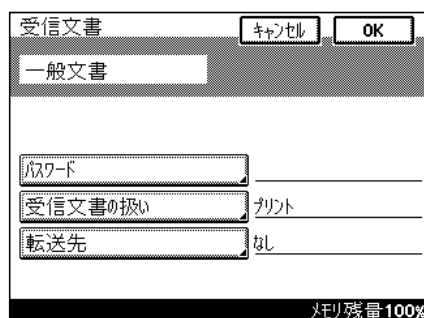


ひとこと

- ・ ナンバーディスプレイを利用するには、NTT 東日本・NTT 西日本との「ナンバーディスプレイ」の契約が必要です。また、本機でナンバーディスプレイを使用する設定を行います。
- ・ ダイアルインを利用するには、NTT 東日本・NTT 西日本との「ダイアルインサービス」の契約が必要です。また、本機でダイアルインを使用する設定を行います。
- ・ ソフトスイッチの設定により、受信文書を転送するとき発信元情報を付加できます。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク 管理者編」をごらんください。
- ・ オプションのFAX キットを装着していない場合は[G3-1] [G3-2] は表示されません

10.5.3 文書管理－受信文書－一般文書（G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail）

通常の受信文書の受信のしかたを設定します。



■ パスワード

文書を取り出すときに必要なパスワードを登録します。パスワードは確認のため、2回入力してください。

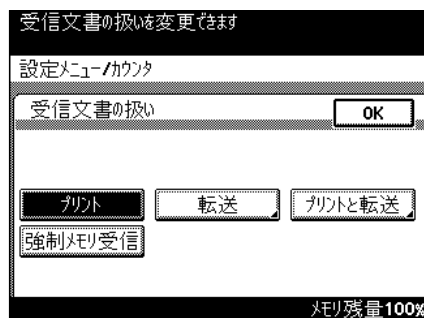
ひとこと

パスワードの設定は任意です。設定しない場合は他の項目へ進んでください。

■ 受信文書の扱い

受信した文書の管理方法を設定します。

- プリント：文書を受信するとすぐにプリントします。
- 転送：受信した文書を指定した相手先に転送します。転送先は 210 件まで指定できます。
- プリントと転送：文書を受信するとすぐにプリントし、指定した相手先にも転送します。転送先は 210 件まで指定できます。
- 強制メモリ受信：受信した文書をプリントせずに、[一般文書]ボックスに保存します。



■ 転送先

「受信文書の扱い」で「転送」または「プリントと転送」を選択した場合に設定します。

- 新しく相手先を指定するときは、[次宛先]を押して相手先を選択します。
- 登録した相手先を削除するときは、相手先を選択して[削除]を押します。

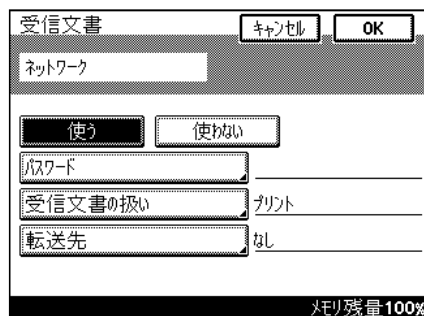


ひとこと

ボックスに保存した文書をプリントする場合は、[ジョブリスト]の[文書]タブから操作します。詳しくは、「[ジョブリストの表示と操作](#)」(p. 2-5)をごらんください。

10.5.4 文書管理－受信文書－ネットワーク（IP/I-FAX）

インターネットファクス、IP アドレスファクスで受信した文書の管理方法を設定します。



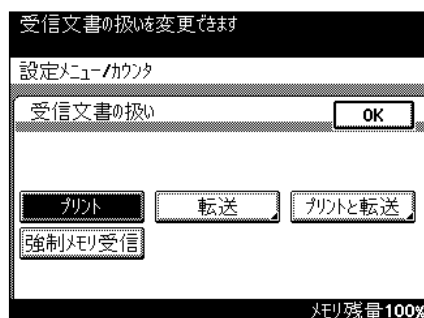
■ パスワード

文書を取り出すときに必要なパスワードを登録します。パスワードは確認のため、2 回入力してください。

■ 受信文書の扱い

管理を行う場合は、[使う] を押してから文書の管理方法を設定します。

- プリント：文書を受信するとすぐにプリントします。
- 転送：受信した文書を指定した相手先に転送します。転送先は 210 件まで指定できます。
- プリントと転送：文書を受信するとすぐにプリントし、指定した相手先にも転送します。転送先は 210 件まで指定できます。
- 強制メモリ受信：受信した文書をプリントせずに、[ネットワーク] ボックスに保存します。



■ 転送先

「受信文書の扱い」で [転送] または [プリントと転送] を選択した場合に設定します。

- 新しく相手先を指定するときは、[次宛先] を押して相手先を選択します。
- 登録した相手先を削除するときは、相手先を選択して [削除] を押します。

ひとこと

パスワードの設定は任意です。設定しない場合は他の項目へ進んでください。

ひとこと

ボックスに保存した文書をプリントする場合は、[ジョブリスト] の [文書] タブから操作します。詳しくは、[「ジョブリストの表示と操作」](#) (p. 2-5) をご覧ください。

10.5.5 文書管理－受信文書－ G3-1/G3-2 (G3)

G3-1 ポートおよび G3-2 ポートで受信した文書の管理方法を設定します。

■ パスワード

文書を取り出すときに必要なパスワードを登録します。パスワードは確認のため、2 回入力してください。

■ 受信文書の扱い

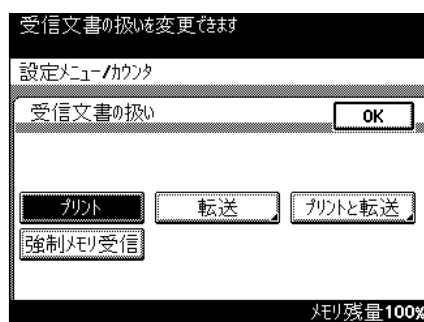
管理を行う場合は、[使う] を押してから文書の管理方法を設定します。

- プリント：文書を受信するとすぐにプリントします。
- 転送：受信した文書を指定した相手先に転送します。転送先は 210 件まで指定できます。
- プリントと転送：文書を受信するとすぐにプリントし、指定した相手先にも転送します。転送先は 210 件まで指定できます。
- 強制メモリ受信：受信した文書をプリントせずに、[G3-1] / [G3-2] ボックスに保存します。

■ 転送先

「受信文書の扱い」で [転送] または [プリントと転送] を選択した場合に設定します。

- 新しく相手先を指定するときは、[次宛先] を押して相手先を選択します。
- 登録した相手先を削除するときは、相手先を選択して [削除] を押します。



ひとこと

パスワードの設定は任意です。設定しない場合は他の項目へ進んでください。

ひとこと

ボックスに保存した文書をプリントする場合は、[ジョブリスト] の [文書] タブから操作します。詳しくは、「[ジョブリストの表示と操作](#)」(p. 2-5) をご覧ください。

10.5.6 文書管理－受信文書－ボックス（G3）

Fコード、ナンバーディスプレイ、ダイアルインなど特殊情報を持つ文書に専用の受信ボックスを作成し、受信のしかたを設定できます。

はじめにボックスを作成します。[0] ～ [8] までのタブの 180 個にボックスを作成できます。設定するボックスのキーを押して、ボックスの文書管理方法を設定します。



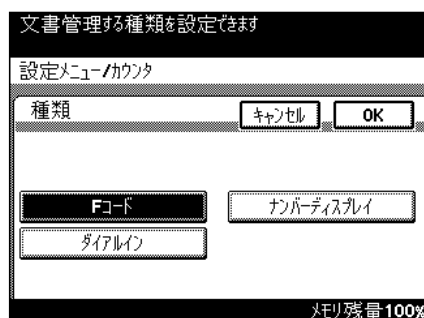
■ ボックス名

パネルからボックス名を設定します。半角 8 文字（全角 4 文字）以内で入力してください。



■ 種類

受信の管理を行う種類を選択します。



ひとこと

- ・受信ボックスの削除方法は、「[受信文書ボックス削除（G3/IP/I-FAX/中継/E-Mail）](#)」（p. 10-27）をごらんください。
- ・オプションのFAXキットを装着していない場合は「ボックス」は操作できません。

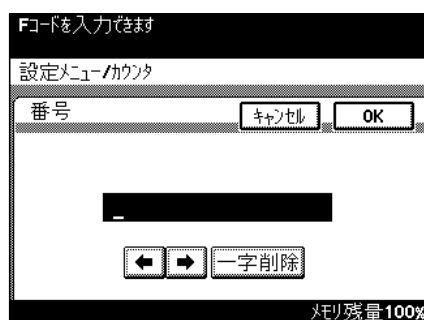
ひとこと

ナンバーディスプレイ、ダイアルインを設定するには、あらかじめ各機能を「使用する」に設定してください。詳しくは、「[ファクス設定－ナンバーディスプレイ（G3）](#)」（p. 10-20）、「[ファクス設定－ダイアルイン（G3/中継）](#)」（p. 10-22）をごらんください。

■ 番号

受信の種類に応じた番号を入力します。

- 「F コード」を選択した場合は、F コードを入力します。
- 「ナンバーディスプレイ」を選択した場合は、指定の番号を入力します。
- 「ダイヤルイン」を選択した場合は、ダイヤルイン番号を入力します。



■ パスワード

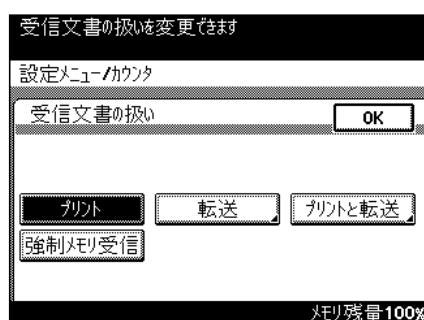
文書を取り出すときに必要なパスワードを登録します。受信の種類に応じて以下の内容を入力します。

- 「F コード」を選択した場合は、F コードパスワードを入力します。パスワードが不要な場合は入力しないでください。

■ 受信文書の扱い

文書の管理方法を設定します。

- プリント：文書を受信するとすぐにプリントします。
- 転送：受信した文書を指定した相手先に転送します。転送先は 210 件まで指定できます。
- プリントと転送：文書を受信するとすぐにプリントし、指定した相手先にも転送します。転送先は 210 件まで指定できます。
- 強制メモリ受信：受信した文書をプリントせずに、作成したボックスに保存します。



ひとこと

パスワードの設定は任意です。設定しない場合は他の項目へ進んでください。

ひとこと

ボックスに保存した文書をプリントする場合は、[ジョブリスト]の[文書]タブから操作します。詳しくは、[「ジョブリストの表示と操作」\(p. 2-5\)](#)をご覧ください。

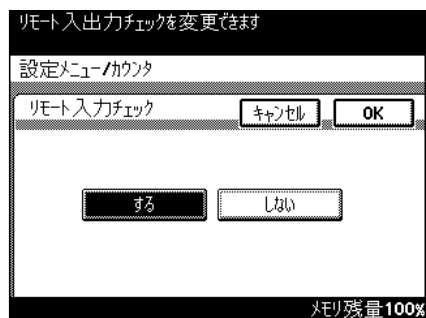
■ 転送先

「受信文書の扱い」で「転送」または「プリントと転送」を選択した場合に設定します。

- 新しく相手先を指定するときは、[次宛先]を押して相手先を選択します。
- 登録した相手先を削除するときは、相手先を選択して[削除]を押します。

■ リモート入力チェック

Fコードを使用する場合は、リモート入力チェックをする / しないを設定します。

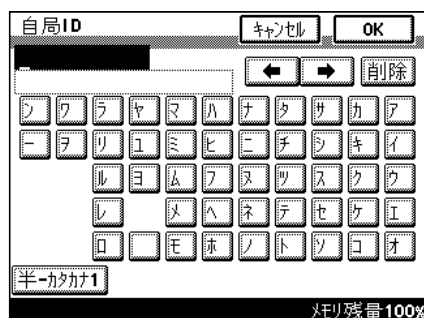


10.6 ファクス設定

10.6.1 ファクス設定－自局 ID（G3/ 中継）

送信元の名前や電話番号を ID として登録しておく、相手先ファクスの管理レポートやパネルなどに、登録した内容が表示されます。受信側でどこから送信された原稿かが確認しやすくなります。

- ID はアルファベット、数字、カタカナ、記号で半角 12 文字まで登録できます。
- 相手先によっては自局 ID を表示できない機種があります。その場合は、自局電話番号として登録した番号が表示されます。



自局電話番号の登録について、詳しくは「[自局電話番号](#)」(p. 10-19) をご覧ください。

ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は設定できません。

10.6.2 ファクス設定－受信機能（G3）

ファクスの着信のしかたと自動着信するまでの呼出し音の回数を設定します。

■ 着信方式

ファクスの着信のしかたを設定します（初期値：自動着信）。

- 自動：自動着信に設定します。
- 手動：手動受信に設定します。



ひとこと

- ・ 受信のしかたによる着信方式の設定については、「[受信する \(G3/IP/I-FAX\)](#)」(p. 5-1) をご覧ください。
- ・ オプションの FAX キットが装着されていない場合は表示されません。

■ 着信回数設定

自動着信するまでの呼出し回数を設定します（初期値：1）。

- 呼出し回数は 1 ～ 20 の範囲で設定できます。
- オプションの FAX/TEL 切替 & ハンドセットを装着している場合は、0 ～ 20 の範囲で設定できます。

10.6.3 ファクス設定－パスワード通信（G3）

送信側と受信側であらかじめ登録しておいたパスワードが一致したときだけに送受信を行う機能をパスワード通信といいます。パスワード通信を行うために必要なパスワードの設定を行います。

10.6.4 ファクス設定－自局電話番号情報（G3/ 中継）

ポートごとに自局電話番号、構内交換機、回線種別などを設定します。

ひとこと

ハンドセットを装着した場合の呼出し回数は、ソフトスイッチ設定で行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

詳しく説明します

- ・パスワードは数字 2 桁で設定します。
- ・お買い上げ時のパスワードは「00」に設定されています。

ひとこと

オプションの FAX キットが装着されていない場合は表示されません。

ひとこと

- ・回線を 2 本設定している場合は、それぞれ自局電話番号情報を設定してください。
- ・オプションの FAX キットが装着されていない場合は表示されません。

■ 自局電話番号

こちらの電話番号を登録します。相手先にこちらの電話番号を通知するときに利用されます。

テンキーから電話番号を入力します。

- 電話番号は 20 桁まで入力できます。

■ PBX 接続モード

PBX（構内交換機）に接続して使用すると正しくファクスが送受信できないことがあります。PBX を介して一般加入電話回線で使用するときに設定します（初期値：外線）。

- 内線：PBX（構内交換機）を介して一般加入電話回線に接続します。
- 外線：一般加入電話回線に直接接続します。

「内線」を選択した場合は、さらに外線発信番号を入力します。

ひとこと

自局電話番号は、相手先のレポートなどに表示される場合があります。確認しやすいように市外局番から登録することをおすすめします。

■ ダイヤル方式

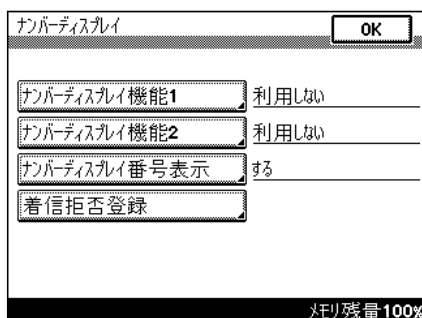
ご使用の電話回線に合わせてダイヤル方式を設定します（初期値：DP20）。ダイヤル方式を選択してください。

- DP20：ダイヤル回線のスピードが 20pps
- DP10：ダイヤル回線のスピードが 10pps
- PB：プッシュ回線



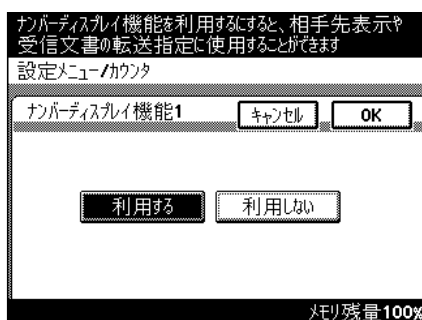
10.6.5 ファクス設定－ナンバーディスプレイ (G3)

ナンバーディスプレイを利用し、相手先から通知される電話番号ごとに着信を拒否したりすることができます。



■ ナンバーディスプレイ機能 1/2

ナンバーディスプレイ機能を利用する / 利用しないを設定します（初期値：利用しない）。



ひとこと

ご使用のダイヤル方式がわからない場合は、自動検出を利用するか NTT 東日本 / NTT 西日本にお問い合わせください。

詳しく説明します

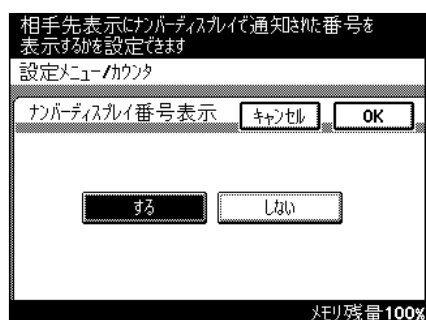
- ・ ナンバーディスプレイを利用するには、NTT 東日本・NTT 西日本との「ナンバーディスプレイ」の契約が必要です。
- ・ ナンバーディスプレイ機能を利用し、電話番号ごとにファクス文書の受信のしかたを設定することができます。設定方法については「[文書管理－受信文書ボックス \(G3\)](#)」(p. 10-14) をご覧ください。
- ・ 外付け電話機としてナンバーディスプレイ機能搭載の電話機を設置する場合は、本機のナンバーディスプレイ機能を「利用しない」に設定してください。「利用する」に設定すると、外付け電話機のナンバーディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は表示されません。

■ ナンバーディスプレイ番号表示

相手先表示にナンバーディスプレイで通知された番号を表示する / しないを設定します。また、相手先から通知された電話番号をワンタッチに登録できます（初期値：する）。



■ 着信拒否登録

ナンバーディスプレイ機能を利用し、特定の電話番号から着信や公衆電話からの着信などを拒否することができます。着信拒否する相手先は最大5か所まで登録できます。

着信を拒否する登録番号を選択し、拒否の区分を選択するか、拒否する番号を入力してください。

- 非通知：電話番号非表示の相手先からの着信を拒否します。
- 公衆電話：公衆電話からの着信を拒否します。
- 表示圏外：ナンバーディスプレイの番号通知圏外からの着信を拒否します。
- 受信エラー：ナンバーディスプレイの番号通知を正常に受信できない場合に着信を拒否します。



ひとこと

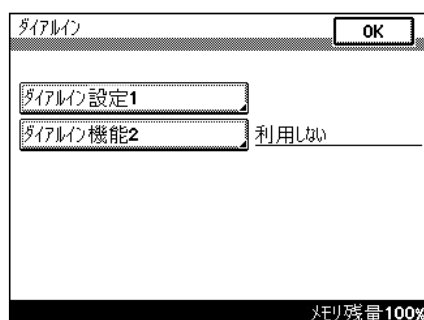
「ナンバーディスプレイ機能」を「利用する」にした場合に設定できます。

ひとこと

「ナンバーディスプレイ機能」を「利用する」にした場合に設定できます。

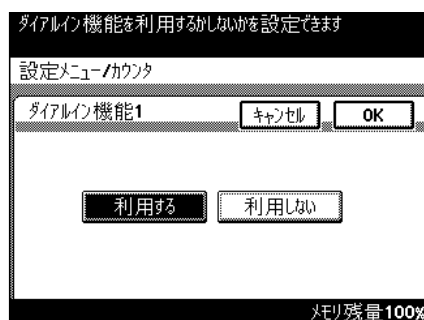
10.6.6 ファクス設定－ダイアルイン（G3/ 中継）

ダイアルインでは、ひとつの回線で複数の電話番号を使用することができます。



■ ダイアルイン機能 1/2

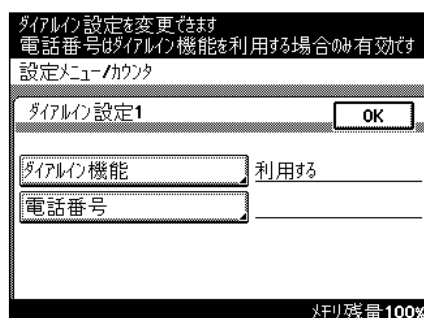
ダイアルイン機能を使用する / しないを設定します（初期値：利用しない）。



■ 電話専用電話番号

オプションのFAX/TEL切替 & ハンドセットを装着している場合、ダイアルイン機能を利用し電話専用の電話番号を登録することができます。

電話専用の電話番号を利用する場合は、ダイアルイン機能を「利用する」に設定してください。



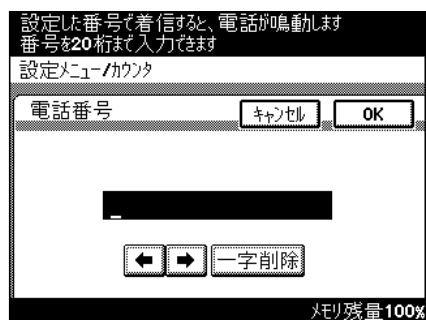
- 電話専用の電話番号に着信した場合は、ファクスの自動着信ができません。この場合は、転送受信の操作を行ってください。転送受信のしかたは「[手動受信（電話専用）](#)」（p. 5-5）を参照してください。
- 電話専用の電話番号を登録すると、電話専用の電話番号以外での着信では着信方式の設定が無効となり、すべてファクス受信になります。

詳しく説明します

- ・ダイアルインを利用するには、NTT 東日本・NTT 西日本との「ダイアルインサービス」の契約が必要です。
- ・ダイアルイン機能を利用し、電話番号ごとにファクス文書の受信のしかたを設定することができます。設定方法については「[文書管理－受信文書－ボックス（G3）](#)」（p. 10-14）をごらんください。
- ・外付け電話機としてナンバーディスプレイ機能搭載の電話機を設置する場合は、本機のナンバーディスプレイ機能を「利用しない」に設定してください。「利用する」に設定すると、外付け電話機のナンバーディスプレイ機能が正常に動作しないことがあります。

- 電話専用の電話番号は、文書管理のダイヤルイン番号と重複して登録できません。
- 電話専用の電話番号に着信したときは、ナンバーディスプレイ機能付きの電話機を外付け電話機に利用している場合でも、番号表示できません。

〔ダイヤルイン設定〕－〔電話番号〕を押し、電話専用となる電話番号を入力します。



10.7 送信設定

10.7.1 送信設定－発信元登録（G3/ 中継）

相手先にこちらの名前を通知することができます。発信元は最大 8 個まで登録でき、送信時に選択できます。発信元をつけて送信すると、送信した原稿の先端にプリントされます。

発信元の登録番号を選択し、発信元名を入力します。

- 発信元名は 40 文字以内で入力します。
- 全角と半角は混在して入力できません。

10.7.2 送信設定－リダイヤル（G3/ 中継）

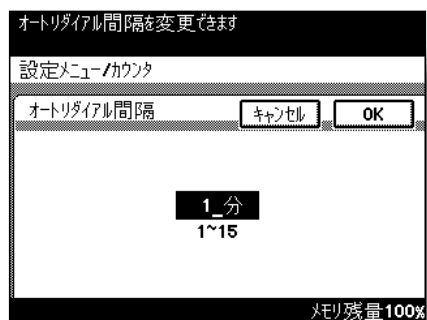
通信の異常などで送信ができなかった場合、自動的にリダイヤル（再送信）を行います。このリダイヤルの回数や間隔を設定します。

■ オートリダイヤル回数

自動的にリダイヤルを行う回数を 0 ～ 15 の範囲で設定します（初期値：5）。

■ オートリダイヤル間隔

自動的にリダイヤルを行う間隔を 1 ～ 15 の範囲で設定します（初期値：1）。

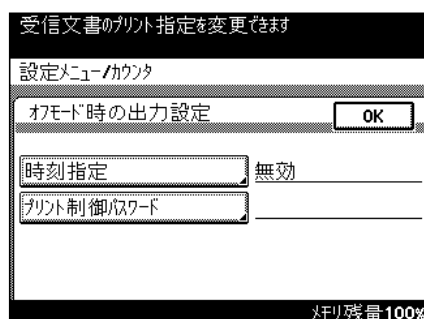


10.8 受信設定

10.8.1 オフモード時の出力設定 (G3)

ファクス受信した文書をプリントしないようにしておき、曜日と時刻を決めてまとめてプリントします。プリントを停止する時間帯を設定したり、プリント操作をパスワードで規制することにより、深夜に受信したファクスなども安全に受け取ることができます。

- プリント停止できるのは、ファクス受信した文書に限ります。
- コピーやPCプリントの場合は、プリント停止されません。
- プリント停止を曜日ごとに設定できます。
- 時刻設定した場合は、プリント開始時刻になると、プリント停止中に保存されていた文書を自動的にプリントします。
- 指定した時刻以外に手動でプリントするときは、[ユーザ保守]の[プリント処理]でプリント開始の操作をしてください。
- プリント停止を設定すると送信側では「送信できませんでした」と表示されることがあります。



■ 時刻指定

プリントの開始時刻と停止時刻、曜日を設定します。

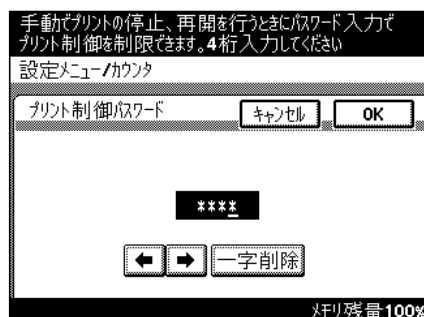
- 時刻は24時間制で入力します。
- 時刻を設定する場合は、必ず曜日も設定してください。
- 曜日ごとに異なる時刻を設定することはできません。
- 開始時刻と停止時刻を同じ数値にすることはできません。



■ プリント制御パスワード

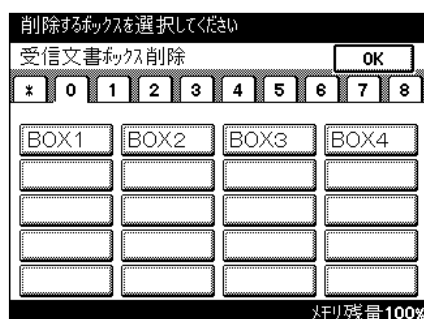
プリント開始操作をパスワードで規制する場合は、「プリント制御パスワード」を登録してください。テンキーから4桁のパスワードを設定します。

- プリント制御パスワードが未登録の場合は、パスワードを入力しなくてもプリントを開始できます。
- プリント停止を設定すると、タッチパネルにプリント停止アイコンが表示されます。



10.8.2 受信文書ボックス削除 (G3/IP/I-FAX/ 中継/E-Mail)

〔受信文書〕－〔ボックス〕で登録した受信文書ボックスを削除します。削除する受信ボックスを選択します。メッセージを確認して、〔はい〕を押します。



受信文書ボックスの登録については、「[文書管理](#)」(p. 10-9) をご覧ください。



詳しく説明します

- ・ 受信ボックスを削除すると、受信ボックス内の文書も削除されます。
- ・ ソフトスイッチ設定により、受信ボックスを削除せずにボックス内部の文書を削除できます。詳しくは、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をご覧ください。
- ・ 〔一般文書〕ボックス、〔ネットワーク〕ボックス、〔G3-1〕ボックス、〔G3-2〕ボックスは削除されませんが、ボックス内の文書は削除されます。

10.9 レポート設定

10.9.1 結果レポート (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)

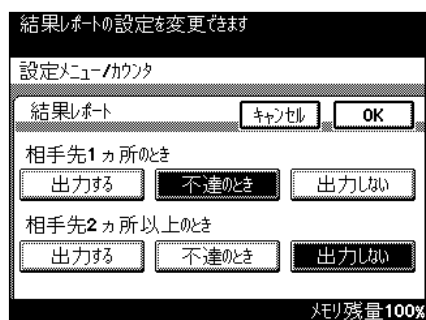
結果レポートの出力条件を設定します。送信時にこの内容は変更できません（初期値：「相手先が1カ所するとき：不達するとき」「相手先が2カ所以上するとき」：不達するとき）。

相手先の数によって結果レポートの出力のしかたを設定します。

出力する：送信することによって結果レポートを出力します。

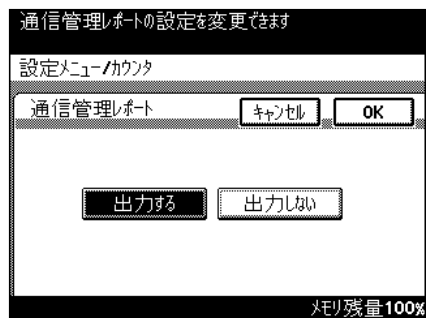
不達するとき：送信できなかったときだけ、結果レポートを自動的に出力します。


出力しない：結果レポートを出力しません。



10.9.2 通信管理レポート (G3/IP/I-FAX/ 中継 /E-Mail/FTP/SMB)

50 通信ごとに通信管理レポートを自動的に出力する / しないを設定します（初期値：出力する）。





第 11 章

ファクス / スキャン機能で困ったとき

ここでは、ファクス / スキャンを使用しているときに起きる現象や対処方法について説明しています。ここに記載されていない現象が起きたときや、問題が解決しないときはサービス管理店にお問合わせください。

11.1	送信できない	11-2
11.2	受信できない	11-3
11.3	エラーメッセージが表示された	11-5
11.4	エラーコード表	11-6
11.5	「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）	11-9

11.1 送信できない

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



- ・送信できなかった場合は、結果レポートが出力されます。詳しくは、「[結果レポート](#)」(p. 8-8) をごらんください。
(結果レポートをプリントするように設定している場合)
- ・エラーメッセージについては、「[エラーメッセージが表示された](#)」(p. 11-5) をごらんください。
- ・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「[ユーザーズガイド コピー機能編](#)」をごらんください。

11.1.1 G3 ファクス

チェックポイント	処置
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
相手のファクス番号は正しいですか？ワンタッチやプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	ワンタッチやプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 ワンタッチリストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。 誤りがある場合は修正してください。
電話回線の設定は正しいですか？	設定メニューの「ダイヤル方式」はお使いの電話回線に合っていますか？ 設定を確認して、誤りがある場合は修正してください。
モジュラーケーブルの接続は正しいですか？	モジュラーケーブルが外れていませんか？ モジュラーケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけて確認してください。
パスワード送信時に、パスワードを間違えていませんか？	相手先のパスワードを確認し、正しいパスワードで送信し直してください。

11.1.2 インターネットファクス / IP アドレスファクス / ネットワークスキャン送信 (E-Mail/FTP/SMB)

チェックポイント	処置
送信しようとしている電子メール容量がSMTPサーバー容量を超えていませんか？	SMTPサーバー容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。SMTPサーバー容量の設定については、「 ユーザーズガイド ネットワーク管理者編 」をごらんください。
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認してもう一度送信してください。送信の手順については「 操作の流れ 」(p. 4-2) をごらんください。
ネットワークの設定や接続は正しいですか？	ネットワークの設定や接続を確認してください。ネットワークの設定については「 ユーザーズガイド ネットワーク管理者編 」をごらんください。
本機のメールアドレスは設定されていますか？	本機のE-Mailアドレスを確認し、設定してください。E-Mailアドレスの設定については「 ユーザーズガイド ネットワーク管理者編 」をごらんください。
ケーブル類が正しく接続されていますか？	ネットワークケーブル、モジュラーケーブルなどの接続が正しいか確認してください。
相手のファクス番号やアドレスは正しいですか？ワンタッチやプログラム宛先は正しく登録されていますか？	ワンタッチやプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 ワンタッチリストをプリントするなどして、正しく登録されているか確認してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源がOFFになっている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？受信側に電話をかけるなどして確認してください。

11.2 受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。



- ・送信できなかった場合は、結果レポートが出力されます。詳しくは、「[結果レポート](#)」(p. 8-8)をごらんください。
(結果レポートをプリントするように設定している場合)
- ・エラーメッセージについては、「[エラーメッセージが表示された](#)」(p. 11-5)をごらんください。
- ・原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては「[ユーザーズガイド コピー機能編](#)」をごらんください。

11.2.1 G3 ファクス

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、「 ユーザーズガイド コピー機能編 」をごらんください。
	用紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリに受信原稿が蓄積されています。 つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、「 ユーザーズガイド コピー機能編 」をごらんください。
	トナーがなくなっていますか？	トナーがなくなると、受信できません。 すぐにトナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換操作については、「 ユーザーズガイド コピー機能編 」をごらんください。
	手動受信に設定されていますか？	設定メニューの「 着信方式 」が「 手動 」に設定されている場合は、受信の操作が必要です。「 手動受信（電話専用） 」(p. 5-5)を参照して受信の操作をしてください。
	モジュラーケーブルの接続は正しいですか？	モジュラーケーブルが外れていませんか？ モジュラーケーブルの接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	送信側からFコードで正しくないSUBアドレスが送信されていませんか？	親展送信やIP中継送信の場合、正しくないSUBアドレスを受信すると、通信エラーが発生し、受信できない場合があります。送信側にSUBアドレスの設定を確認してください。
プリントされない	強制メモリ受信が設定されていますか？	強制メモリ受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書を確認します。 1. 「 ジョブリスト 」を押します。 2. 「 文書 」タブを押します。 3. 「 受信文書 」を押します。 4. 受信した文書の種類を選択します。 5. プリントまたは転送を行います。

11.2.2 インターネットファクス / IP アドレスファクス

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、「ユーザーズガイド コピー機能編」を ごらんください。
	用紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリに受信原稿が蓄積されています。つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、「ユーザーズガイド コピー機能編」を ごらんください。
	トナーがなくなっていますか？	トナーがなくなると受信できません。すぐにトナーカートリッジを 交換してください。 トナーカートリッジの交換操作については、「ユーザーズガイド コ ピー機能編」を ごらんください。
	ネットワークケーブルの 接続は正しいですか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続して ください。
	メモリ不足ではありませんか？	メモリ残量を確認してください。 残量が不足しているときは、受信できない、または受信しても印刷 できなくなります。
プリントされない	強制メモリ受信が設定さ れていませんか？	強制メモリ受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書を確認 します。 1. [ジョブリスト] を押します。 2. [文書] タブを押します。 3. [受信文書] を押します。 4. 受信した文書の種類を選択します。 5. プリントまたは転送を行います。

11.3 エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

11.3.1 G3 ファクス

エラーメッセージ	処置
原稿サイズが検出できません	原稿サイズが検出できませんでした。原稿サイズを選択してください。
〇〇〇とは同時設定できません	同時に設定できない機能を選択しています。どちらか一方の機能を指定してください。
メモリ残量不足のため、読み込み中ジョブを消去しました	メモリがいっぱいです。プリント待ちなどの文書がある場合は、メモリ内の文書をプリントしてください。
トラブルですサービスにトラブルコードを連絡してください	本機に何らかのトラブルが発生しました。画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。

11.4 エラーコード表

11.4.1 E-Mail 送信 / インターネットファクス送信

エラーコード	原因	処置
E4DXXX	SMTP サーバアドレスが設定されていないため、メールサーバと接続できません。	SMTP サーバアドレスを設定してください。
E5AXXX	DNS の設定が正しくないため、送信できません。	DNS の設定を確認してください。
E5DXXX	E-Mail アドレスまたは、相手先の E-Mail アドレスが設定されていないか、正しくないため、送信できません。	設定および、相手先 E-Mail アドレスを確認してください。
E6FXXX	送信できない大きなサイズのデータを送信しようとしました。	読み込みが完了しても、原稿によっては送信できない場合があります。 画質を 200 dpi、または 200 ×100 dpi に変更して送信し直してください。
E7XXXX	SMTP 認証に失敗しました。	SMTP 認証のアカウントとパスワードを確認してください。
EAXXXX	LAN ケーブルが接続されていないか、SMTP サーバとの通信に失敗しました。または、誤った相手先アドレスに送信しようとしました。 (SMTP 上のプロトコル異常)	LAN ケーブルが正しく接続されているか、SMTP サーバが通信できる状態にあるか、サブネットマスクなどネットワーク設定に誤りがないか、相手先の E-Mail アドレスを確認してください。
EAX212	SMTP 認証が必要です。	SMTP 認証の設定を有効にしてください。
EABF4F	POP3 before SMTP の設定が正しくありません。	管理者保守の POP サーバの設定を確認してください。
EABF50	POP3 before SMTP の認証に失敗しました。	POP アカウントとパスワードを確認してください。

11.4.2 インターネットファクス受信

エラーコード	原因	処置
E40XXX	POP3 サーバアドレスが正しく設定されていないため、メールサーバと接続できません。またはサーバの異常のため、サーバと接続できません。	POP3 サーバアドレスを確認してください。 POP3 サーバが正常に動作しているか確認してください。
E50XXX E51XXX E52XXX	POP3 ユーザ名またはパスワードが設定されていないか正しくないため、受信できません。	設定を確認してください。
E60XXX E61XXX	POP3 受信で印字できないデータを受信しました。 TIFF-F 形式以外の添付ファイルや 1 行が 1000 文字を超えるテキスト、データサイズの大きいメールを受信した、またはデータが何もないメールを受信しました。	送信者に確認してください。
E7XXXX	APOP の認証に失敗しました。	POP3 のアカウントとパスワードを確認してください。
ECXXXX	LAN ケーブルが接続されていないか、POP3 サーバとの通信に失敗しました。またはユーザ名、パスワードがサーバに登録されていないか、装置本体の設定と異なります。(POP 上のプロトコル異常)	LAN ケーブルが正しく接続されているか、POP3 サーバの設定に誤りがないか確認してください。

11.4.3 ファイル送信 (FTP)

エラーコード	原因	処置
ED0101	ユーザ名が入力されていないか、長すぎます。	ユーザ名が1文字以上最大文字数以下であるか確認してください。
ED0102	パスワードが入力されていないか、長すぎます。	パスワードが1文字以上最大文字数以下であるか確認してください。
ED0103	サーバーのアドレスが間違っています。	FTP サーバーのIP アドレスが1文字以上であるか確認してください。
ED0201	ソケット生成エラーです。	設定を確認してください。
ED0202	接続タイムアウトです。	接続できる状態か確認してください。
ED0203	DNS エラーです。	DNS 設定を確認してください。
ED0204	サービスが利用不能です。	送信先に FTP サーバーが起動しているか確認してください。
ED0205	その他接続エラーです。	接続状態および設定を確認してください。
ED0301	送信エラーです。	設定を確認してください。
ED0302	受信エラーです。	設定を確認してください。
ED0303	通信がタイムアウトしました。	接続が切断されていないか確認してください。
ED0304	その他のソケット通信エラーです。	設定を確認してください。
ED0401	Render 異常です。	—
ED0501	ジョブが強制的に中断されました。	中断したジョブを送信し直します。
EDFFFF	その他の異常が発生しました。	接続状態および設定を確認してください。

11.4.4 ファイル送信 (SMB)

エラーコード	原因	処置
EE09C6	転送先コンピューターの応答がありません。	アドレスが間違っていないか、コンピューターが起動しているか、ネットワークにエラーがないか確認してください。
EE09C7	ログインに失敗しました。	ユーザ名、パスワードが正しいか確認してください。
EE09C8	転送先フォルダがありません。	指定フォルダが正しいか確認してください。
EE09C9	保存先のディスクがいっぱいになっています。	配信先 (SMB) のディスクに十分な空き容量があるか確認してください。
EE09CA	コマンドタイムアウトしました。	送信し直してください。
EE09CB	指定したフォルダへのアクセス権がありません。	配信先フォルダが共有になっているか確認してください。
EE09CF	下位モジュールが INIT されていません。	本機電源を OFF にして、再起動してください。
EE0AC0	Render 異常です。	—

11.4.5 IP アドレスファクス送信

エラーコード	原因	処置
E5AXXX	DNS の設定が正しくないため、送信できません。	DNS の設定を確認してください。
E6FXXX	送信できない大きなサイズのデータを送信しようとしてしました。	読み込みが完了しても、原稿によっては送信できない場合があります。 画質を 200 dpi、または 200 ×100 dpi に変更して送信し直してください。
E7XXXX	SMTP 認証に失敗しました。	SMTP 認証のアカウントとパスワードを確認してください。
EAXXXX	LAN ケーブルが接続されていないか、相手装置との通信に失敗しました。または、間違った相手先アドレスに送信しました。	LAN ケーブルが正しく接続されているか、相手先装置が通信できる状態にあるか、サブネットマスクなどネットワーク設定に誤りがないか、相手先の IP アドレスを確認してください。
EAX212	SMTP 認証が必要です。	SMTP 認証の設定を有効にしてください。

11.4.6 IP 中継送信

エラーコード	原因	処置
E4FFFE	中継機が送信したかどうか不明のまま所定時間が経過しました。(IP 中継機からの結果通知を所定時間内に受信できませんでした。)	送信相手に受信できたか確認してください。
E53XXX	ゲートウェイ送信で指定された宛先が正しくないため送信できません。	送信者に確認してください。
E65XXX	ゲートウェイ送信できないデータを送信しようとしています。TIFF-F 形式以外の添付ファイルや 1 行が 1000 文字を超えるテキストを送信しようとしています。	送信者に確認してください。
E7XXXX	SMTP 認証に失敗しました。	IP 中継の設定を確認してください。
EBXXXX	ゲートウェイ送信のための送信データ受信ができません。	メールサーバが通信できる状態にあるか、またはネットワーク設定に誤りがないかドメイン名が一致しているか確認してください。
FFF003	IP 中継の結果通知待ちの状態です。	IP 中継機側の送信が完了するまでお待ちください。

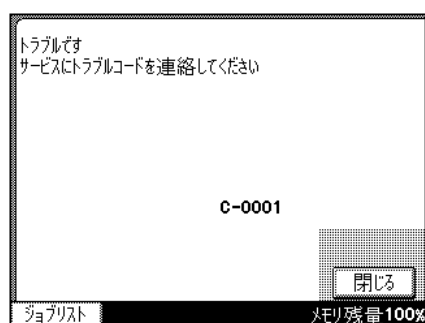
11.4.7 インターネットファクス フルモード通信

エラーコード	原因	処置
E4FFFC	相手装置が受信したかどうか不明のまま所定時間が経過しました。(MDN 応答を所定時間内に受信できませんでした。)	送信相手に受信できたか確認してください。
E4FFFD	結果待ち管理数をオーバーしました。	送信相手に受信できたか確認してください。
E4FFFF	MDN/DSN の応答で異常が通知されました。	再度文書を送信してください。
FFF001	相手装置が正常に受信しました。(MDN 応答を受信しました。)	不要

11.5 「サービスに連絡してください」と表示されたら（サービスコール）

お客様では処置できないトラブルが起こったとき、「サービスに連絡してください」というメッセージが画面上に表示されます。（サービスコール画面）

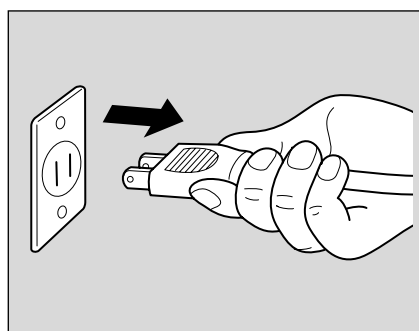
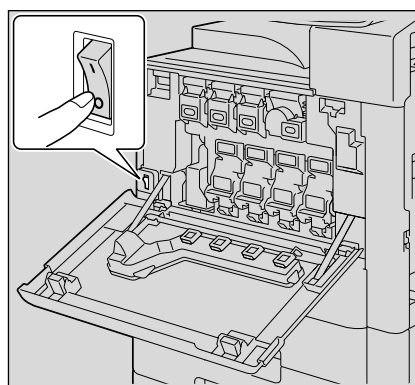
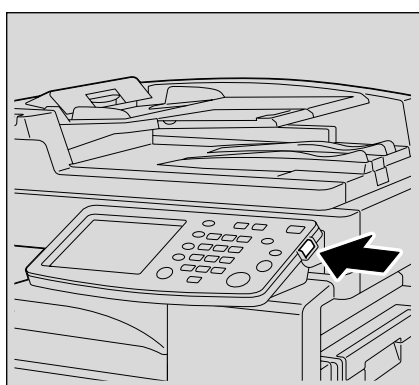
ここでは、サービス実施店に電話でトラブルを知らせる手順を説明します。



⚠ 注意

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

1. トラブルコード番号を書き留めます。
2. 【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】を OFF にします。
3. 電源プラグをコンセントから抜きます。
4. サービス実施店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。





第 12 章

付録

ここでは、ファクス / スキャン機能の製品仕様や、入力文字の一覧などの情報を記載しています。

12.1	製品仕様	12-2
12.2	こんなときには	12-4
12.3	文字を入力するには	12-5
12.4	入力文字一覧	12-11

12.1 製品仕様

12.1.1 インターネット FAX 仕様

項目	仕様
通信プロトコル	電子メール送信：SMTP（IETF RFC2821 および RFC2822）手順、TCP/IP 通信 電子メール受信：POP3（IETF RFC1725 および RFC1939）手順、TCP/IP 通信
送信原稿サイズ	A4、B4、A3
解像度	200 × 100 dpi、200 × 200 dpi、400 × 400 dpi、600 × 600 dpi
データフォーマット	電子メール形式：MIME 添付ファイル形式：TIFF-F
符号化方式	MH、MR、MMR
適合回線	イーサネット LAN（100BASE-TX、10BASE-T 接続）
宛先登録	メールアドレスを登録：最大 300 件

12.1.2 IP アドレス FAX 仕様

項目	仕様
通信プロトコル	電子メール送信：SMTP（IETF RFC2821 および RFC2822）手順、TCP/IP 通信
送信原稿サイズ	A4、B4、A3
解像度	200 × 100 dpi、200 × 200 dpi、400 × 400 dpi、600 × 600 dpi
データフォーマット	TIFF-F
符号化方式	MH、MR、MMR
適合回線	イーサネット LAN（100BASE-TX、10BASE-T 接続）
宛先登録	送信先 IP アドレスまたはホスト名を登録：最大 300 件

12.1.3 ファイル送信（FTP）仕様

項目	仕様
通信プロトコル	TCP/IP 通信
送信原稿サイズ	A6、B6、A5、B5、A4、B4、A3、Letter、Legal、Executive、11 × 17、5-1/2 × 8-1/2
解像度	200 × 100 dpi、200 × 200 dpi、400 × 400 dpi、600 × 600 dpi
データフォーマット	TIFF、PDF
符号化方式	MH、MMR
適合回線	イーサネット LAN（100BASE-TX、10BASE-T 接続）
宛先登録	IP アドレスまたはホスト名を登録：最大 300 件

12.1.4 ファイル送信（SMB）仕様

項目	仕様
通信プロトコル	TCP/IP 通信
送信原稿サイズ	A6、B6、A5、B5、A4、B4、A3、Letter、Legal、Executive、11 × 17、5-1/2 × 8-1/2
解像度	200 × 100 dpi、200 × 200 dpi、400 × 400 dpi、600 × 600 dpi
データフォーマット	TIFF-F、PDF
符号化方式	MH、MMR
適合回線	イーサネット LAN（100BASE-TX、10BASE-T 接続）
宛先登録	コンピューターの IP アドレスまたはホスト名を登録：最大 300 件

12.1.5 受信文書の転送仕様

項目	仕様
転送先登録	Fコード、ナンバー・ディスプレイ、ダイヤルインと転送先メールアドレスを指定。

12.1.6 IP 中継仕様

項目	仕様
中継先	最大 8 力所
送信先	ファクス

12.1.7 ファクス仕様

項目	仕様
画像メモリ	容量 64 MB
蓄積枚数	約 3,500 枚 (A4 ㊏、B/W 5% 以下) 画質：200 × 100 dpi 約 3,500 枚 (A4 ㊏、B/W 5% 以下) 画質：200 dpi 約 1,800 枚 (A4 ㊏、B/W 5% 以下) 画質：400 dpi
適応回線	加入電話回線（ファクシミリ通信網を含みます）PBX 回線
通信規格	G3
伝送速度	2400 / 4800 / 7200 / 9600 / 12000 / 14400 / 16800 / 19200 / 21600 / 24000 / 26400 / 28800 / 31200 / 33600 bps
伝送時間	約 3 秒 A4 判 700 文字程度の当社標準原稿を、画質 [200 × 100 dpi] で送信した場合の時間です。これは画像だけの伝送時間で、通信の制御にかかる時間はふくみません。実際の通信時間は、原稿の内容や相手側の機種、電話回線の状態などにより異なります。
符号化方式	MH / MR / MMR / JBIG
最大読取りサイズ	原稿ガラスの場合：297 × 420 mm (A3 サイズ)、または 11 × 17 インチ (Ledger サイズ) ADF の場合：幅 297 × 長さ 1000 mm (200 × 100 dpi、200 dpi、400 dpi) 幅 297 × 長さ 432 mm (600 dpi)
最大記録サイズ	297 × 420 mm (A3 サイズ)、または 11 × 17 インチ (Ledger サイズ) セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがって印字されます。

12.2 こんなときには

12.2.1 ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。

1

ファクス / スキャン画面の [オンフック] を押し、ファクス情報サービスの電話番号を指定します。

サービスに接続するとアナウンスが聞こえます。

2

サービスの案内に従って、必要なサービスコードを指定します。

3

[受信] を押し、サービスの案内に従って [実行] または 【スタート】 を押します。

受信が開始されます。

○ 【スタート】 を押した場合は、確認画面が表示されます。[はい] を押し、[OK] を押すと受信が開始されます。

12.2.2 メモリへの蓄積について

本機のメモリには、各機能（コピー、プリント、スキャン、ファクス）から 64 文書を蓄積することができます。

詳しく説明します

- ・ 契約内容や詳しい操作方法については、ご利用になるファクス情報サービスの提供元にお問い合わせください。
- ・ 必要に応じ、回線モニター音レベルを調整しておきます。回線モニター音レベルは、0 ～ 5 の範囲で調整できます（工場出荷時は 3 に設定されています）。ファクス情報サービスの音声ガイダンスを聞き取りやすくするため、大きめに設定しておくことをお勧めします。

詳しく説明します

ダイヤル（パルス）回線をお使いの場合は、パルスをトーンに切り替える必要があります。サービスコードを入力する前に、[トーン] または 【*】 を押し、トーンを送出できる状態にしてください。

詳しく説明します

ADF、または原稿ガラスに原稿がセットされている場合は、着信しても [受信] は反転表示しません。この場合は、[受信] を押して反転表示させてください。

詳しく説明します

原稿の読み込み中に、メモリがいっぱいになりオーバーフローすることがあります。この場合は、途中で読み込んだ原稿を送信するか、もう一度最初から送信するかを選択することができます。

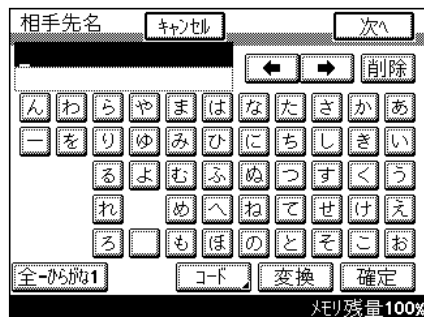
12.3 文字を入力するには

宛先登録や部門登録などで文字を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力します。

12.3.1 入力モードを切替える

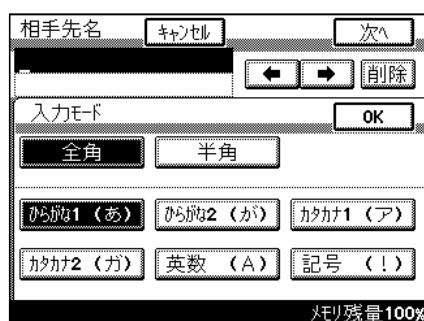
目的の文字を入力するために、全角文字、半角文字の切換えや文字の種類（ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字、記号）の切換えを行います。

- 1 文字入力画面で入力モード切換えキーを押します。



入力モード画面が表示されます。

- 2 [全角] または [半角] を押し、入力モードを選択します。



- 3 [OK] を押します。
入力モードが選択されます。

12.3.2 ひらがなを入力する

- 1 入力モード画面で [ひらがな 1 (あ)] を押して、[OK] を押します。
 - 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、[ひらがな 2 (か)] を押します。

ひとこと

- ・入力モード切換えキーには選択されている入力モード名（「全-ひらがな 1」など）が表示されます。
- ・文字入力画面によっては入力モード切換えキーが表示されません。

ひとこと

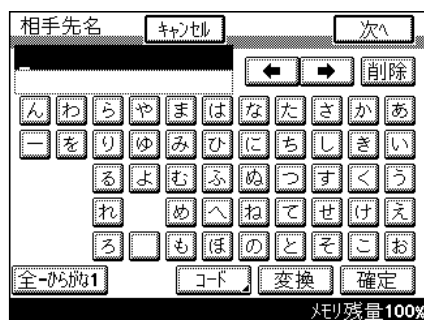
[半角] が選択されている場合は、[ひらがな 1 (あ)] および [ひらがな 2 (か)] は表示されません。

参照

入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5) をごらんください。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



3

「確定」を押します。

12.3.3 漢字を入力する

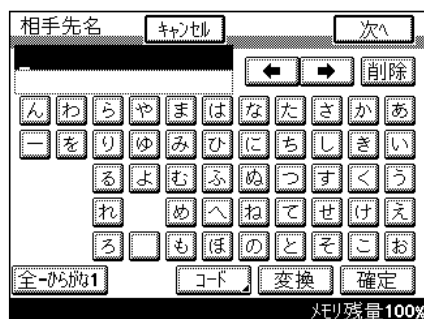
1

入力モード画面で「ひらがな 1 (あ)」を押して、「OK」を押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、「ひらがな 2 (か)」を押します。

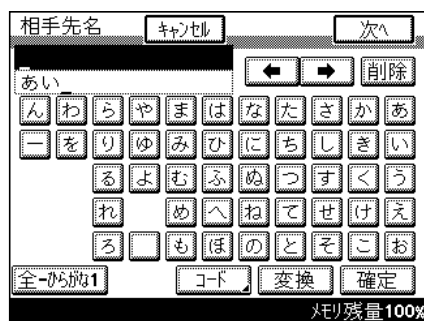
2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



3

「変換」を押します。



変換候補画面が表示されます。

詳しく説明します

- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- ・文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW（モード 478）で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

参照

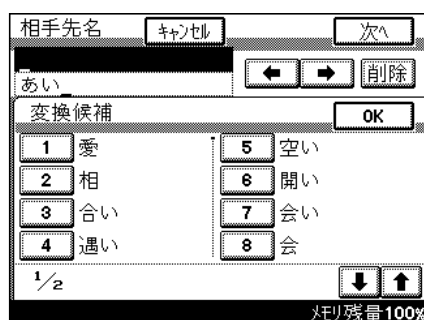
入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5) をごらんください。

詳しく説明します

- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- ・文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW（モード 478）で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

4

表示された候補の中から、入力したい漢字のキーを押します。



- 目的の漢字が表示されないときは、[↓]、[↑] を押して、目的の漢字を検索してください。

12.3.4 カタカナを入力する

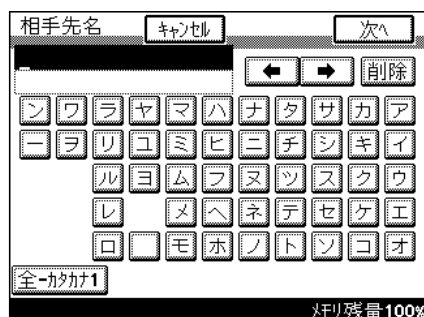
1

入力モード画面で「カタカナ 1 (ア)」を押して、[OK] を押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）、半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力したいときは、「カタカナ 2 (カ)」を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5) をごらんください。



- 詳しく説明します
- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
 - ・ 入力した文字を全て取消す場合は、[C] を押します。
 - ・ 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
 - ・ 文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW（モード 478）で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



入力する文字の全角、半角の切換えかたについては、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5) をごらんください。

12.3.5 英数字を入力する

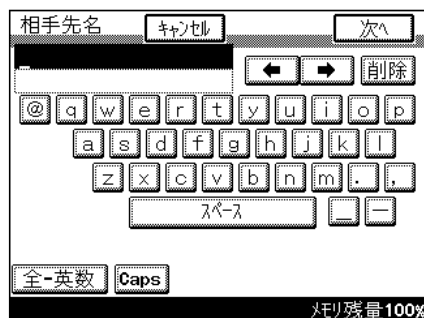
1

入力モード画面で「英数 (A)」を押して、「OK」を押します。

○ 数字を入力するときはテンキーから直接入力します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5)をごらんください。



詳しく説明します

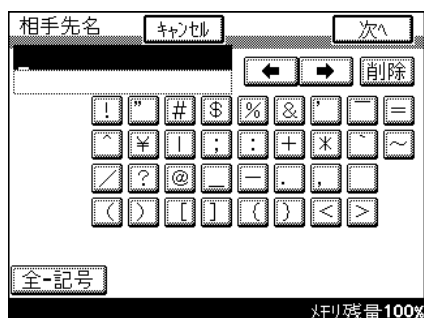
- ・ 英数字の入力で大文字・小文字を切換えたい場合は、「Caps」を押します。解除する場合は、再度「Caps」を押します。
- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、「←」、「→」で修正する文字にカーソルを合わせ、「削除」を押して、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、「C」を押します。
- ・ 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・ 文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW (モード 478) で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をごらんください。



入力する文字の全角、半角の切換えかたについては、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5)をごらんください。

12.3.6 記号を入力する

- 1 入力モード画面で「記号（!）」を押して、「OK」を押します。
- 2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5) をご覧ください。



詳しく説明します

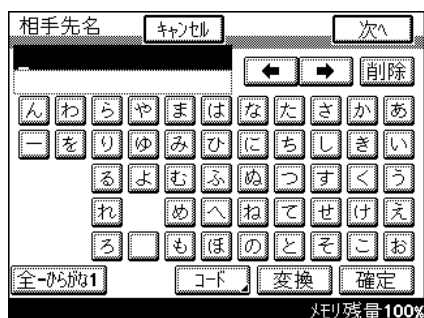
- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、[C] を押します。
- ・ 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・ 文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW (モード 478) で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をご覧ください。



入力する文字の全角、半角の切換えかたについては、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5) をご覧ください。

12.3.7 文字コードで入力する

- 1 入力モード画面で「ひらがな 1 (あ)」または「ひらがな 2 (か)」を押して、「OK」を押します。
- 2 「コード」を押します



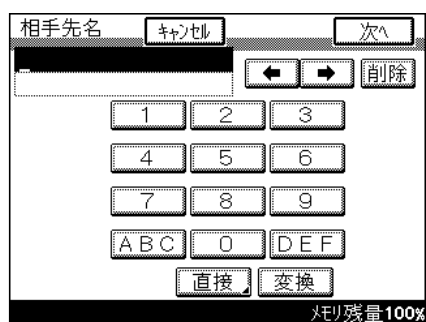
文字コード入力画面が表示されます。



入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-5) をご覧ください。

3

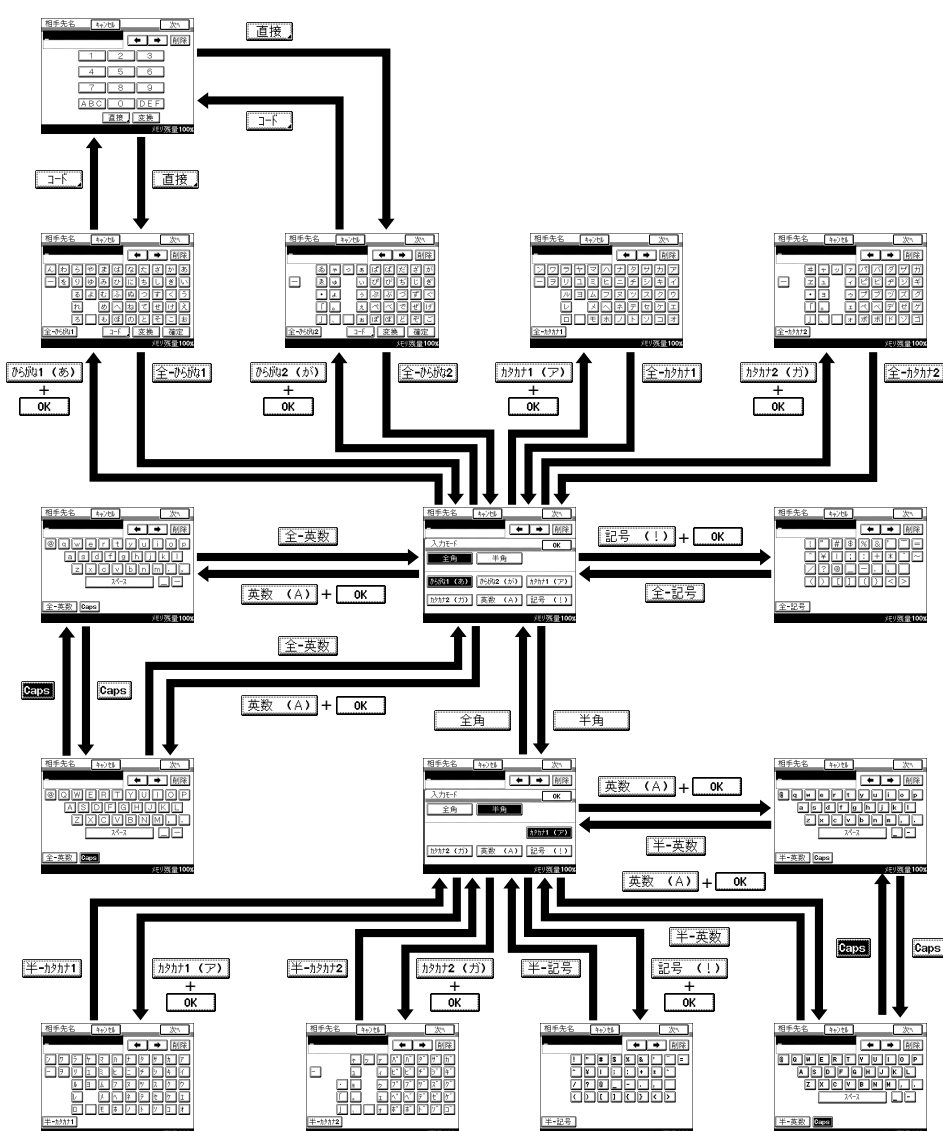
入力する文字の文字コード（4桁）を入力し、[変換]を押します。



詳しく説明します

- ・文字コードはタッチパネルの数字キーまたは[ABC]、[DEF]で入力します。[ABC]は押すごとに、「A」「B」「C」「A」の順に文字が変わります。[DEF]は押すごとに、「D」「E」「F」「D」の順に文字が変わります。
- ・テンキーで文字コードを入力することもできます。【*】で「A」「B」「C」を、【#】で「D」「E」「F」を入力できます。
- ・[直接]を押すと、文字入力の画面に戻ります。
- ・文字コードと文字の対応については、Shift-JISコード表（[p. 12-12](#)）をごらんください。

入力画面



ひらがな	<p>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよりるれわをんがぎくげこざじずせそだぢづでどばびぶべぼ</p> <p>あいうえおやゆよつ ー[]^(2ペ-2)・[]、。</p>
カタカナ(全角)	<p>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤヨラリルレロワンガンググゴザジズゼゾダヂヅデパピプペポ</p> <p>アイウエオヤヨツ ー[]^(2ペ-2)・[]、。</p>
カタカナ(半角)	<p>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤヨラリルレロワンガンググゴザジズゼゾダヂヅデパピプペポ</p> <p>アイウエオ13ツー[]^(2ペ-2)[]、。</p>
英数字／記号 (全角)	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz []^(2ペ-2)!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[]^_`{ }~*0123456789</p>
英数字／記号	<p>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz []^(2ペ-2)!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[]^_`{ }~*0123456789</p>

(一部入力できないものもあります)

[illegible][illegible]

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
88A0	啞娃阿哀愛挨始逢葵茜穉惡握渥旭葦
88B0	芦鰲梓庄幹扱宛姐虻鮎綯綾鮎或栗裕
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉困夷委
88D0	威尉惟愜慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
88E0	謁遑遺医井亥域育郁磯一沓溢逸稻茨
88F0	芋翮允印咽員因姻引飲淫胤蔭
8940	院陰隱韻吋右宇烏羽迂雨卯鵲窺丑碓
8950	臼渦噓唄蔚蔚鰓姥厥浦瓜閨噉云運雲
8960	荏餌齏嬰影映曳采永泳洩瑛盈穎穎
8970	英衛詠銳液疫益駢悅謁越閱樓厭円
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焰煙燕猿緣
8990	艷苑園遠鉛篇塢於汚甥凹央奧往応押
89A0	旺橫歐毆王翁襖鶯鷗黃岡冲荻億屋億
89B0	臚桶壯乙俺卸恩溫穩音下化飯何伽伽
89C0	佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苟茄荷華菓蝦課嘩貨迦過
89E0	蠶蚊俄峨我牙画臥芽蛾簀雅猷駕介会
89F0	解回塊壞迴快怪悔恢懷戒拐拐
8A40	魁晦械海灰界皆給芥蟹開階貝凱劾外
8A50	咳害崖慨慨涯碍蓋街該鑑該淫馨蛙垣
8A60	柿蚯鈎劃嚇各廓扞攪格核殼獲確獲寬

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8A70	角赫較郭闊隔革学岳樂額額掛笠檉
8A80	樞梔鰵瀉割喝恰括活渴滑萼褐轄旦鯢
8A90	叶柁樺鞞株兇龜蒲釜鎌噓鴨栢茅萱粥
8AA0	刈苴瓦乾侃冠寒刊勸勸卷喚堪姦完官
8AB0	寃干幹患惑憤憾換敢杻柜棺款歆汗漢
8AC0	澗濯環甘監看竿管簡緩迂翰肝肱莞觀
8AD0	諫賁還鑑間閑閑陷韓館館丸含岸巖玩
8AE0	癌眼岩翫鷹雁頑顏願企伎危喜器基奇
8AF0	嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄
8B40	機鼎穀氣汽穢祈季稀紀徽規記貴起軌
8B50	輝飢騎鬼龜龜儀妓官戲技擬欺攢疑祇
8B60	義議詛議掬鞠鞠吉吃喫桔橘詰沽杵黍
8B70	却客虧虐逆丘久仇休及吸宮弓急救
8B80	朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居
8B90	巨拒拋拳渠虛許鉅鋸漁粟魚亨亨京供
8BA0	俠僞兇競共凶協匡脚叫喬境峽強彊怯
8BB0	恐恭挾教橘況狂狹矯胸膺興齋鄉鏡鑿
8BC0	饗驚仰凝堯曉業局曲極玉桐杆僅勤均
8BD0	巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近
8BE0	金吟銀九俱句区狗攷矩苦鉅軀駟駒具
8BF0	愚虞喰空偶寓遇隅申榔釧屑屈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8C40	掘窟耆靴嚮窪熊隈衆衆縲桑鞣黝君薰
8C50	訓群羣郡卦袞祁係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形怪患慶慧憩揭携敬景桂溪畦稽系經
8C70	繼繫野荃荃蚩計詣警輕頸鴉芸迎鯨
8C80	劇戟擊激隙析傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	俟倦健兼券劓喧圈堅嫌建憲懸拳捲揆
8CA0	權牽犬猷研硯絹臬肩兇謙賢軒遣鍵陔
8CB0	顯驗駭元原嚴幻弦減源玄現絃絃言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫孤尸故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡孤虎誇跨鈿雇顧鼓五互伍午
8CE0	吳吾娛後御悟梧檣瑚基語誤護餉乞鯉
8CF0	交佼侯候倖光公功劬勾厚口向
8D40	后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸公庚康弘
8D50	恒慌抗拘控攻昂晃晃抗校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇硬稿糠紅紃絞綱耕考肯肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊薛鉏鉏鋼閣降
8D80	頂香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟趨克刻
8D90	告國穀酷鵠黑獄漚腰鄺忽惚偈狍込此
8DA0	頃今困坤壘嬌恨懇昏昆根梱涸痕紺良

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8DB0	魂些佐叉唆嵯左差查沙磋砂詐鎖綰坐
8DC0	座挫債催再戔戔塞妻宰彩才採栽歲濟
8DD0	災采犀碎砦祭齋細菜載際劑在材罪
8DE0	財冴坂阪堺堺肴咲崎崎崎篇作削昨搾
8DF0	昨朔柵窄策索錯梭銚銚匙冊刷
8E40	察撈撮擦札殺薩雜韋臍捌鑄鮫皿晒三
8E50	傘參山慘撒散棧燦珊產算纂蜚讀贇酸
8E60	餐斬暫殘仕仔伺使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿孖屍市師志思指支攷斯施旨枝止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	詔資賜雌飼齒事似侍兒字寺慈持時次
8EA0	滋治爾璽痔磁示而耳自蔣薛夕鹿式識
8EB0	鷗竺軸穴零七叱執失嫉室悉濕漆疾質
8EC0	実都篠僊柴芝屢蕊縞寫射捨赦斜煮
8ED0	社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊狩殊種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繡習吳舟冤衆
8F50	襲讐蹴輯邁酉酬集醜什仕充十從戎衆

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8F60	汁洪獸縱重銃叔夙宿淑祝縮肅塾熟出
8F70	術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳
8F80	準潤盾純巡遵醇順処初所曙渚庶緒
8F90	署書薯諸諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝
8FA0	匠升召哨商唱嘗獎娼宵將小小尚庄
8FB0	床廠廠承抄招掌捷昇昌昭崧松梢樟樵
8FC0	沼涉涉湘燒焦照症省硝礁祥称章笑粧
8FD0	紹肖莛莛蕉衡裳訟証詔詳象賞醬鉦鍾
8FE0	鐘障鞘上丈丞丞冗刺城場壤壤常情擾
8FF0	柔杖淨狀置模燕讓讓錠囁墮飾
9040	拭植殖燭織職色蝕食蝕辱尻伸信侵唇
9050	娠懷審心慎振新晋森森浸深申珍真神
9060	秦紳臣苾薪親診身辛進針震人仁刃塵
9070	王尋甚尽腎訊迅陣鞞筇譚須酢囟厨
9080	逗吹垂帥推水炊睡粹翠衰遂醉錐錘隨
9090	瑞髓崇嵩数枢趨雛据杉梃營顛雀裾澄
90A0	摺寸木瀨欽是凄制勢姓征性成政整星
90B0	晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請
90C0	逝醒青静齊稅脆隻席惜戚斥苔析石積
90D0	籍績脊責赤跡蹟碩切拙接撰折設窃節
90E0	說雪絶舌蟬仙先千占宣專尖川戰扇撰

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
90F0	栓柁泉浅洗染潜煎煎煽旋穿箭線
9140	織羨腺舛船薦詮賤踐選選錢銑閃鮮前
9150	善漸然全禪繕膳嚙嚙咀措會曾楚狙
9160	疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遯鼠僧創双
9170	叢倉喪壯奏爽宋屬匠忽想搜掃掃搔
9180	操早曹巢槍槽槽燥争瘦相窓糴總綜聰
9190	草莊葬蒼藻裝走送邁鎗霜騷像增憎臆
91A0	藏贈造促側則則息促束測足速俗属賊
91B0	族統卒袖其揃存孫尊損村遜他多太汰
91C0	詔唾墮妥情打柁舵情陀駝驢体堆对耐
91D0	岱帶待怠態戴替泰滯胎腿苔貸貸退逮
91E0	隊黨鯛代台大第醞醴鷹瀟瀟卓啄宅托
91F0	挾挾沢濯琢託譯濁諾苒苒蛸只
9240	叩但達辰奪脫戾豎豎泚棚谷裡鱗誰丹
9250	單嘆坦坦探旦歎淡湛炭短端單綻耽胆
9260	蛋誕鍛团壇彈断暖壇段男談值知地弛
9270	恥智池痴稚置致蚰遲馳榮番竹筑蓄
9280	逐秩宰茶嫡着中仲由忠拙昼柱注虫衷
9290	註酎鑄駐槽漈猪苧苧貯丁兆凋喋龍帖
92A0	帳庁弔張彫徵徵挑暢朝潮牒町眺聽脹
92B0	腸蝶調諜超跳跳長頂鳥勅步直朕沈珍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
92C0	賃鎮陳津墜椎椎追鋤痛通塚梅捆槐佃
92D0	漬柁辻鳶綴鍔椿漬坪垂嬌紬爪吊釣鶴
92E0	亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭弟悌抵
92F0	挺挺梯汀碇禎程締艇訂諦蹄遞
9340	邸鄺釘鼎泥摘擢敵滴的笛適適溺哲徹
9350	撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼軫顛点
9360	伝殿殿田電克吐堵塗妬屠徒斗杜渡登
9370	莞賭途都鍍砥砥努度土奴怒倒党冬
9380	凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭束桃桄棟
9390	盜淘湯涛灯燈当痘禱等答筒糖統到董
93A0	蕩藤討膳豆踏逃透透銕陶頭騰閫働動同
93B0	堂導懂撞洞瞳童胴萄萄銅峠鴉匿得德
93C0	流特誓禿篤毒独詭詭桤凸突椴屈篤苮
93D0	夷西滯噸屯惇敦沌豚遁頓吞曇鈍奈那
93E0	内乍廂薙謎灘捺鍋樁馴繩礙南楠軟難
93F0	汝二尼忒迓勾脈肉虹廿日乳入
9440	如尿菲任妊忍認濡襦襦寧葱猫熱年念
9450	捻撚燃粘乃迺之埜囊惱濃納能腦膿農
9460	頑蜚巴把播霸杷波派琶破婆罷芭馬俳
9470	癸拌排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅
9480	煤煤猥貲壳賠陪這蠅穉刈秋伯剥博拍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9490	柏泊白箔粕舶薄迫曝爆縛莫駁麥函
94A0	箱谿著肇筍櫛櫛肌畑畠八鉢浼浼醜髮
94B0	伐罰拔筏閥闊嘶塢塢蛤牟伴判半反叛帆
94C0	搬斑板汜汎版犯班畔繁般般藩販範采煩
94D0	煩飯挽挽番盤盤蕃番匪卑否妃庇彼悲
94E0	扉批披斐比泌疲皮碑秘緋麗肥被誹費
94F0	避非飛樋鯨備尾微毳毳毳眉美
9540	鼻柁稗匹匹罷彥膝麥肘粥必畢筆逼佗
9550	姬媛紐百繆依彪標水漂瓢票評豹廟
9560	描病秒苗鋤鋤蒜蝻蝻品彬斌浜瀕貧賈
9570	頻敏瓶不付埠夫婦富富布府怖扶敷
9580	芹菩浮父符腐膚芙諸負賦赴阜附侮撫
9590	武舞葡葡部封楓風蒼落伏副復幅服福
95A0	腹複覆淵弗弗沸仏物耐分吻墳墳憤份
95B0	焚奮粉糞紛雰文聞丙併兵堀幣平弊柄
95C0	並蔽閉陞米頁儼壁癖碧別瞥蔑篋偏嫵
95D0	片篇編辺返遍便勉婉弁鞭保鋪鋪團捕
95E0	步甫補輔穗募墓慕茂暮母簿菩倣倣包
95F0	呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋
9640	法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豐邦鋒飽
9650	鳳鵬乏亡傍剗妨妨帽忘忙房暴望某棒

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	類	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	釦	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	麻	埋	妹	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	鮪	枉		
9690	鱗	樹	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	蔣	磨	万	慢	滿	漫	
96A0	蔓	味	未	魅	巳	質	岬	密	蜜	湊	衰	稔	妙	耗	民	
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷗	棕	娟	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	麵	麵	摸	模	茂	妄	
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	李	勿	餅	尤	戾
96E0	粉	糞	問	悶	紋	門	勿	也	夜	爺	耶	野	弥	矢	厄	
96F0	役	約	業	訖	躍	靖	柳	數	鍾	偷	愈	油	癒			
9740	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	憂	損	有	柚	湧	涌	
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	嘗
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	攏	曜	楊	樣	洋	溶	浴
9770	用	窯	羊	耀	莠	蓉	要	謠	遙	陽	養	慾	抑	欲		
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	賴	雷	洛	絡	落	酪	
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	史	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裏	裡	離	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	溜	琉	留	
97B0	疏	拉	隆	竜	龍	侶	慮	旅	慮	了	亮	兩	凌	寮	寮	
97C0	梁	涼	獮	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
97D0	厘	林	淋	淋	臨	臨	輪	麟	麟	璿	璿	璿	璿	璿	璿	璿
97E0	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	苓	鈴	隸	零	靈	麗	齡	曆	


	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
97F0	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	鍊	呂	魯	櫛	炉	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	
9850	榔	浪	漏	牢	狼	毫	老	聾	蟬	郎	六	麓	祿	肋	錄	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	驚	互	巨	鯢	詫	藁	蕨	碗
9870	灣	碗	腕													
9880																
9890																弋
98A0	丐	丕	个	卬	、	井	ノ	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	式
98B0	于	亞	丕	亢	京	毫	璽	从	仍	仄	仆	仇	仗	伢	伢	仍
98C0	仟	价	伢	伢	估	佛	佝	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻	佻
98D0	侑	伴	來	侖	儘	俟	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚	俚
98E0	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃
98F0	會	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃	偃
9940	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
9950	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
9960	兪	兮	冀	門	同	冊	冉	岡	青	萬	冕	一	冠	冢	冢	冢
9970	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢	冢
9980	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰	凰
9990	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗
99A0	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
99B0	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
99C0	卅	卉	卅	準	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞	卞
99D0	廠	厶	參	慕	雙	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼	曼
99E0	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭
99F0	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀
9A40	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
9A50	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯	唯
9A60	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿	咿
9A70	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖	嘖
9A80	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
9A90	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁	囁
9AA0	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國
9AB0	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚	垚
9AC0	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵
9AD0	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
9AE0	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
9AF0	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀
9B40	奸	妁	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘	姘
9B50	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜	娜
9B60	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽
9B70	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖	嬖
9B80	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9B90	寶	剗	將	專	對	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠	尠
9BA0	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏
9BB0	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴
9BC0	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
9BD0	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢	嶢
9BE0	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠
9BF0	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣	幣
9C40	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖	廖
9C50	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃
9C60	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
9C70	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘	徘
9C80	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙
9C90	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協	協
9CA0	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛
9CB0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9CC0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9CD0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9CE0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9CF0	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺
9D40	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂	憂
9D50	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]



第 13 章

索引

13.1 使用別索引	13-2
13.2 項目別索引	13-3

■ G

G3 ファクス

外部電話機から電話する	6-2
外部電話機で電話を受ける	6-3
強制メモリ受信する	7-2
掲示板からポーリング受信をする	7-5
掲示板にポーリング送信をする	7-5
親展通信を行う	7-3
増設回線を使う	7-6
ファクス情報サービスを利用する	12-4
ポーリング受信をする	7-4
ポーリング送信をする	7-4
リダイヤルする	4-36

■ か行

共通

画質の設定をする（ユーザー操作禁止設定）	4-20
----------------------------	------

■ な行

ネットワークファクス

リダイヤルする	4-36
---------------	------

13.2 項目別索引

E

E-Mail 送信 1-5

F

F コード 4-16, 9-16, 9-25

F コードパスワード 9-25

G

G3 ファクス 1-6

I

IP アドレスファクス 1-8

IP 中継配信 1-8

P

PBX 接続モード 10-19

POP3 受信 9-8

あ行

宛先登録 9-3

インターネットファクス 1-7

インデックス 9-22

エラーメッセージ 11-5

応用－掲示板登録 4-31

応用－ポーリング受信 4-34

応用－ポーリング送信 4-32

応用－リモート取出し 4-33

オートリダイヤル 4-36

オートリダイヤル回数 10-24

オートリダイヤル間隔 10-25

オフモード時の出力設定 10-26

オンフック 4-19

か行

海外 9-15

回線モニタ音 9-8

外部電話機 5-4

画質 4-20

画質－濃度 4-21

画面設定－優先画面 9-4

画面設定－優先ファクス画面 9-5

カラー 4-22

環境設定－言語選択 9-4, 10-6

環境設定－出力設定－受信プリント出力設定－

ファクス / メール 10-6

環境設定－出力設定－排紙トレイ設定 10-7

管理者設定－管理データメール送信 10-8

強制メモリ受信 7-2

掲示板 7-5, 9-24

掲示板リスト 8-6

結果通知 5-7

結果レポート 8-8, 10-28

検索 4-12

さ行

サービスコール 11-9

サブ相手先 9-13

自局電話番号 10-19

時刻指定 10-26

下地調整 4-24

自動受信（電話優先） 5-3

自動受信（ファクス優先） 5-2

自動取得 5-6

縮小禁止 5-10

受信管理レポート 8-5

受信情報 5-12

受信設定 10-26

受信文書の扱い 10-13, 10-15

受信文書ヘッダ印刷 5-7

受信文書ボックス削除 10-27

手動受信（電話専用） 5-5

手動取得 5-6

手動リダイヤル 4-36

種類 10-14

順次同報送信結果レポート 8-8

初期設定－ファクス / スキャナー

IP 中継 / 中継先選択 9-6

初期設定－ファクス / スキャナー

ファイル形式 9-6

初期設定－ファクス / スキャナー

ファクス / スキャナ初期設定 9-5

ジョブリスト 2-5

親展通信 7-3

設定 1－2in1 4-26

設定 1－回転送信 4-27

設定 1－結果レポート 4-25

設定 1－発信元 4-25

設定 1－両面送信 4-26

設定 2－スタンブ 4-28

設定 2－タイマー通信 4-27

設定 2－優先送信 4-27

設定値リスト 8-9

設定内容 2-10

操作パネル 2-2

送信管理レポート 8-4

送信設定 10-24

送信設定－発信元登録 10-24

送信設定－リダイヤル 10-24

速度 9-15

た行

ダイヤル 4-14

ダイヤルイン機能 10-22

ダイヤル方式 10-20

ダイアルー E-Mail	4-18
ダイアルー G3 ファクス	4-15
ダイアルー IP アドレスファクス	4-17
ダイアルー IP 中継	4-17
ダイアルーインターネットファクス	4-16
タイトル	9-25
タッチパネル	2-4
チェーンダイアル	4-19
着信回数設定	10-18
着信拒否登録	10-21
着信方式	10-17
中継先	4-18, 9-18
通信管理レポート	8-8, 10-28
転送先	10-13, 10-16
電話専用電話番号	10-22
電話を受ける	6-3
電話をかける	6-2
登録文字列	9-23

な行

ナンバーディスプレイ機能	10-20
ナンバーディスプレイ番号表示	10-21
ネットワークー Reply	4-30
ネットワークータイトル	4-30
ネットワークーファイル名	4-30

は行

倍率	4-22
倍率 / 範囲	4-21
パスワード	10-15
発信元選択	4-25
番号	10-15
ファイル形式	4-23
ファクス No.	9-15
ファクス設定	10-17
ファクス設定ー自局 ID	10-17
ファクス設定ー自局電話番号情報	10-18
ファクス設定ー受信機能	10-17
ファクス設定ーダイアルイン	10-22
ファクス設定ーナンバーディスプレイ	10-20
ファクス設定ーパスワード通信	10-18
ファクス転送	7-7
ファクス番号	9-18
ファクスークイック送信	4-28
ファクスーパスワード送信	4-29
ファクスーリモートコピー	4-29
プリント処理	9-9
プリント制御パスワード	10-27
プログラム	2-11, 3-4, 4-6
プログラムー覧	8-7
文書管理	10-9
文書管理ー管理者転送ー通信モード	10-9
文書管理ー受信文書ー G3-1/G3-2	10-13
文書管理ー受信文書ー一般文書	10-10

文書管理ー受信文書ーネットワーク	10-12
文書管理ー受信文書ーボックス	10-14
文書ー機密文書	2-9
文書ー掲示板	2-6
文書ー受信文書	2-7
文書ー受信文書ー受信ボックス	2-8
ページ設定	4-24
ポート	9-17
ポーリング	1-7
ポーリング送信 / 受信	7-4
ボックス名	10-14

ま行

メールアドレス	9-16, 9-19
メールモード	4-17, 9-17
メニューツリー	4-8, 8-3, 9-2, 10-4
メモリクリアレポート	8-10
メモリ代行受信	5-9

や行

ユーザ設定	9-2
ユーザ設定画面	9-4
ユーザ保守	9-2
読み込み範囲	4-22

ら行

リダイアル	4-36
リモート出力チェック	9-25
リモート入力チェック	9-25, 10-16
留守番電話機能	5-4
レポート設定	10-28

わ行

ワンタッチ	3-4, 4-10
ワンタッチ登録	9-10
ワンタッチのコピー	9-13
ワンタッチの変更 / 削除	9-14
ワンタッチ番号	4-11
ワンタッチリスト	8-6
ワンタッチーインデックスー覧	4-11

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング